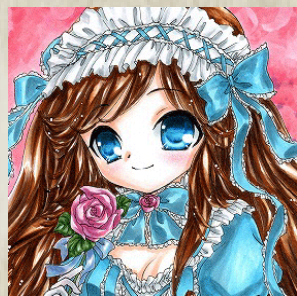


あなたの未来を作る自由の翼

MATRIX



インターネット自動ドア  
薔薇乃ななこ

---

## めんせきじこう

著者は、このレポートの内容の使用・適用によって生じた、いかなる結果に対する責任をおいせん。

このレポートの内容は、著作権によって保護されています。

無断転載・複製を禁じます。

このレポートの一部または全部をあらゆるデータ蓄積手段

(電子的複製、物理的複製、音声による読み上げ等、すべての形式)

により、第三者に譲渡、貸与、リース、販売、配布、オークション出品、公開することを禁じます。

上記事項が守られない場合、およびそれ以外でも著作権保護の観点に反すると

認められた場合は、損害賠償請求いたします。



改定

2010年6月17日

# もくじ

1. マトリックスとは	4
2. マトリックスでできることと、できないこと	10
3. マトリックスをはじめよう	12
4. マトリックスのインストール	15
5. マトリックスの使い方(基本)	17
6. マトリックスのテンプレートを使ってみよう	26
7. テンプレート実例集	41
8. もっと、マトリックスを使ってみよう	44
9. マトリックスの用語について	46
10-1. ホームページの基礎知識	48
10-2. ホームページの基礎知識(HTMLの表示)	51
10-3. ホームページの基礎知識(HTMLの表示)	55
10-4. ホームページの基礎知識(HTMLフォーム)	62
11-1. レッスン (ホームページの表示)	65
11-2. レッスン (テキストの入力)	79
11-3. レッスン (テキストエリアの入力)	90
11-4. レッスン (セレクトの選択)	102
11-5. レッスン (ラジオボタンの選択)	115
11-6. レッスン (チェックボックスの選択)	126
11-7. レッスン (ボタンのクリック・フォームの送信)	137
12. 練習課題	151
13. テキストデータについて	154
14. テキストデータカスタムヘッダについて	161
15. マトリックスの20の動作について	166
16. マトリックスのデータバックアップと復元	196
17. マトリックスとナナコYouTube連携	204
18. マトリックスとPCブログ連携	209
19. 連続スタートとタイマースタート	214
20. 複数サイトへのテキストデータCSV一括読み込み	219
21. 自動スキップ機能	221
22. 広告の一括管理	223

---

23 . ナナコ辞典連携 .....	228
24 . マトリックスサンプル集 .....	230
24 . 便利な機能 .....	231
25 . よくある質問 .....	234
26 . マトリックス トリセツ(相葉愛恵chan) .....	260
27 . マトリックス正式版ご購入方法 .....	261
28 . 携帯ツールのご紹介 .....	265
29 . コンテンツサービスのご紹介 .....	268
30 . 薔薇乃ななこプロフィール .....	269

## 1. マトリックスとは

マトリックスは、あなたのインターネットの作業の効率化、時間の短縮を目的として作られたツールです。

たとえば、ブラウザをインターネットの世界への扉とするなら、マトリックスは、その扉が自動ドアで、さらにその向こうにエスカレーターがあるような感じです。

マトリックス  
特許出願中



## マトリックス公式サイト



<http://mtrx.asia/>

マトリックスは、ブラウザの動作を登録し、実行することができます。

マトリックスは、すべての動作を全自動で行うのではなく、半自動で行います。最後の判断には、人の判断が必要です。そうでないと、それはたんなるスパムツールでしかありません。

いかに、半自動で、コンテンツのある人の作業を短縮できるか。それがマトリックスの最大の目的です。

マトリックスは、ルーチン化された単純作業を自動化し、作業の

---

効率を上げることができます。

たとえば、ブログに記事を書くこと、無料ホームページスペースを編集すること、サイトにログインすること、あなたがいままで何度も繰り返し行ってきた作業を、マトリックスは、あなたに代わって行うことができます。

さらに、マトリックスは、たんなるツールではありません。マトリックスの最大の特徴は、マトリックスコアと呼ばれるエンジンを搭載していることです。

それは、プログラム言語のように、あなたの命令を理解し、マトリックスを操作することができるエンジンです。

たとえば、あなたが

『サイトにログイン→記事編集ページに移動→記事の登録』

---

など、あなたの操作をマトリックスに登録できます。

一旦、マトリックスに登録すると、ボタン1つで、その動作が実行できるようになります。

マトリックスとは何でしょうか？

それは、決められたことしかできないツールでなく、あなたの分身となるプラットフォーム(フレームワーク)です。

それは、あなた自身であり、あなたの自由の翼です。

まずは、マトリックスの動画サンプルを確認して下さい。



## マトリックス動画サンプル

① 無料スペース自動登録

<http://mtrx.asia/wmv/matrix.wmv>

② FC2ソーシャルブックマーク自動登録

<http://mtrx.asia/wmv/matrix1.wmv>

③ マトリックス連続スタート

<http://mtrx.asia/wmv/matrix2.wmv>

④ 無料スペースYouTube動画サイト作成

<http://mtrx.asia/wmv/mt1.wmv>

⑤ 無料スペースブログサイト作成

<http://mtrx.asia/wmv/mt2.wmv>

⑥ アメーバブログ自動登録

<http://mtrx.asia/wmv/mt3.avi>

⑦ ライブドアブログ自動登録

<http://mtrx.asia/wmv/mt4.avi>

⑧ 楽天ブログ自動登録

<http://mtrx.asia/wmv/mt5.avi>

※ ⑥～⑧のサンプルは、メルマガのサイトからタイトル、本文の内容を切り取り、各ブログに登録しています。

※動画を生成するには、Windows Media Player が必要です。

---

また、マトリックスを使った、サイトのログインやブログの登録、  
グーグルやヤフーへのサイト登録などのマトリックスサンプル集  
を用意しています。詳しくは、このマニュアルと同じフォルダにあ  
る『【薔薇乃ななこ】マトリックスサンプル集.pdf』をご覧ください。

## 2. マトリックスでできることと、できないこと

マトリックスは、次のことができます。

### マトリックスでできること

- ① ホームページ(サイト)の表示
- ② PCサイト、ブログ、携帯サイト、無料スペースなどへログイン
- ③ HTML フォームのテキスト入力、セレクトの選択、チェックボックスのチェック、ラジオボタンのチェック
- ④ ボタンのクリックや HTML フォーム内容の送信
- ⑤ ホームページ(サイト)の内容の切り取り

マトリックスは、上記のようなブラウザの動作ができます。

※ マトリックスは、すべてのブラウザの動作を行うことができる訳ではありません。マトリックスが行うことができる動作は、サイトの表示や、HTML フォームの基本操作であるテキスト入力、セ

---

レクトの選択、チェックボックスのチェック、ラジオボタンのチェック、ボタンのクリックやフォーム内容の送信になります。

ホームページには、JavaScript(ジャバスクリプト)や stylesheet (スタイルシート)などによって、サイトを表示したり、操作を行っているものがあります。マトリックスでは、一部の JavaScript は実行できますが、すべての JavaScript や stylesheet の制御を行うことはできません。

そのため、サイトによっては、マトリックスが使えない場合があります。

### 3. マトリックスをはじめよう

それでは、マトリックスを実際に使ってみましょう。

マトリックスを使うには2つの方法があります。

1つ目の使い方は、初心者向けの使い方です。この方法は、マトリックスに登録しているテンプレートを使います。テンプレートとは、よく使うブラウザの動作をまとめたものです。

はじめて、マトリックスを使うあなたや、初心者のあなたは、こちらを行って下さい。まずは、このマニュアルの次章以降の

- 4章 マトリックスのインストール
- 5章 マトリックスの使い方(基本)
- 6章 マトリックスのテンプレートを使ってみよう
- 7章 テンプレート実例集
- 26章 マトリックス★トリセツ(相葉愛恵chan)

---

をお読み下さい。

2つ目の使い方は、上級者のあなた向けの使い方です。この方法は、マトリックスにブラウザの動作を登録していきます。この機能こそが、マトリックス最大の特徴になります。

ブラウザの動作を登録していくには、HTML(エッチティーエムエル)の知識が必要になります。

動作を登録する際に、HTMLフォームを制御するための、フォームの名前や、フォームの番号が必要になるためです。

あなたが、HTMLについて詳しくない場合は、HTMLの勉強する必要があります。HTMLの勉強は、難しいかもしれませんが、マトリックスで必要な知識は、それほど、多くはありません。少しずつ勉強していきましょう。

---

初心者のあなたでも、マトリックスにブラウザの動作を登録できるように、このマニュアルには、11章にレッスンの章、12章に練習問題がついています。

そちらを実践していき、ステップアップしていきましょう。

また、23章にマトリックスサンプル集がありますので、サンプルを試してみてください。

それでは、次章以降を、少しずつお読み下さい。

## 4 . マトリックスのインストール

この章では、マトリックスのインストール方法について説明します。

### マトリックスに必要なもの

- Windows のパソコン
- .Net Framework2.0
- マトリックス本体

### 1 ) Windows のパソコン

マトリックスを使うには、Windows のパソコンが必要です。

### 2 ).Net Framework2.0

マトリックスを使うには、.Net Framework2.0 をパソコンにインストールしている必要があります。最近のパソコンには、初めから入っていますが、以前のパソコンだと別途インストールが必要で



す。.Net Framework2.0 は、マイクロソフトから無料で配布されています。.Net Framework 2.0 がパソコンに入っているかどうかわからない人は、.Net Framework 2.0 インストールの作業を行って下さい。すでに入っている場合は、インストール時に、すでに入っているというメッセージが表示されますので、その場合は、インストールをキャンセルして下さい。下記のURLから dotnetfx2.exe ファイルをダウンロードし、インストールして下さい。

.Net Framework2.0 ダウンロード

<http://mtrx.asia/bin/dotnetfx2.exe>

### 3) マトリックス本体

マトリックス本体は、このドキュメントと同じフォルダにある Matrix.exe ファイルになります。

## 5. マトリックスの使い方(基本)

マトリックスの基本的な使い方を説明します。

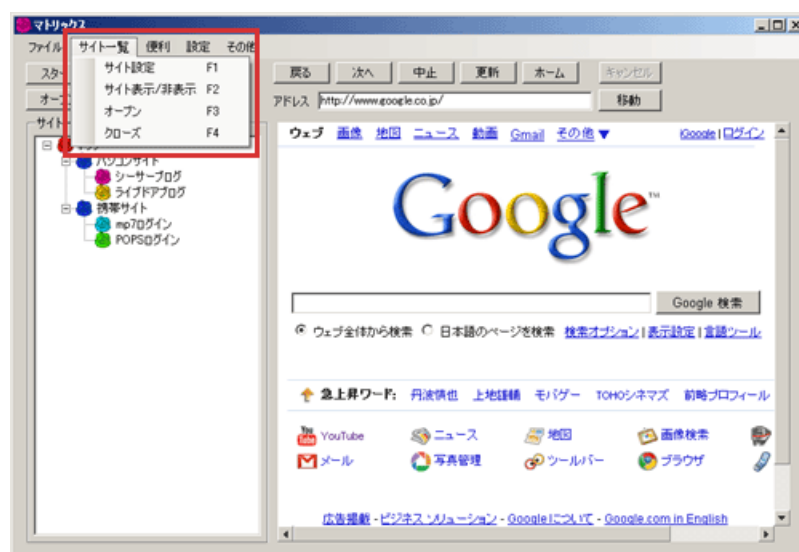
- ① Matrix.exe ファイルをダブルクリック。



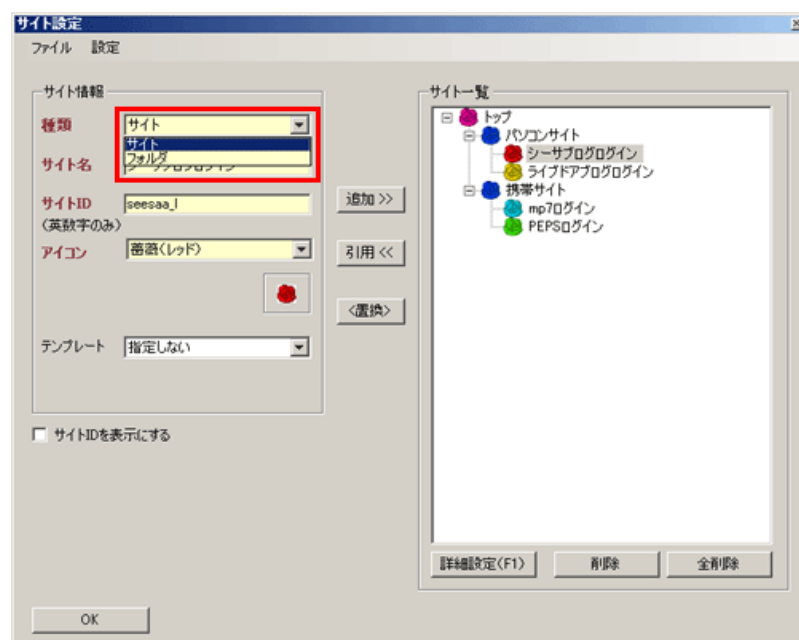
- ② マトリックスのメイン画面が起動します。



③ メニュー＞サイト一覧＞サイト設定を選択。

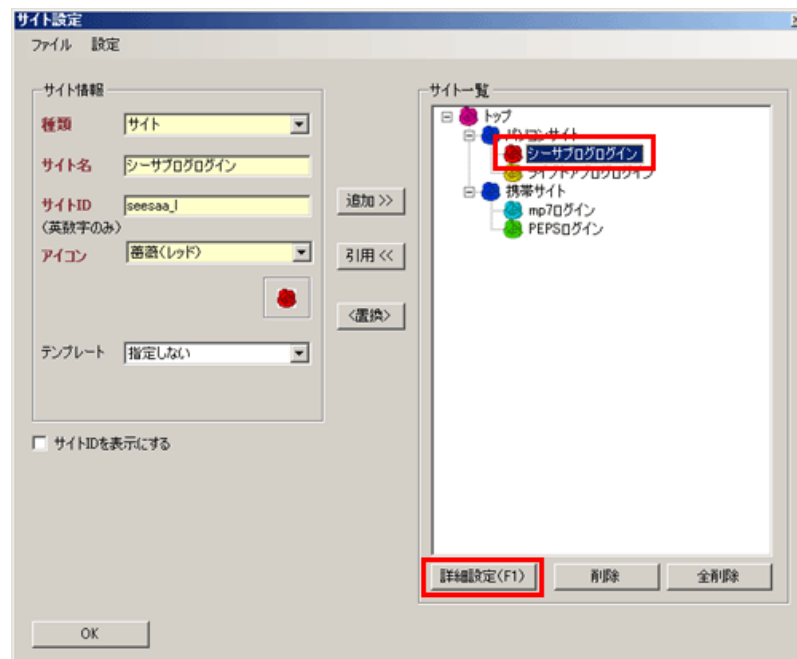


④ サイトツリーが表示されます。階層化されたツリーにフォルダ、サイトのどちらかを追加できます。サイトは、フォルダの下にしか追加できません。

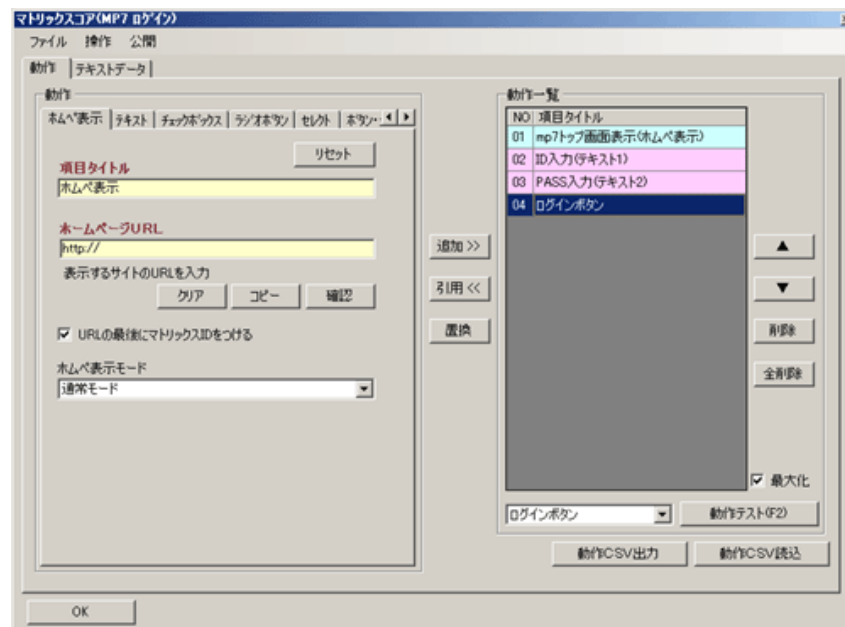




⑦ サイトを選択しマトリックススコアをクリック。

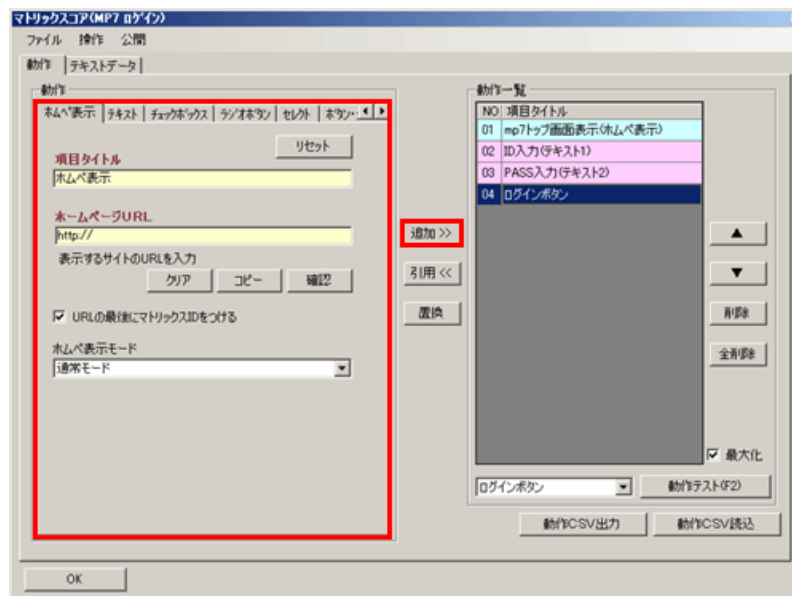


⑧ マトリックススコア画面が開きます。この画面で、ブラウザの動作やテキストデータの設定を行います。

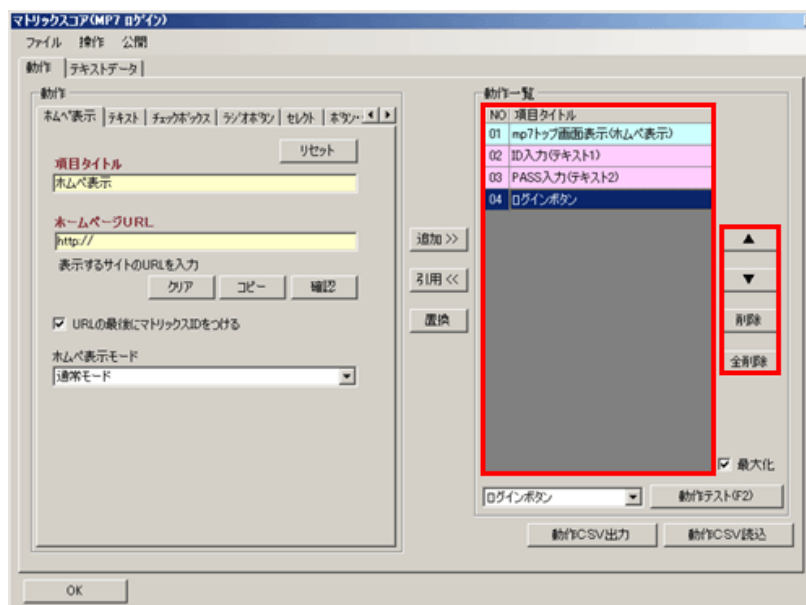


⑨ 動作を入力し、追加ボタンをクリック。

※動作につきましては、後述の章を参考にして下さい。



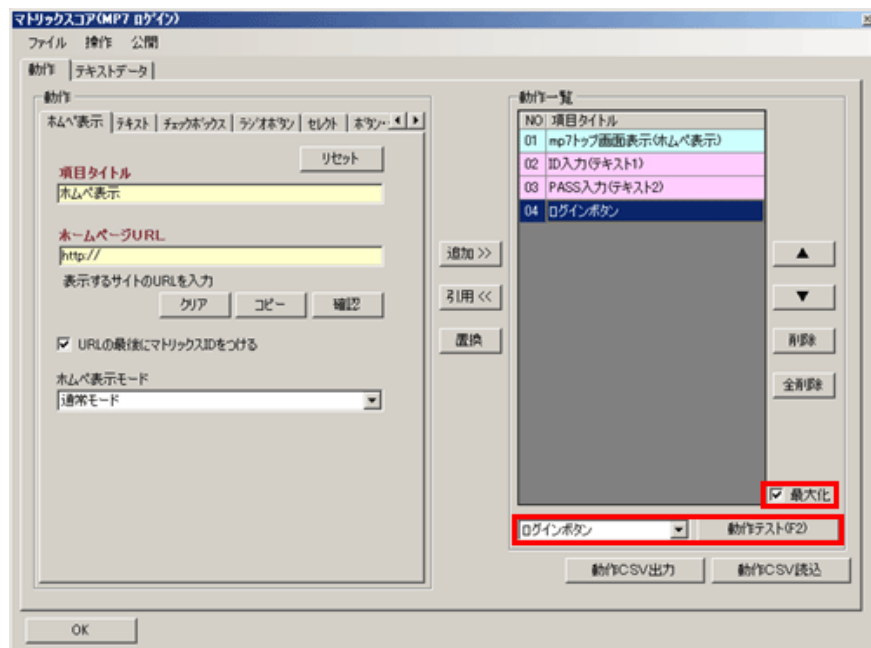
⑩ 追加した動作が、動作一覧に表示されます。▲、▼、削除、全削除ボタンで、動作の移動、削除が行えます。



また、動作 CSV 出力から、CSV ファイルの出力、動作 CSV 読込から、CSV ファイルの読込ができます。

※出力する CSV ファイルに、テキストの値が直接書かれていますので、ID やパスワードを書いている場合は、CSV ファイルの取り扱いにご注意下さい。

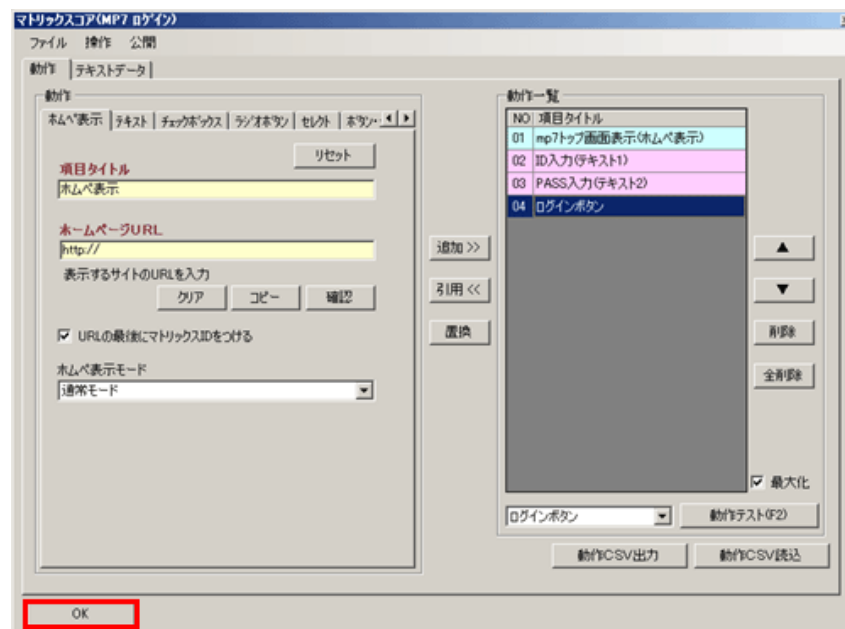
⑪ 動作テストボタンから、動作のテストを行うことができます。テストボタンの左側にあるリストで選択している動作までがテストで実行されますので、必要に応じて、リストの選択を変更して下さい。



- ⑫ 動作テストは、プレビュー画面で行われます。動作のテストを行い問題がない場合は、プレビュー画面を閉じます。

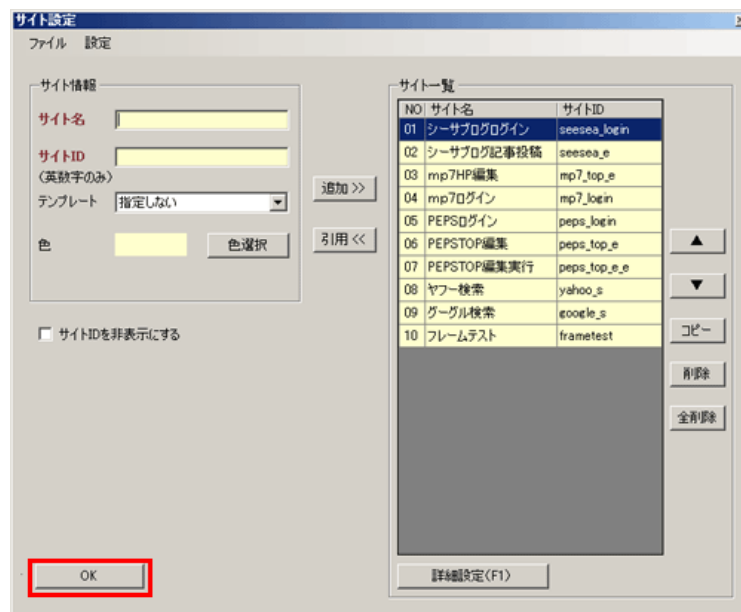


- ⑬ マトリックスコア画面を閉じます。





⑭ サイト設定画面を閉じます。



⑮ 実行するサイトを選択し、スタートをクリック。サイトの動作が実行されます。



また、サイト一覧から、オープンをクリックすると、選択しているフォルダ・サイト配下をすべて開き、その他のフォルダ・サイトをすべて閉じます。クローズをクリックすると、選択しているフォルダ・サイト配下をすべて閉じます。フォルダオープンは、サイトをすべて閉じ、フォルダのみ開きます。



以上が、マトリックスの基本的な使い方になります。

## 6. マトリックスのテンプレートを使ってみよう

この章では、テンプレートの使い方について説明します。

テンプレートとは、よく使うブラウザの動作をまとめたものです。  
テンプレートを使うと、テンプレートの動作をコピーして使うことができます。

ここでは、テンプレートとして、無料スペースmp7のログインを行うテンプレートを使います。mp7のアカウントをもっていない場合は、下記のサイトから、mp7のアカウントを取得して下さい。

mp7



<http://pc.mp7.jp/>

以下の操作は、必ず、mp7のアカウントを取得した後に行って下さい。

① Matrix.exe ファイルをダブルクリック。



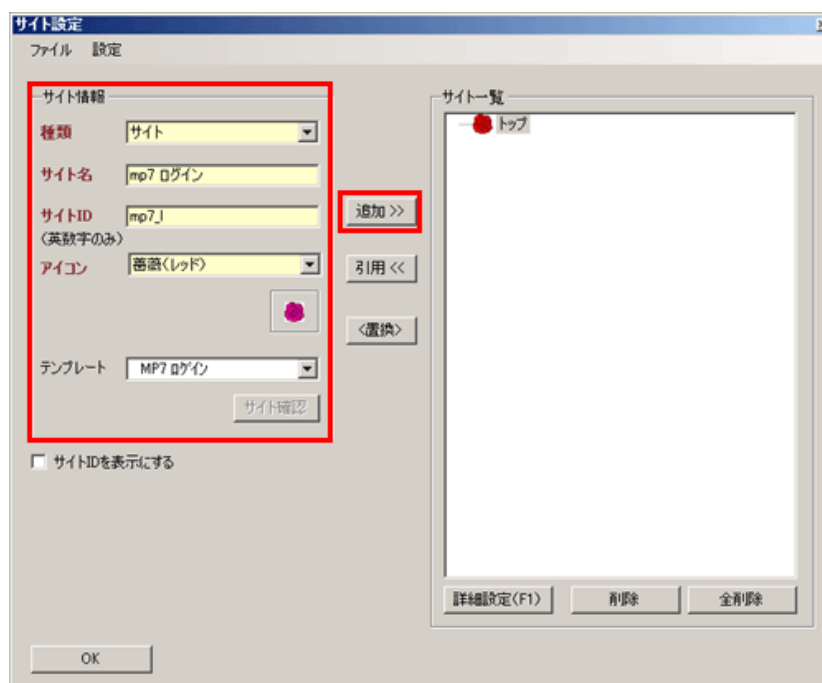
② マトリックスが起動します。



③ メニュー＞サイト一覧＞サイト設定を選択。



④ ここでは、サンプルとして無料スペースの mp7 のログインを行うテンプレートを使います。



下記の内容を入力、テンプレートに、無料スペースログイン内の  
mp7 ログインを選択し、追加をクリック。

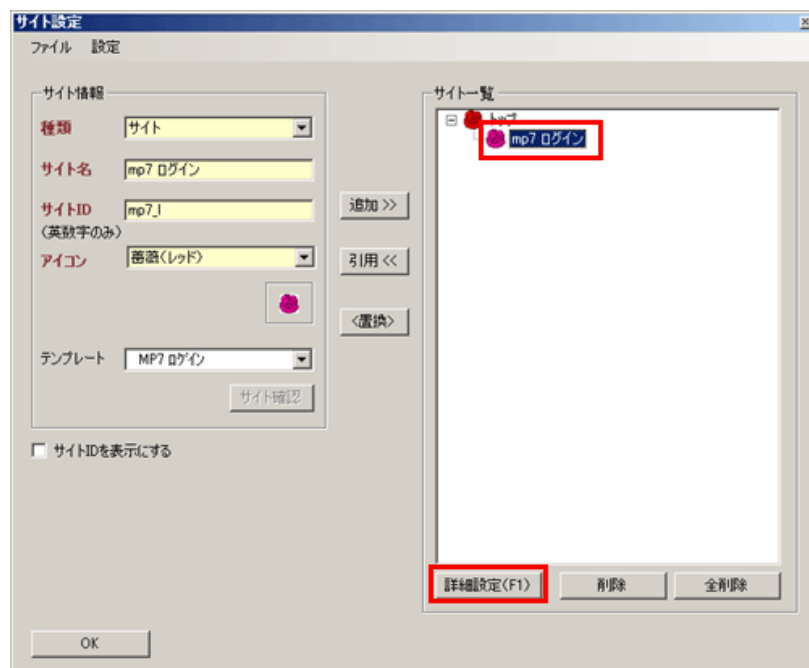
種類:サイト

タイトル:mp7 ログイン

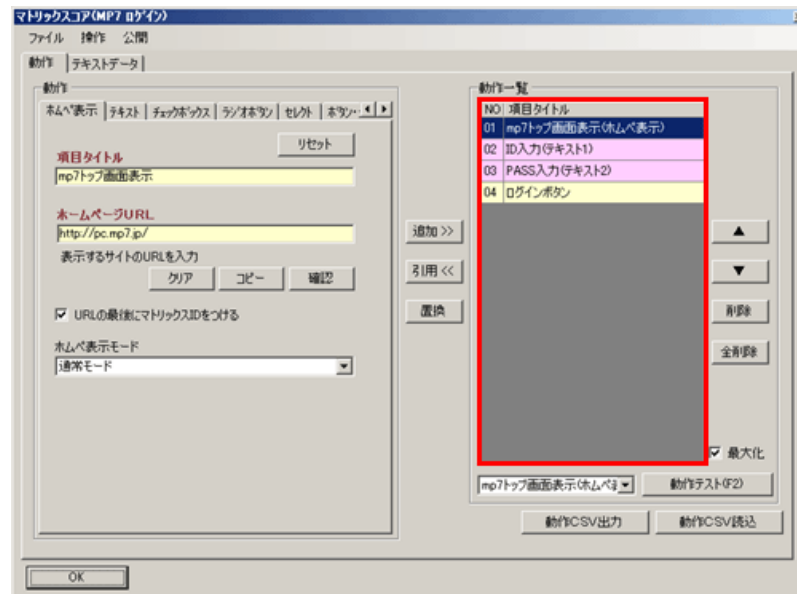
サイト ID:mp7\_l

テンプレート:mp7 ログイン

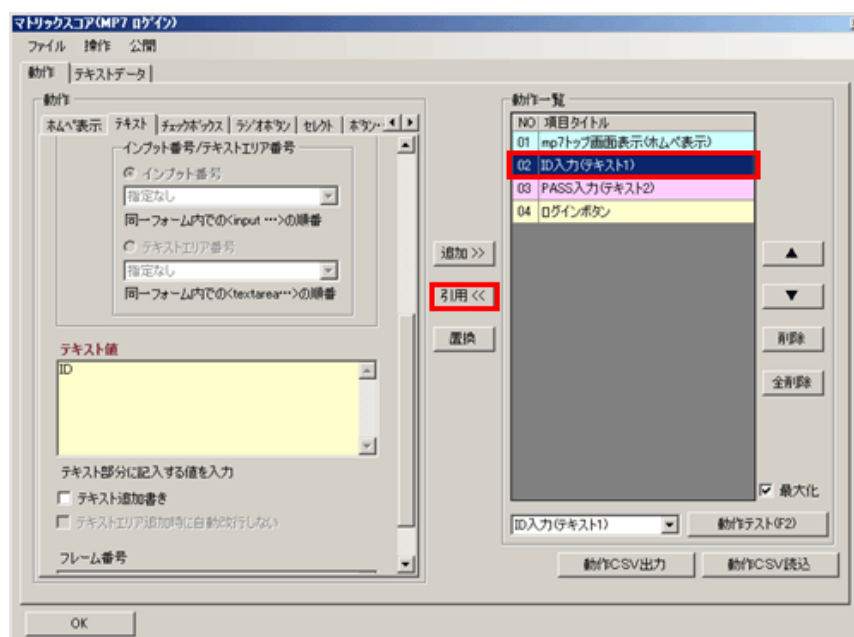
⑤ サイト一覧から、追加した mp7 ログインを選択し、マトリックス  
スコアをクリック。



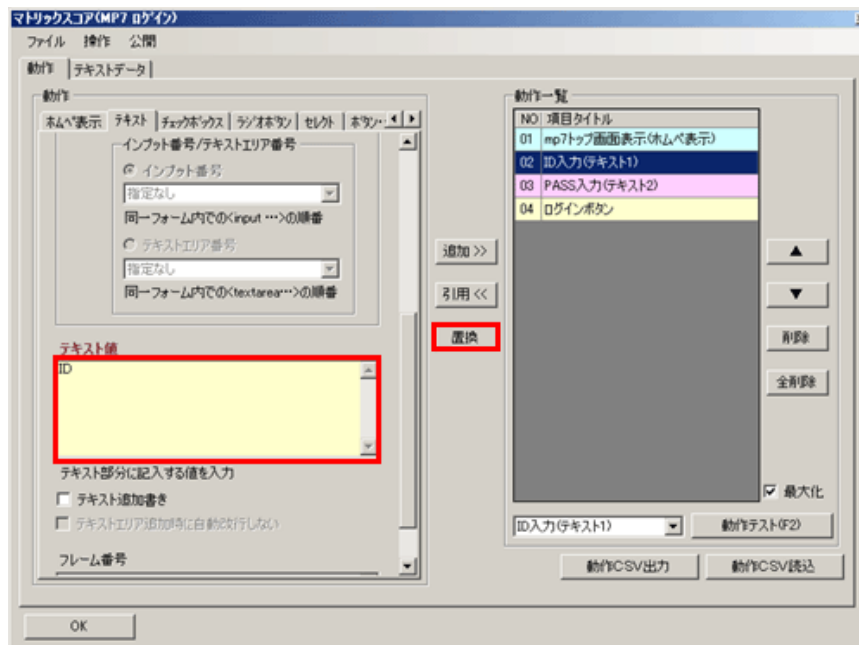
⑥ マトリックスコア画面が開きます。選択した「mp7 ログイン」テンプレートの動作がすでに登録されています。



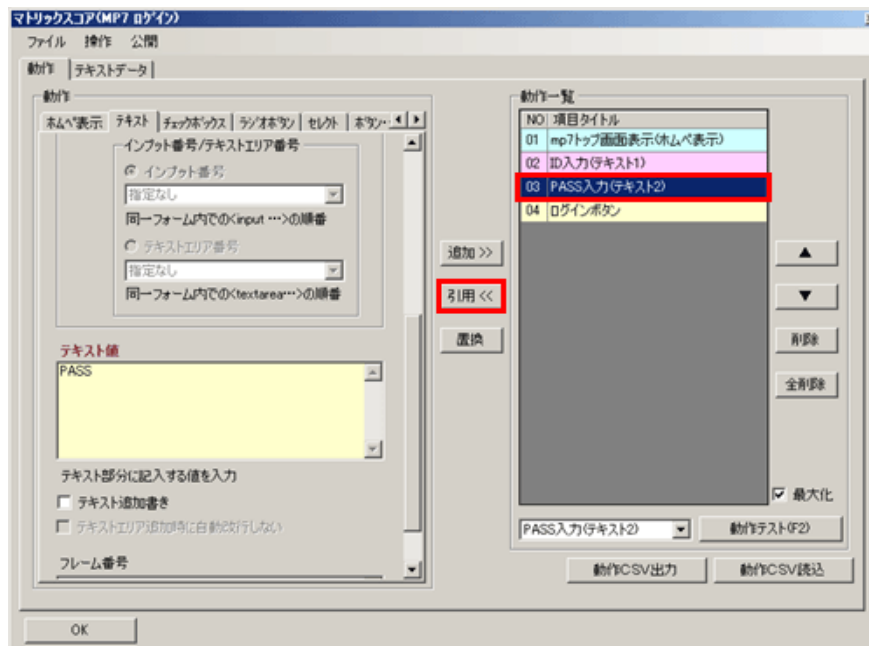
⑦ 動作一覧から「ID 入力(テキスト 1)」を選択して、引用をクリック。テキスト部分は、動作一覧に(テキスト)と表示されます。



- ⑧ テキストタブが選択されるので、テキストの値を、あなたのmp7 ログイン ID に変更して、置換をクリック。

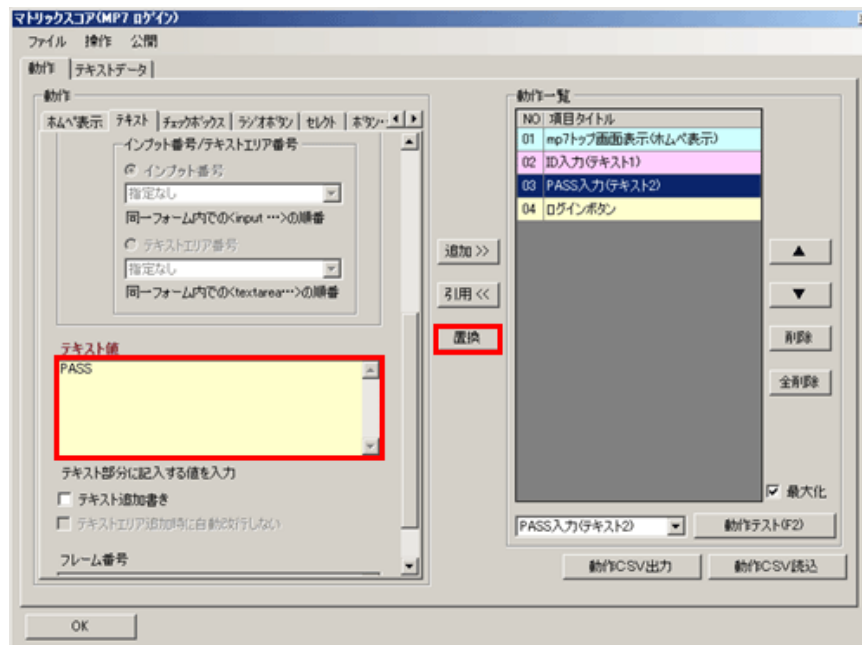


- ⑨ 次に、「PASS 入力(テキスト2)」を選択して、引用をクリック。



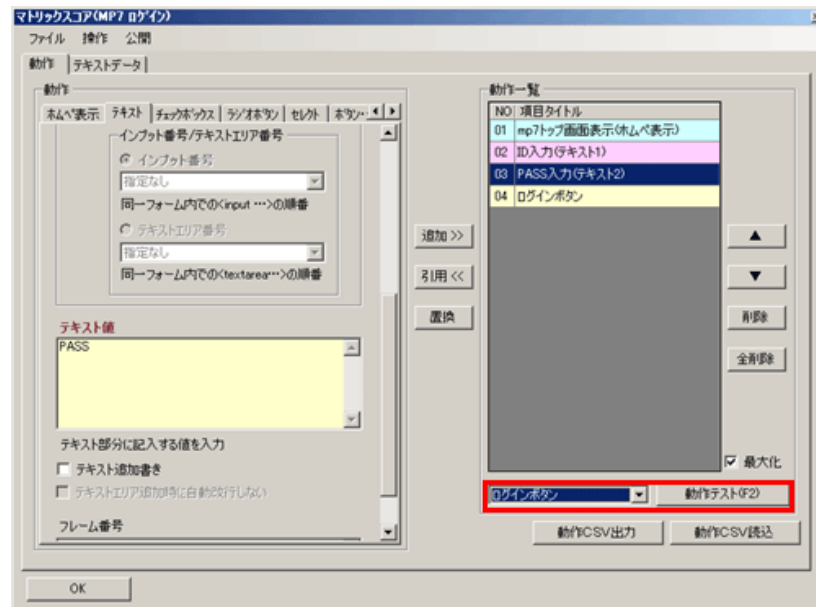


- ⑩ 同様に、テキストタブが開き、テキストの値を、あなたの mp7 ログインのパスワードに変更して、置換をクリック。



※ ID, PASSは、必ず、あなたが取得したIDとPASSに変更して置換して下さい。

- ⑪ 動作のテストを行います。動作テストのリストからログインボタンを選択し、動作テストボタンをクリック。



- ⑫ プレビュー画面が開き、mp7 のログインが実行されます。ログインができればOKです。



- ⑬ 開いているサブ画面をすべて閉じます。メイン画面で、mp7ログインを選択し、スタートボタンをクリックし実行。



以上で、テンプレートの使い方の説明を終わります。

※テンプレートを使用した場合は、動作のテキスト部分のテキストの値を、あなたの値に、必ず書き換えて下さい。テキスト部分の動作は、一覧に、(テキスト)の文字が表示されます。

---

※ログインできない場合は、下記の項目を確認して下さい。

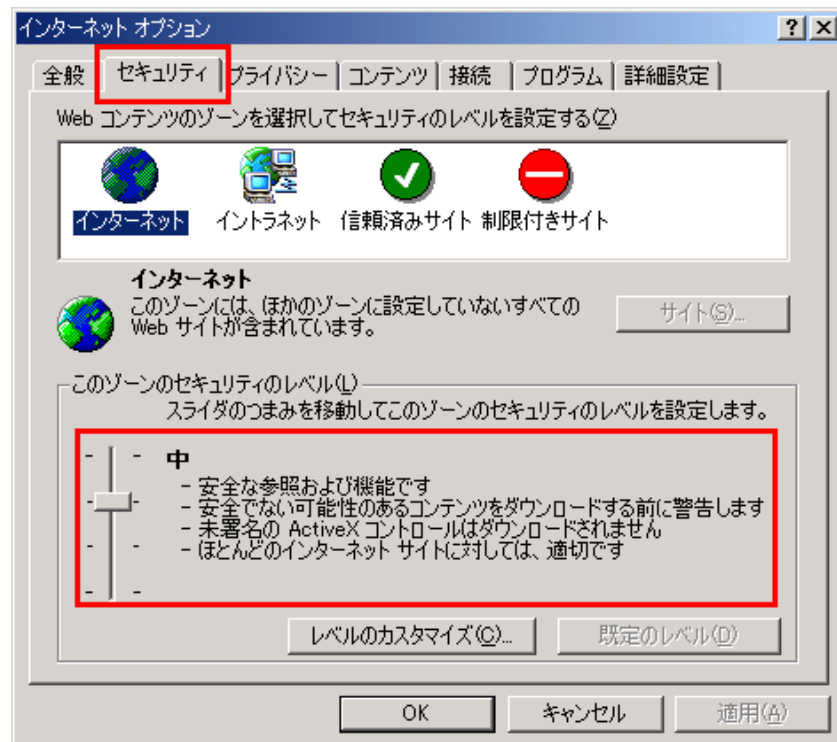
## IEの設定

マトリックスでは、Windows の IE(Internet Explorer)のブラウザコンポーネントを使用するため、IE の設定によっては、マトリックスの動作がブロックされる場合があります。

その場合は、IE を起動して、メニュー>ツール>インターネットオプションを開いて下さい。

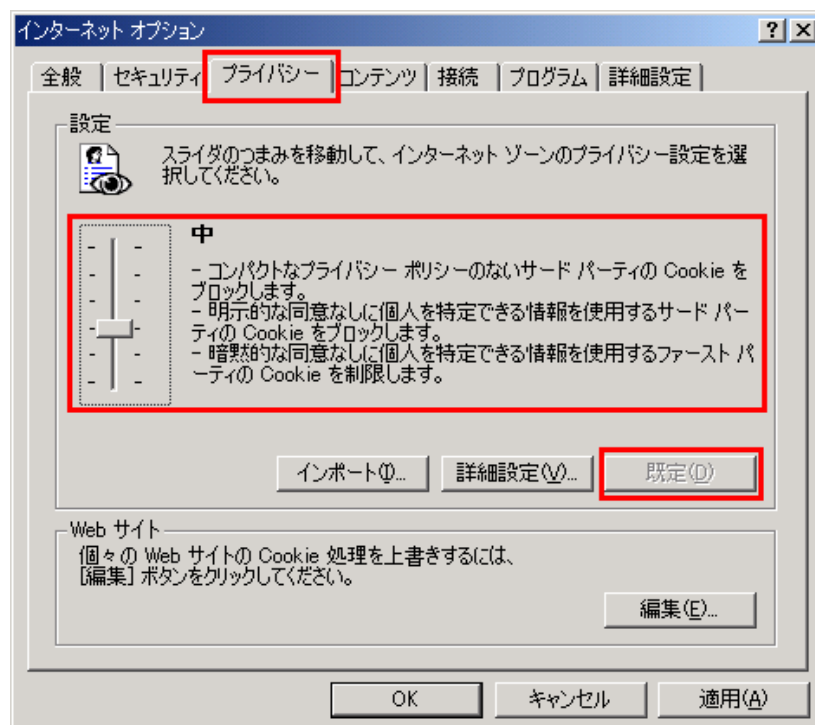
### ① セキュリティの設定

セキュリティタブを開き、インターネットのセキュリティレベルを「中」に設定して下さい。JavaScript、ActiveX などがブロックされている場合があります。



## ② プライバシーの設定

プライバシータブを開き、設定を「中」に設定して下さい。スライダが表示されない場合は、設定ボタンをクリックして下さい。  
Cookie(クッキー)などがブロックされている場合があります。



セキュリティの設定、プライバシーの設定を変更した後に、適用ボタンをクリック、OKボタンをクリック、その後、すべてのIEおよび、マトリックスを一旦終了させた後に、マトリックスを再起動して下さい。

### セキュリティソフトの設定

セキュリティソフトをご利用の場合、セキュリティソフトによって、

---

マトリックスの動作がブロックされる場合があります。マトリックスがうまく動かない場合は、セキュリティソフトを一時的に停止してみてください。

### Windows ファイアウォールの設定

Windows のスタートメニュー＞設定＞コントロールパネルに Windows ファイアウォールがあります。Windows ファイアウォールの設定によっては、マトリックスの動作がブロックされる場合があります。マトリックスがうまく動かない場合は、Windows ファイアウォールを一時的に無効にしてみてください。

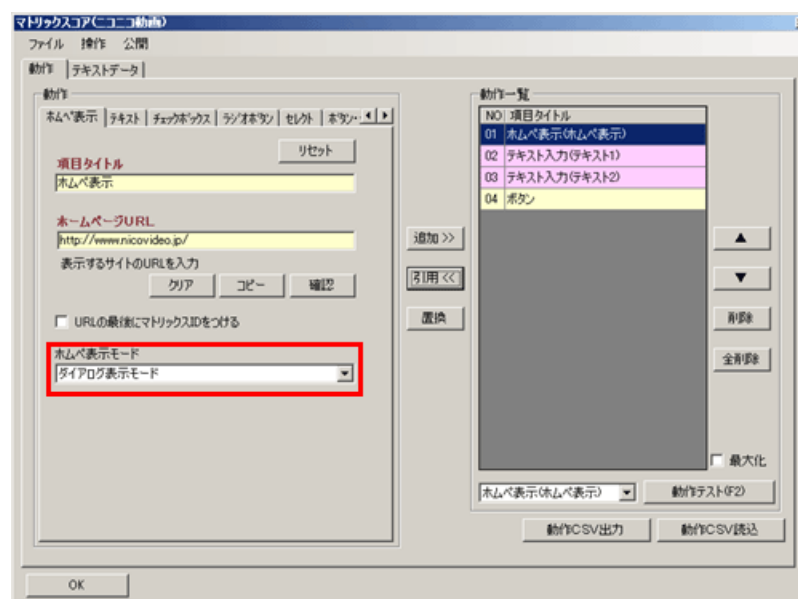
### セキュリティダイアログが表示される場合の設定

ログイン時に、セキュリティダイアログが表示されるサイトがあります。たとえば、ニコニコ動画(<http://www.nicovideo.jp/>)のサイトの場合、ログインを行うとセキュリティダイアログ表示されま

す。



この場合、マトリックスの動作タブ、ホームペ表示タブでURLを追加する際に、ホームペ表示モードを「ダイアログ表示モード」にして追加して下さい。





---

ホームページのURLの追加方法については、後述の「11-1. レッスン①(ホームページの表示)」をご覧ください。

セキュリティダイアログが表示されるサイトの場合は、「ダイアログ表示モード」に設定しないと、ログイン処理が行えない場合があります。

また、マトリックス上に表示されたセキュリティダイアログは自動では削除できませんので、手動で「はい」をクリックして削除して下さい。

## 7. テンプレート実例集

この章では、マトリックスにあるテンプレートの実例について説明します。

### 1) マトリックスで作るナナコブラウザ

マトリックスを使うと、ナナコブラウザと同様の機能が作れます。ナナコブラウザは、ログイン ID、パスワードを入力し、ログインを行うツールです。

#### ナナコブラウザ無料版



1クリック簡単ログインブラウザ。  
シーサーブログ、ライブドアブログ、忍者ブログ、FC2ブログへの1クリックログインが可能。アフィリエイトの効率が  
ゲンと上がります。

<http://1kiss.jp/nanaco/nanacobrowser.lzh>

---

マトリックスを使えば、ナナコブラウザと同じことができます。実  
例としては、テンプレートの無料スペースログインの項目を参考  
にしてください。

※ テキストのID、PASSは、必ず書き換えて下さい。

## 2) マトリックスで作る無料スペースホームページ作成

マトリックスを使うと、無料スペースでのホームページ作成が簡単にで  
きます。実例としては、テンプレートの無料スペースホームページ作成  
を参考にしてください。

このテンプレートでは、ホームページの項目として

- サイトタイトル
- トップ広告
- ヘッダテキスト
- ボディコンテンツ
- リンクテキスト

- フッタテキスト
- フッタ広告

の項目にわけて登録しています。

各要素を分けていると、メンテナンスが簡単です。

### 3) マトリックスで作るブログツール

マトリックスを使うと、ブログサイトへのログインや、記事作成画面の移動などがつくれます。実例としては、テンプレートのブログ参考にして下さい。

## 8 . もっと、マトリックスを使ってみよう

この章から、上級者向けの内容になります。

まずは、7章までの内容をよく読んで下さい。ここから、マトリックスについて、さらに詳しく説明していきます。

- 9章:マトリックスの用語
- 10章:ホームページの基礎知識
- 11章:レッスン
- 12章:練習課題

まずは、9章で、マトリックスの用語について説明し、10章から、ホームページについて説明します。

11章に、マトリックスを勉強するためのレッスンがあります。12章に、練習課題を用意していますので、チャレンジしてみてください。

---

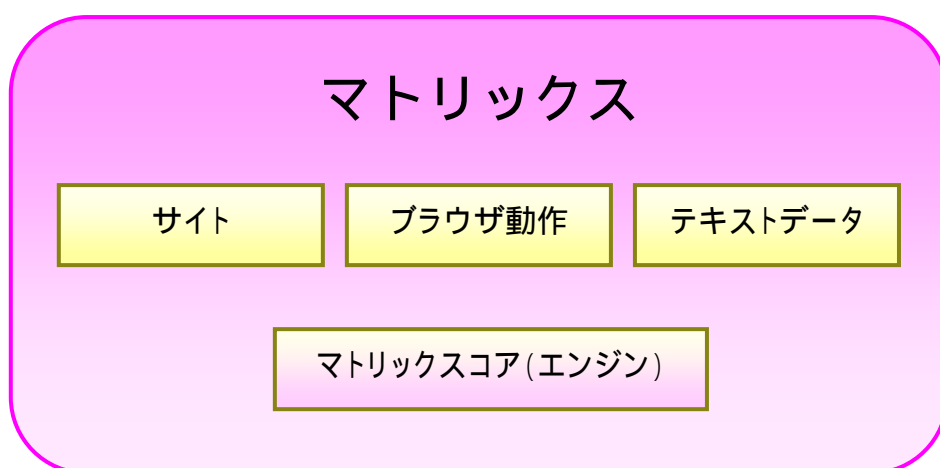
ここから、長い説明になります。少しずつ進めて下さい。

## 9. マトリックスの用語について

マトリックスの用語について説明します。

マトリックスには、サイト、ブラウザ動作、テキストデータの3つの用語があります。サイトとは、マトリックスで管理するホームページやサイトのことです。サイトは、ツリー構造で管理できます。

ブラウザ動作とは、登録したサイトで行う、ブラウザの動作になります。たとえば、テキストフォームに文字を入力するなど、ブラウザで行う1つずつの動作になります。



---

テキストデータは、ブラウザ動作のテキスト部分だけを別管理するためのものです。同じサイトにログインするような場合、複数のサイトを登録するよりも、1つのサイトで、ログイン情報のテキストデータだけを別に管理した方が、便利になります。テキストデータの管理は、必須ではありませんので、必要に応じて使ってください。詳しくは、13章の「テキストデータについて」をご覧ください。

最後に、マトリックスには、マトリックスコアというエンジンを搭載しています。マトリックスコアは、登録したブラウザ動作を解析して、マトリックスを操作するためのエンジンです。

それでは、ここから、ホームページの基礎知識について説明を行っていきます。



## 10-1. ホームページの基礎知識

この章では、ホームページの基礎知識について説明します。

インターネットのサイトにブラウザでアクセスすると、ホームページの内容がブラウザに表示されます。

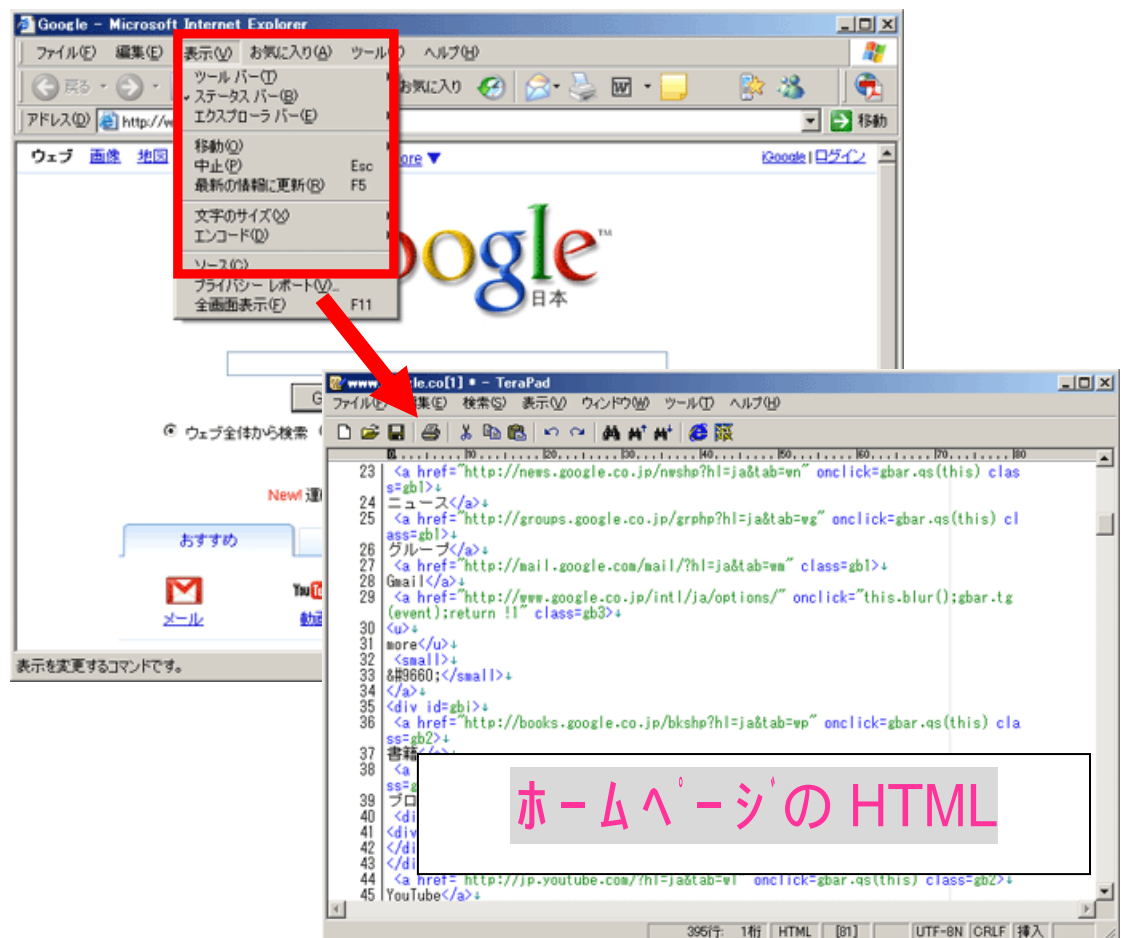
たとえば、ブラウザのアドレスにグーグルの URL を入力すると、グーグルのサイトが表示されます。

グーグル

<http://www.google.co.jp/>



グーグルを表示した状態で、ブラウザのメニュー＞表示＞ソースを選択すると、グーグルのホームページのHTML(エッチティーエムエル)が表示されます。



＜〇〇＞のようなカッコの文字が表示されますが、このカッコの文字のことをタグと呼びます。例えば、はじめの方に＜html＞の

---

ような文字があると思いますが、これをhtmlタグ(エッチティーエムエルタグ)と呼びます。

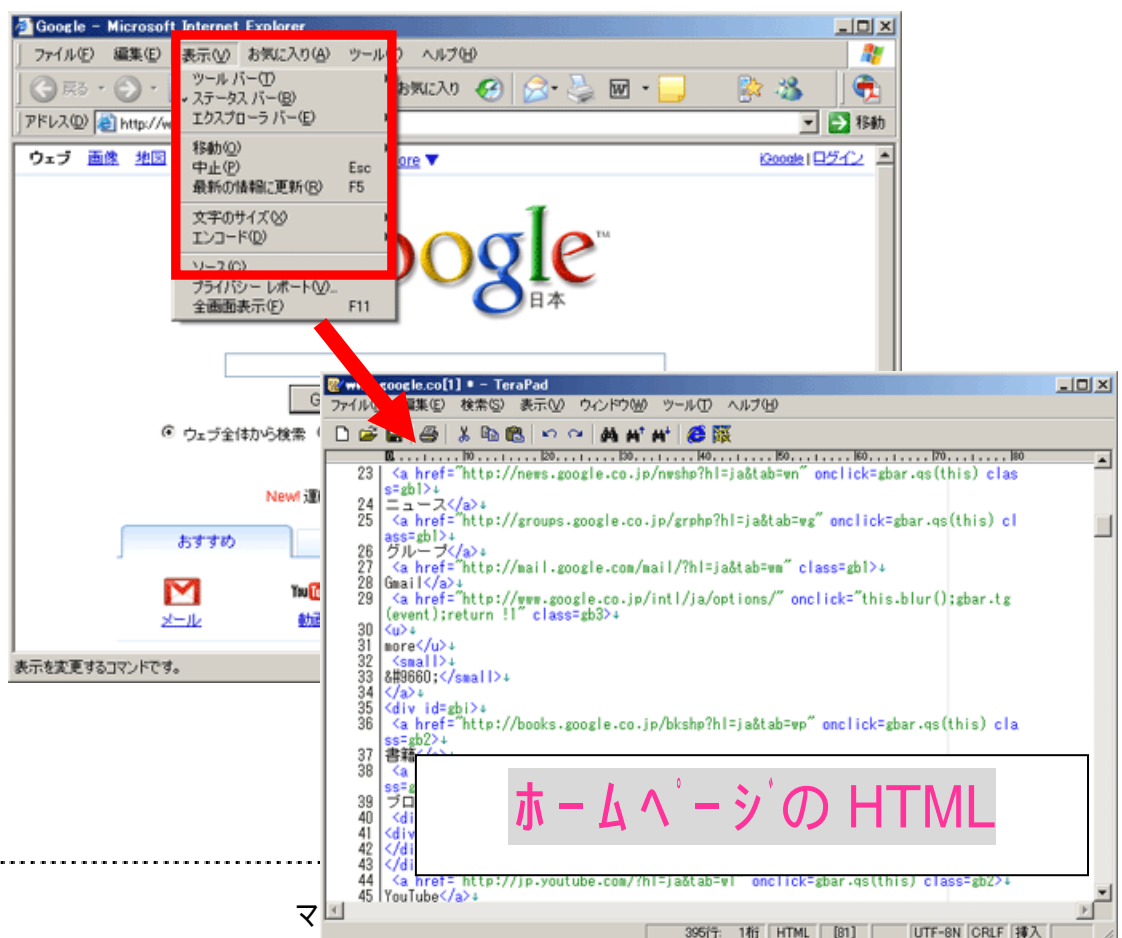
マトリックスに、ブラウザの動作を登録するには、ホームページのHTMLを調べる必要があります。

次に、ホームページのHTMLの表示方法について説明します。

## 10-2. ホームページの基礎知識 (HTMLの表示)

ここでは、ホームページのHTMLを表示する方法について説明します。

ブラウザにホームページを表示した状態で、ブラウザのメニュー→表示→ソースを選択すると、ホームページのHTMLが表示されます。



Copyright (C) 2010 ティーラーヒップ All rights reserved.

無断転載および複製を禁じます。

---

別の方法としては、ブラウザの画面上で、右クリック>ソースの表示を選択しても、HTMLを表示できます。

HTMLを表示すると、Windowsのデフォルトでは、メモ帳で開かれます。ただし、HTMLは、いろいろな文字コードで書かれていて、メモ帳の場合、シフト JIS などの一部の文字コードしか表示できずに文字化けする場合があります。そのため、メモ帳でなく、TeraPadのようなテキストエディタを使用することをおすすめします。

すでに、HTML の表示をメモ帳以外のテキストエディタに関連づけている方は、以下の部分は、読み飛ばして下さい。

ここでは、IEのHTMLの表示に、TeraPad(テラパッド)で行うように設定する方法について説明します。

---

TeraPad は、無料のテキストエディタです。下記のURLから、ダウンロードして、インストールして下さい。

TeraPad

<http://www5f.biglobe.ne.jp/~t-susumu/>

次に、下記のURLから、AddRegというツールをダウンロードして下さい。

AddReg

[http://members.at.infoseek.co.jp/delfy\\_soft/addseries/Add\\_Reg013.lzh](http://members.at.infoseek.co.jp/delfy_soft/addseries/Add_Reg013.lzh)

Add\_Reg013.lzh は圧縮ファイルですので、ダウンロード後、解凍して下さい。解凍すると複数ファイルが作成されます。その中の TP.INI ファイルを開いて下さい。

その中に、AppExePath という項目がありますので、ここに、TeraPadをインストールしたパスを書いて下さい。TeraPadをデフォルトのままインストールしている場合は、変更する必要はあり

---

ません。

AppExePath=C:¥Program Files¥TeraPad¥TeraPad.exe

デフォルトでは、上記のように書かれています。TP.INI ファイルを編集後、Add\_Reg.exe ファイルをダブルクリックして下さい。

以上で、IEのHTML表示をTeraPadで表示されるように設定されました。

設定完了後、IE の HTML 表示を行い、TeraPadで表示されることを確認して下さい。

## 10-3. ホームページの基礎知識 (HTMLの表示)

HTMLの表示方法について、メニューからの表示と、右クリックからの表示の2つを説明しましたが、マトリックスのプレビュー画面からも、ホームページのHTMLを表示する方法について説明します。

マトリックスのプレビュー画面で、ホームページを表示後に、HTMLソース表示ボタンをクリックすると、最後に表示したホームページのHTMLが表示されます。





---

マトリックスでのHTMLの表示は、Windows でテキストファイルを開くように設定されているテキストエディタで開きます。もし、Windows でテキストファイルを開くソフトが初期状態の NotePad の場合は、TeraPadなどのテキストエディタに変更した方が便利です。

この設定は、先ほどのIEのHTML表示の設定とは、別の設定になります。テキストファイルを、TeraPad(テラパッド)で開くように設定する方法について説明します。

#### ※補足: 拡張子について

Windows では、ファイルは、拡張子をもっています。拡張子とは、ファイルの最後につくドット以降の文字です。この拡張子によって、開くアプリケーションが関連づけられています。

拡張子の例:

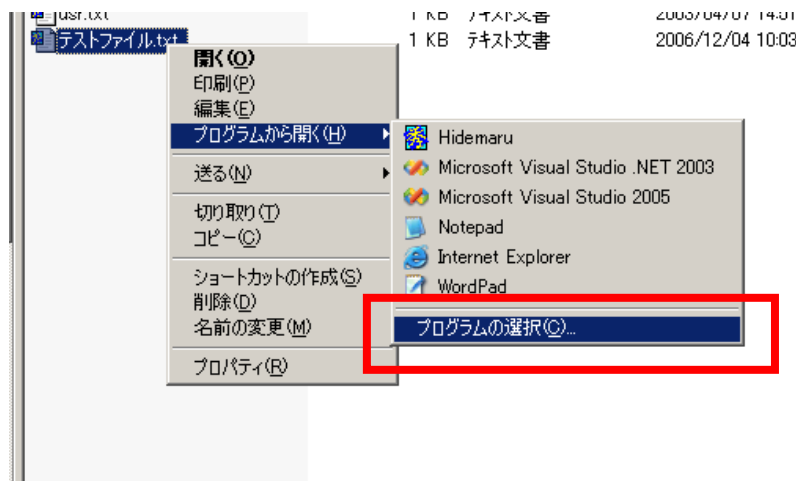
doc: ワードファイル

xls:エクセルファイル

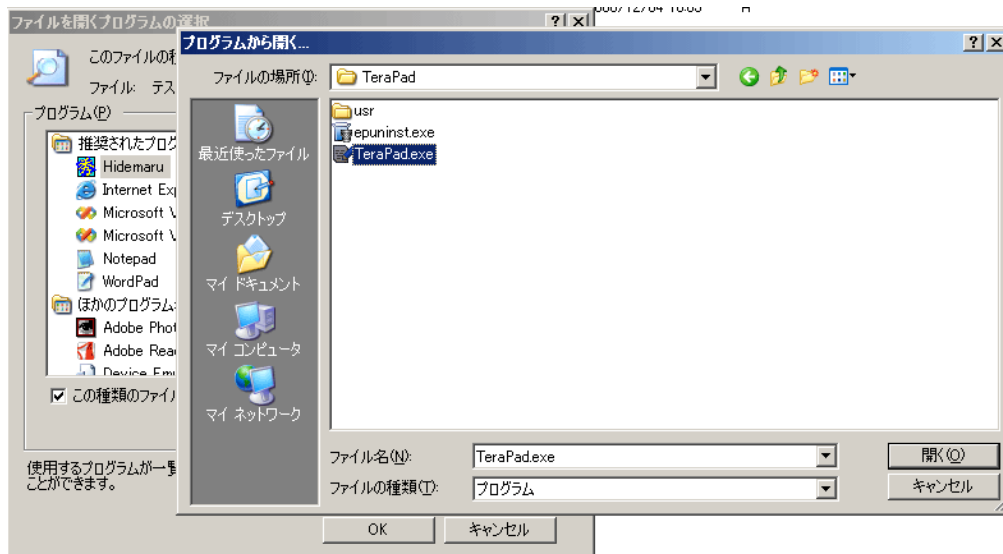
txt:テキストファイル

doc はワードに関連づけられているため、doc ファイルをダブルクリックすると Word がひらきます。同様に txt ファイルをダブルクリックするとテキストエディタがひらきます。Windows 標準では、テキストデータは NotePad に関連づけられています。このため、初期状態で、テキストファイルをダブルクリックすると NotePad が開きます。

まず、テストファイル.txt を作成して下さい。テキストファイルの中身は、何でも OK です。次に、テストファイル.txt を左クリックで選択し、右クリック＞プログラムから開くを選び、その中のプログラムの選択を選びます。



プログラムの選択ダイアログが開くので、真中下側の「この種類のファイルを開くときは、選択したプログラムをいつも使う」のチェックボックスをチェックし、その右の参照ボタンをクリック。参照ダイアログで、C:\Program Files\TeraPad\TeraPad.exe を選択します(TeraPad を、他のフォルダにインストールしている場合は、そのフォルダを選択して下さい)。ダイアログの OK ボタンを押し、ダイアログを閉じます。



以上で、テキストファイルが TeraPad に関連づけられました。

今後、テキストファイルをダブルクリックすると NotePad ではなく TeraPad で開くようになります。

この設定を行うと、マトリックスのプレビュー画面でのHTML表示で TeraPad が起動します。

また、マトリックスのHTML表示では、HTMLをわかりやすく成形して表示します。

---

成形する内容は、つぎのようになります。

- <form>タグ → ▼form
- <input>タグ → ▼input
- <textarea>タグ → ▼textarea
- <select>タグ → ▼select

form タグ、input タグ、textarea タグ、select タグなどは、HTML のフォームタグです。

これらのフォームタグ、マトリックスに動作を登録する際に、必要なタグになります。

これらのタグを見やすくするために、それぞれ「▼form」「▼input」「▼textarea」「▼select」の文字を付加して表示しています。

---

「▼form」「▼input」「▼textarea」「▼select」の文字で検索を行うと、必要なタグを見つけることができます。

また、各タグの後ろに番号が表示されています。

たとえば、▼form[0]とは、0 番目の form タグになります。マトリックスの動作「ボタン・送信」などで、このフォームを指定する場合は、フォーム番号を 0 番に設定します。

▼input[1]は、各フォーム内の 1 番目の input タグになります。マトリックスの動作「ボタン・送信」などで、この input タグを指定する場合は、インプット番号を 1 番に設定します。

それでは、つぎに、HTMLフォームについて説明します。

## 10-4 . ホームページの基礎知識 (HTML フォーム)

HTML フォームは、ホームページ上で文字を入力したり、リストを選択したり、ラジオボタンが選択できる部分のことです。

HTML フォームには、

- 文字の入力
- セレクト(リスト)の選択
- ラジオボタンのチェック
- チェックボックスのチェック
- ボタンをクリック

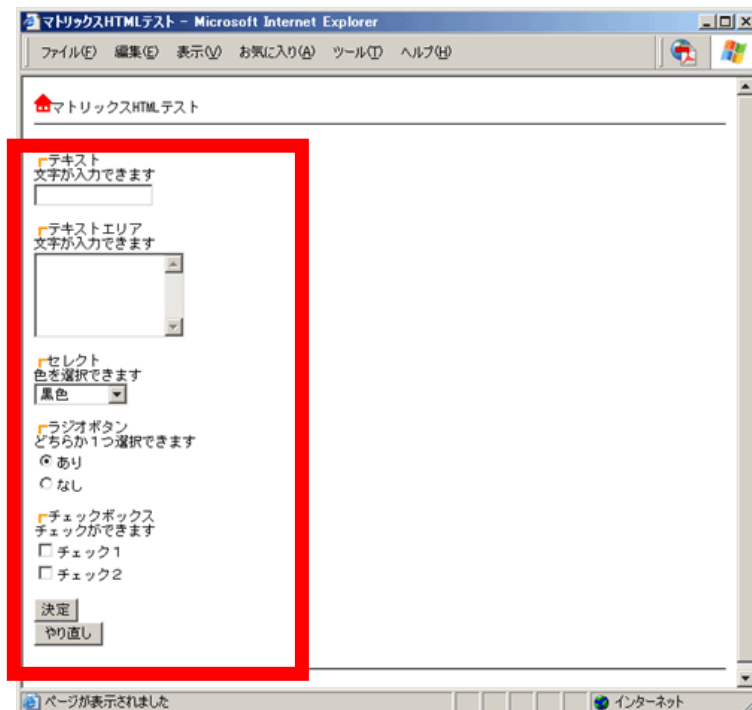
などがあります。

例えば、以下のURLにアクセスして下さい。

## マトリックステストサイト

<http://mtrx.asia/test/>

表示されるサイトの、下記の赤枠の部分が、HTMLフォームになります。



ホームページの中に



- 
- ① テキスト
  - ② テキストエリア
  - ③ セレクト
  - ④ ラジオボタン
  - ⑤ チェックボックス
  - ⑥ ボタン

のHTMLフォームがあります。

これからのHTMLフォームをマトリックスで制御できます。

つぎの章から、マトリックスを使って、HTMLフォームを制御するための7つのレッスンをしていきます。

## 11-1. レッスン (ホームページの表示)

この章では、マトリックスを使って、HTMLフォームの制御する方法について説明していきます。レッスンは、計7つあります。

一番目の、このレッスンでは、ホームページを表示する方法について説明します。

① Matrix.exe ファイルをダブルクリック。



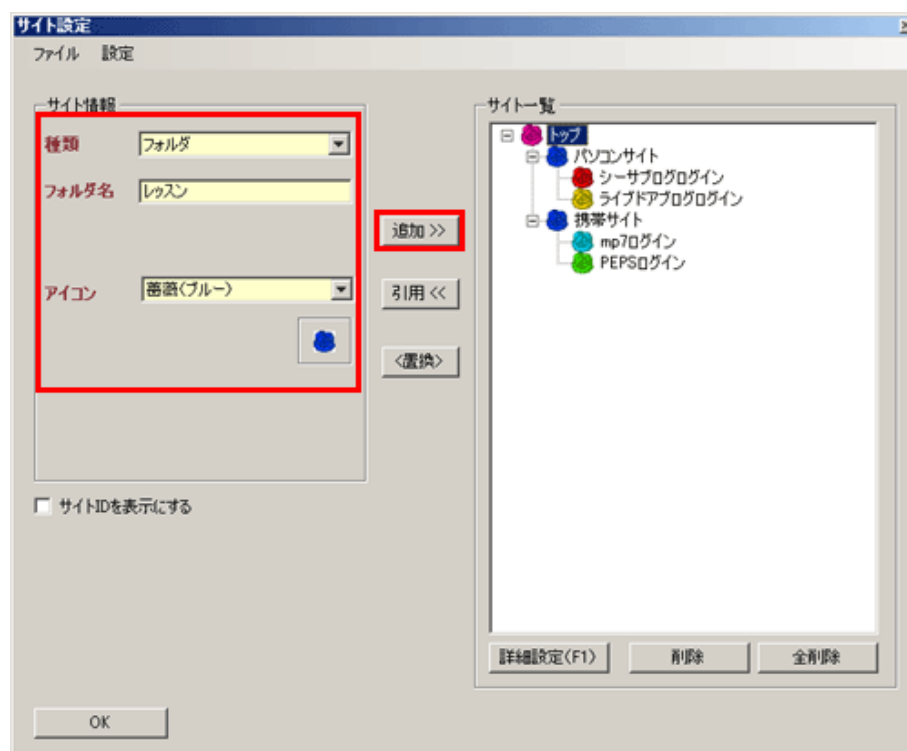
② メニュー>サイト一覧>サイト設定を選択。



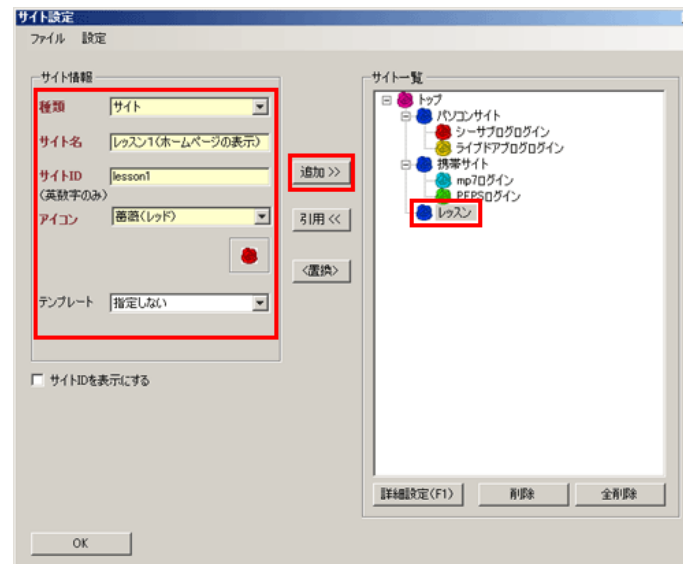
③ レッスン用に、トップの下に、レッスンというフォルダを作成します。その下にレッスン用のサイトを登録していきます。

サイト一覧からトップを選択した状態で、種類:フォルダ、フォルダ名:レッスンを入力し、追加をクリック。

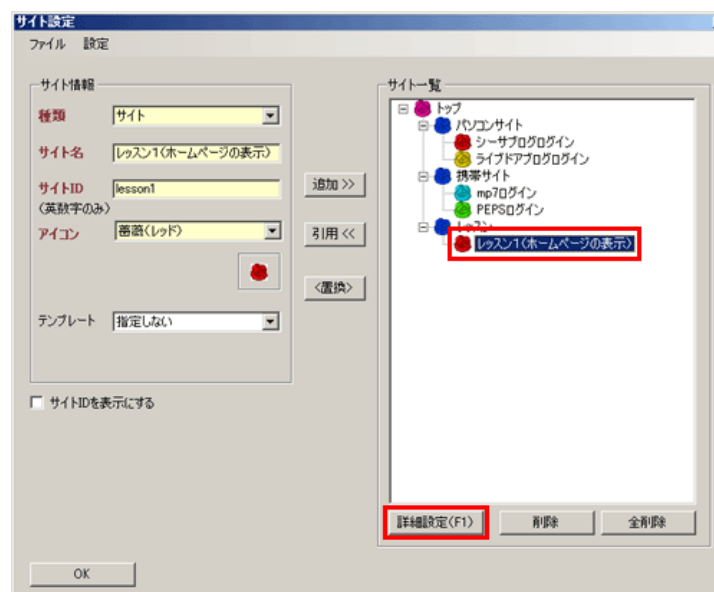
これで、レッスンフォルダが、トップの下に作成されます。



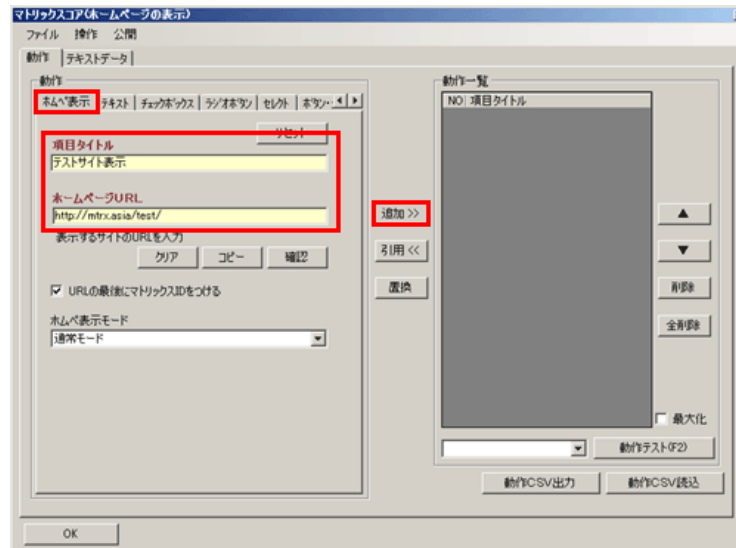
- ④ サイト一覧から、先ほど作成したレッスンフォルダを選択した状態で、種類、サイト、サイト名:レッスン1(ホームページの表示)、サイトID:lesson1 を入力し、追加をクリック。



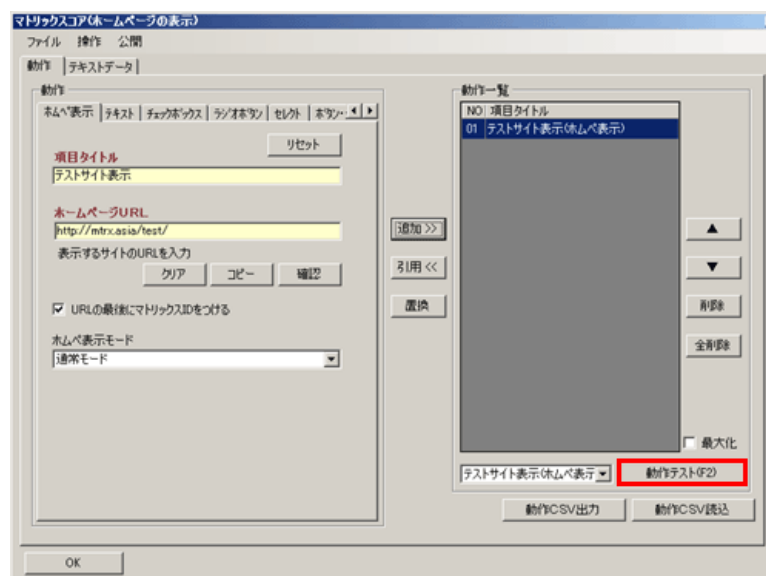
- ⑤ サイト一覧から、レッスン1(ホームページの表示)を選択し、マトリックスコアをクリック。



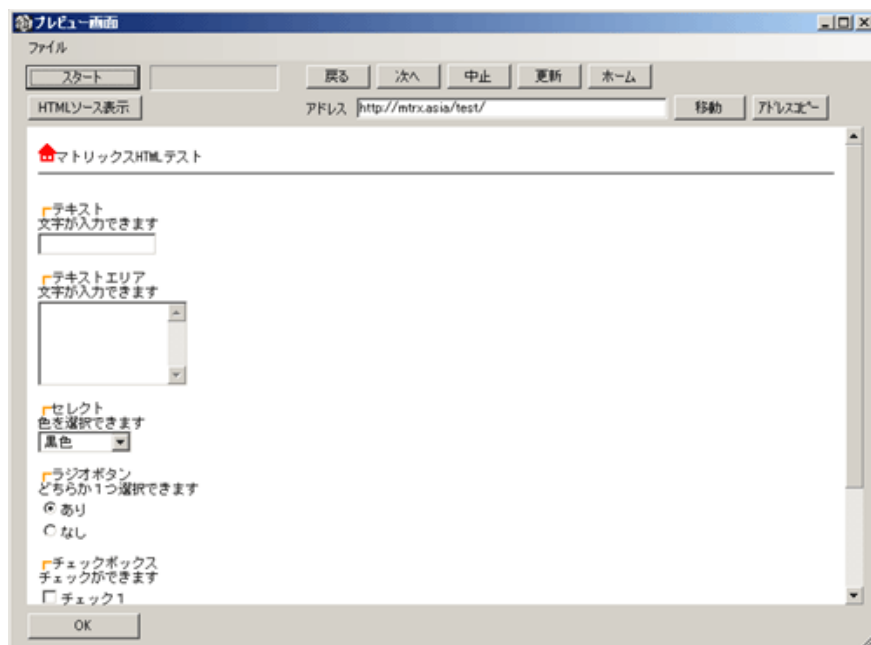
⑥ 動作タブ、ホームペ表示タブを選択肢、項目タイトル:テストサイト表示、ホームページ URL:http://mtrx.asia/test/を入力し、追加をクリック。



⑦ 追加した動作が動作一覧に表示されます。動作テストをクリック。



⑧ プレビュー画面が起動し、<http://mtrx.asia/test/>のサイトを  
表示されます。



以上で、ホームページの表示が完了です。

ホームペ表示モードの「ダイアログ表示モード」は、ログインサイトでセキュリティダイアログが表示される場合に使用して下さい。  
詳しくは、P37 の「④セキュリティダイアログが表示される場合の設定」をご覧ください。

## 重要1 (ログイン後のサイトのURL表示について)

ログイン画面を含むサイトの場合、ログイン後のURLを登録しても、サイトが表示できない場合があります。

たとえば、FC2ブログの記事登録画面のURLは

`http://blog57.fc2.com/control.php?mode=editor&process=new`

になりますが、このURLだけを動作のホムペ表示に登録しても、表示できません。これは、このページを表示するためには、一旦、ログインをしてからでないと表示できない仕組みになっているためです。

そのため、マトリックスで、FC2ブログ記事登録画面を表示する場合は

- 
- 1)FC2ログインページを表示
  - 2)ID, PASSを入力し、ログイン
  - 3)FC2ブログ記事登録画面の表示

のように、ログインのステップを経てから表示する必要があります。

#### 重要2 (ドメイン名)

ホームページによっては、ログイン後に表示されるURLのドメイン名がアカウントで切り替わるものがあります(ドメイン名とは、[`http://〇〇〇/`](http://〇〇〇/)の〇〇〇にある英数字の文字のことです)。

たとえば、FC2ブログの記事投稿画面は

[`http://blog57.fc2.com/control.php?mode=editor&process=new`](http://blog57.fc2.com/control.php?mode=editor&process=new)



---

になりますが、blog57.fc2.com の部分は、取得したアカウントによって変わります。そのような場合は、あるアカウントでは、ログインできても、他のアカウントではログインできなくなります。その場合

`http://%domain%/control.php?mode=editor&process=new`

のようにドメイン名部分を「%domain%」としたURLを登録して下さい。%domain%部分を、その前に表示しているURLから自動取得し、ドメイン名に置換して表示します。

%domain%を使うかどうかの判断は、ログイン前のURLのドメイン名と、ログイン後のURLのドメイン名を見比べて違う場合や、アカウントによってログイン後のドメイン名が異なる場合に使用して下さい。

ただし、サイトによっては、%domain%でドメイン名が取得できな

---

い場合もあります。その場合は、%domain%でなく、直接URLを指定して下さい。

### 重要3 (セッション引数)

ホームページによっては、ログイン後に表示されるURLのドメイン名以外の部分がログイン毎に、かわるものがあります

たとえば、mp7の場合は、ログイン後

[http://mh6.mp7.jp/hp/free\\_custom.php?S=ec73880f87d452](http://mh6.mp7.jp/hp/free_custom.php?S=ec73880f87d452)

のようになりますが、S=ec73880f87d452 の部分の S=の後ろの文字は、同じアカウントでもログイン毎にかわります。これをセッション引数といいます。イコールより前の文字(S)をセッション引数のキー文字といい、後ろの文字(ec73880f87d452)がセッション引数の値といいます。

---

セッション引数キー文字はかわることはなく、セッション引数の値の部分が毎回かわります。

セッション引数の値は、時間がたつと無効になる文字のため、このままのURLを登録すると、その時はログインできても、時間がたつとログインできなくなります。

セッション引数かどうかの判断は、同じアカウントでログインしている場合でも、ログイン毎にランダムな英数字になっている部分があれば、そこがセッション引数になります。

そのような場合は

[http://mh6.mp7.jp/hp/free\\_custom.php?S=%S%](http://mh6.mp7.jp/hp/free_custom.php?S=%S%)

のように

セッション引数の値の部分を、%セッション引数のキー文字%(%

---

は半角のパーセント)にした文字をURLに登録して下さい。

これで、セッション引数の値を、自動的に取得します。

ただし、ホームページによっては、セッション引数が取得できない場合もあります。すべてのセッション引数の対応ができる訳ではありません。

#### 重要4 (URLにログインID, パスワードが含まれる場合)

ホームページによっては、ログイン後にURLにログイン時のログインID, パスワードが含まれるものがあります。

たとえば、peps の場合は、ログイン後のURLは

`http://x105mn.peps.jp/all/base.php?id=ID&ps=PASS&cnn=top&cn=0`

---

のように、URL にログイン ID とパスワードが含まれています。

このままのURLでも登録できますが、このまま登録すると、他のアカウントでログインした際に、URLを書き換える必要があります。

この場合は、マトリックスでログイン時に、動作テキストの入力で入力したログイン ID とパスワードの値を利用できます。

利用するには

`http://x105mn.peps.jp/all/base.php?id=%text1%&ps=%text2%  
&cnn=top&cn=0`

のように%text 数字%と書きます。

%text1%というのは、マトリックス動作一覧のテキスト入力の1番

---

目に入力した値(テキスト1の部分)になります。

%text2%というのは、動作一覧のテキスト入力の2番目に入力した値(テキスト2の部分)になります。

この機能を使うと、ログイン ID、パスワードが URL に含まれる場合でも、1つの動作で複数アカウントの処理ができます。

#### 重要5 (ホームペ表示まとめ)

以上で、マトリックスでホームページを表示(ホームペ表示)する際の重要な項目について説明しました。

もし、ホームページが表示できない場合は、下記の内容をもう一度チェックして下さい。

① ログイン後のURLでないかどうか？(重要1)

② ドメイン名がかわっていないか？(重要2)

⇒ %domain%の使用

③ セッション引数はないか？(重要3)

⇒ %セッションキー文字%の使用

④ URLにID, PASSがないか？(重要4)

⇒ %text 数字%の使用

## 1 1-2 . レッスン (テキストの入力)

このレッスンでは、テキストに文字を入力する方法について説明します。

下記のサイトにアクセスして下さい。

マトリックステストサイト

<http://mtrx.asia/test/>

テキストは、下記の部分です。文字の入力ができます。

テキスト  
文字が入力できます



---

HTML の文では、テキストを

`<input type=text name=●● ...>`

のように書きます。

マトリックスを使って、文字を入力する場合、入力したいテキスト  
HTML フォームの名前(name)を調べます。

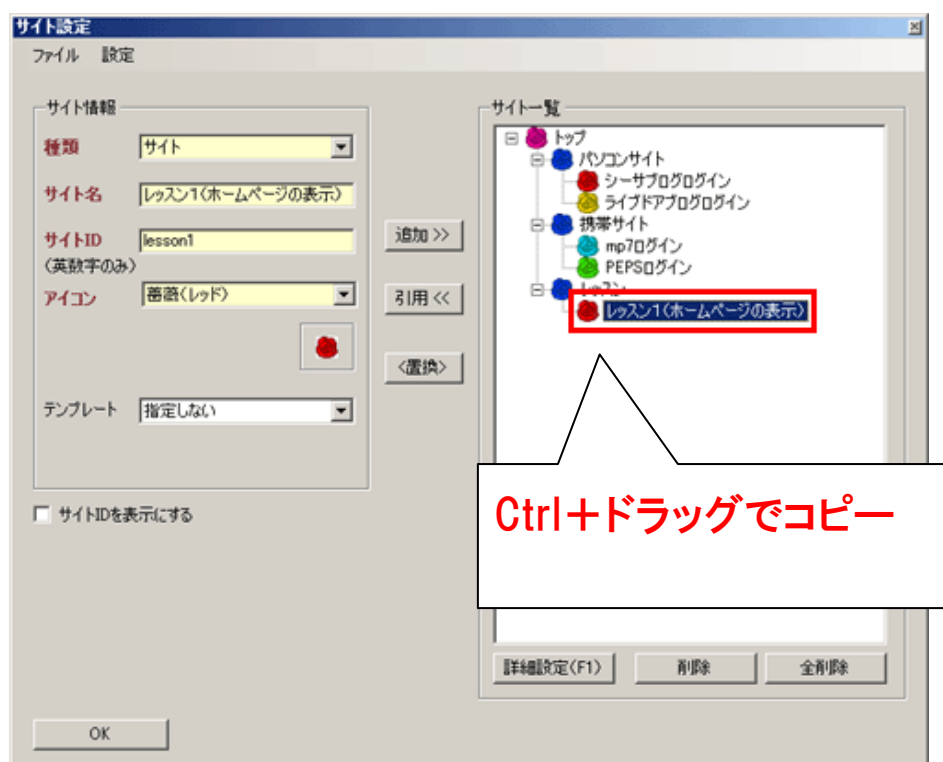
`<input type=text name=●● ...>`

調べ方は、HTML のソースを表示して、対応するテキストの  
name を調べます。

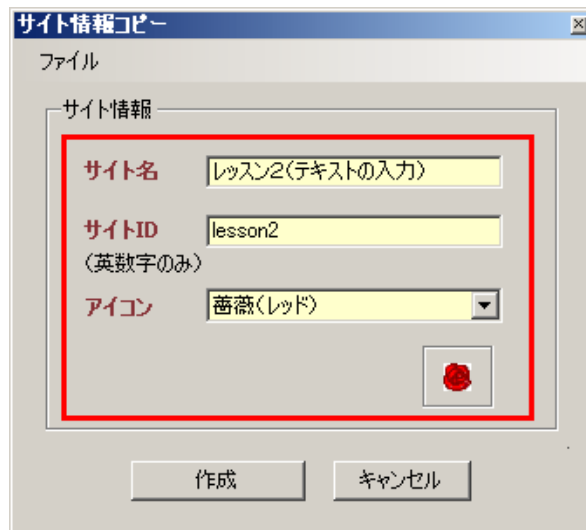
それでは、サンプルを交えて、HTML のソースを調べて、テキ  
ストに文字を入力するレッスンを行っていきます。

このレッスンでは、レッスン1で行ったデータを利用しますので、  
レッスン1を行っていない場合は行って下さい。

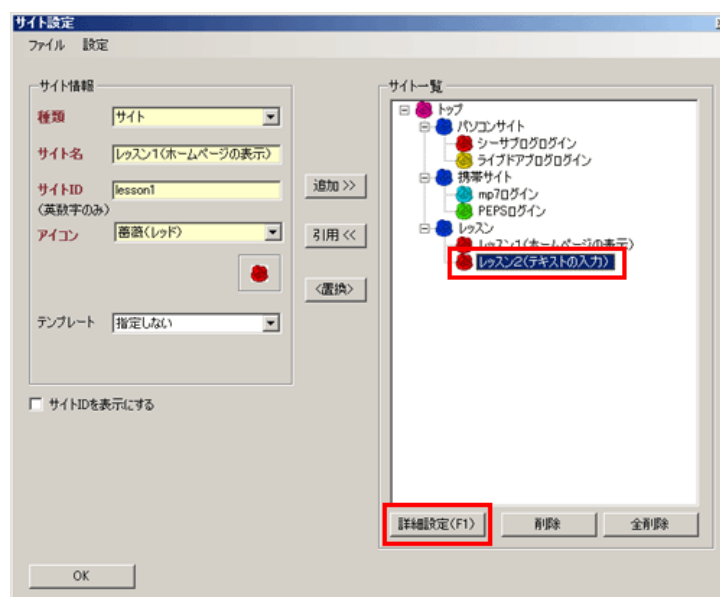
- ① サイト設定画面を開き、レッスン1で作成した「レッスン1(ホームページの表示)」を Ctrl キーを押しながら、レッスンフォルダにドラッグ。サイトは、Ctrl+ドラッグでコピーができます。コピーで作成すると、コピー元の動作が引き継がれます。



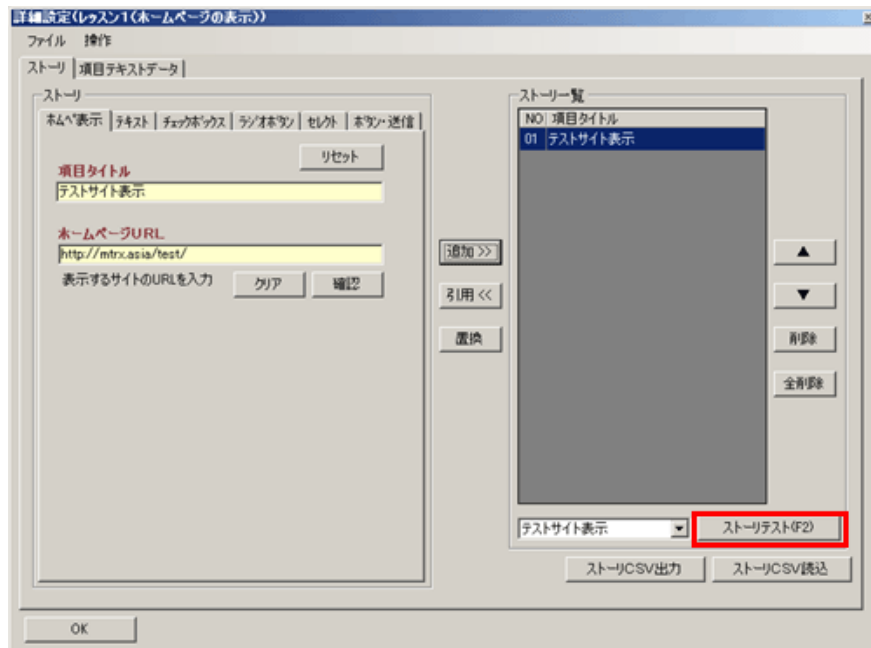
サイト作成画面が開き、サイト名:レッスン2(テキストの入力)、  
サイトID:lesson2 を入力し、作成をクリック。



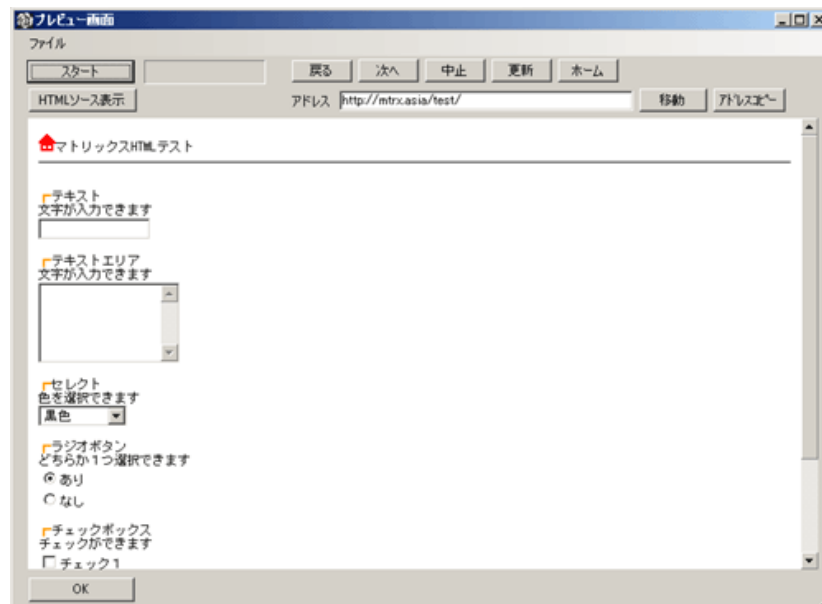
② サイト一覧から、レッスン2(テキストの入力)を選択し、マトリックスコアをクリック。



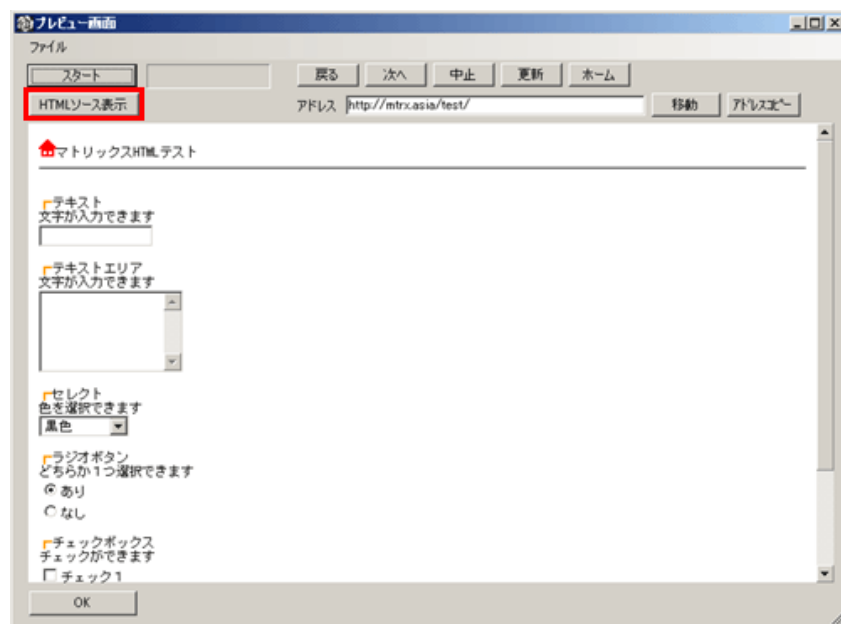
③ 動作テストをクリック。



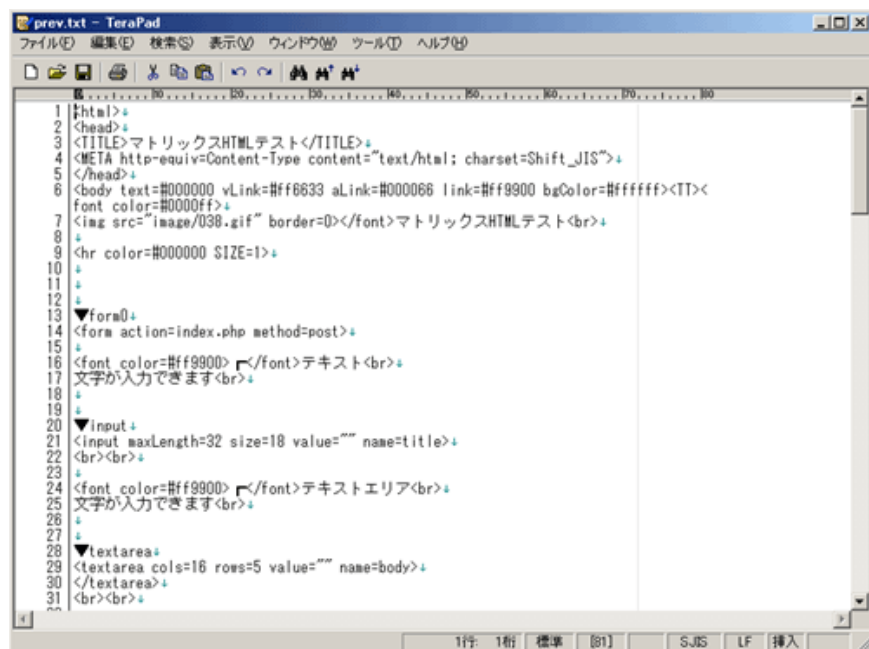
④ プレビュー画面が起動し、http://mtrx.asia/test/のサイトが表示されます。



## ⑤ HTMLソース表示をクリック。

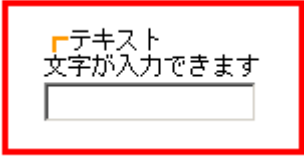


## ⑥ HTMLソースがテキストエディタで表示されます。



---

今回は、



の部分のテキストを入力するので、この部分のテキストタグを探します。テキストタグは

```
<input type=text name=●● ...>
```

のように input type=text となっています。

テキストエディタで「テキスト」などの文字で検索を行うとテキストを見つけることができます。また、マトリックスプレビュー画面のHTMLソース表示では、テキストに「▼input」の文字を付加して表示しますので、「▼input」の文字で検索すると、検索が簡単です。

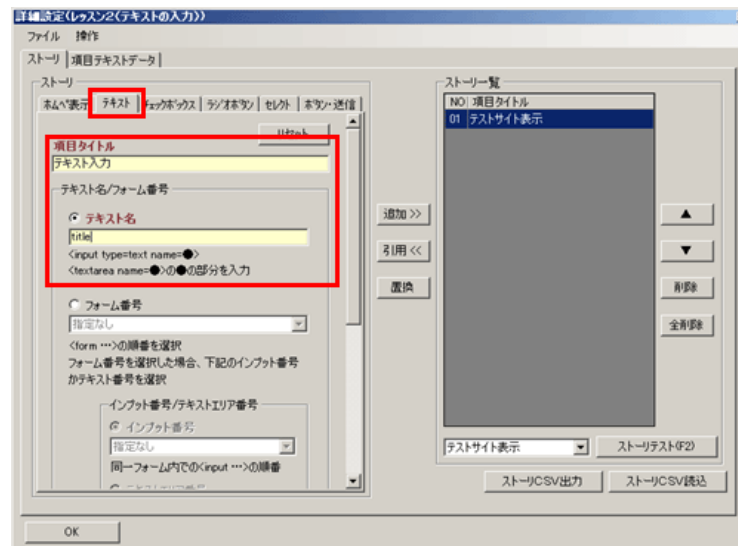
検索を行うと、以下のテキストが見つかります。

```
12 ↓
13 ▼form0↓
14 <form action=index.php method=post>↓
15 ↓
16 <font color=#ff9900> ⌞</font>テキスト<br>↓
17 文字が入力できます<br>↓
18 ↓
19 ↓
20 ▼input↓
21 <input maxLength=32 size=18 value="" name=title>↓
22 <br><br>↓
23 ↓
24 <font color=#ff9900> ⌞</font>テキストエリア<br>↓
25 文字が入力できます<br>↓
26 ↓
```

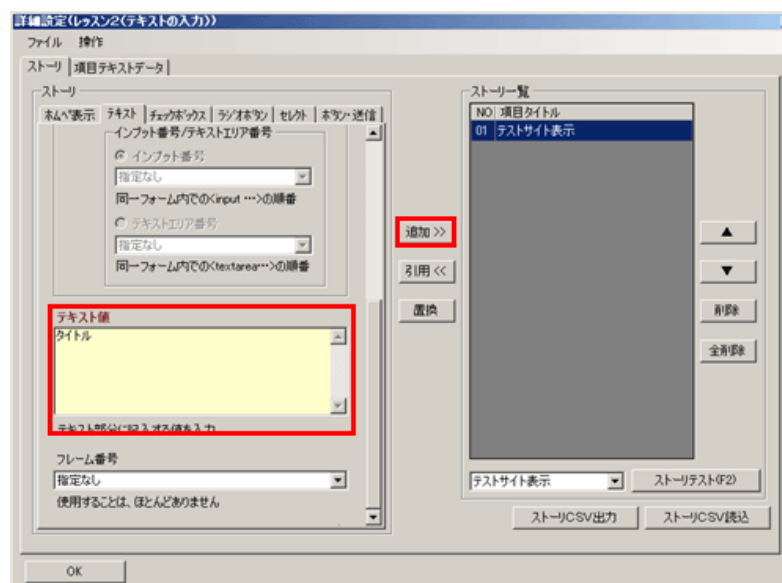
このテキストの名前(name)をチェックし、name が title であることをメモします。

テキストの名前をメモしたら、プレビュー画面を閉じます。

- ⑦ マトリックスコア画面でテキストタブを選択し、項目タイトル：テキスト入力、テキスト名：title を入力。テキスト名に、先ほどメモしたテキストフォームの名前を入力します。

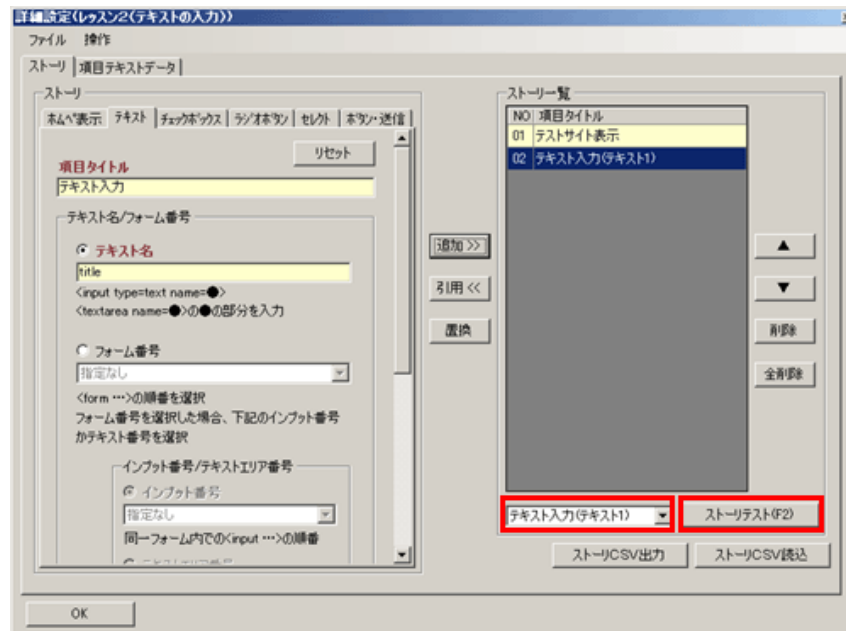


- ⑧ 画面を下にスクロールさせ、テキスト値：タイトルを入力し、追加をクリック。





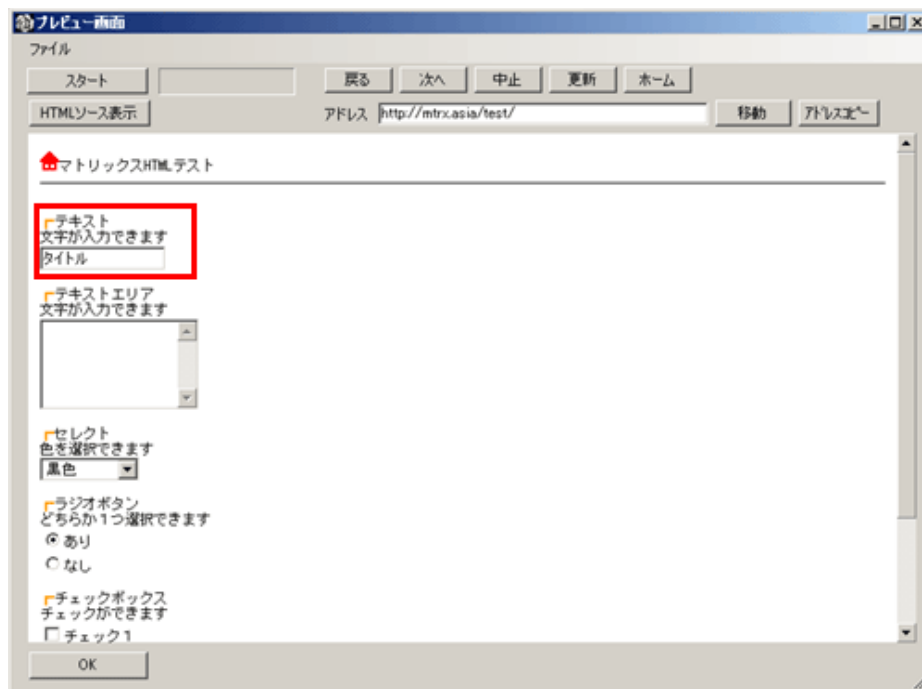
⑨ 動作が追加されます。動作テストをクリック。



動作が2つ以上になると、動作テストボタン左側のリストが選択できます。リストには、登録している動作の項目タイトル名が表示され、選択した動作までが、テストで実行されます。

例えば、この場合、「テストサイト表示」と「テキスト入力」が選択できます。「テストサイト表示」を選択し、動作テストを行うと、サイトを表示までをテストします。「テキスト入力」を選択し、動作テストを行うと、サイトを表示し、テキスト入力までをテストします。

- ⑩ プレビュー画面が表示され、動作が実行されます。テキストフォームに「タイトル」と入力すればOKです。



以上で、テキストの入力が完了です。

## 1 1-3 . レッスン (テキストエリアの入力)

このレッスンでは、テキストエリアに文字を入力する方法について説明します。

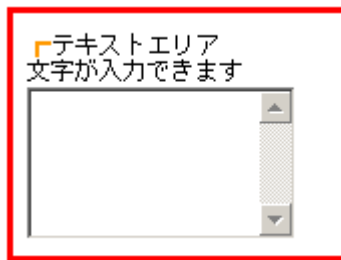
テキストエリアは、前章のレッスン2のテキストフォームと、ほとんど同じです。

下記のサイトにアクセスして下さい。

マトリックステストサイト

<http://mtrx.asia/test/>

テキストエリアは、下記の部分です。文字の入力が複数行できます。



HTML の文では、テキストエリアを

```
<textarea cols=XX rows=XX name=●●></textarea>
```

のように書きます。

マトリックスを使って、文字を入力する場合、入力したいテキストエリアの名前(name)を調べます。

```
<textarea ... name=●● ...>
```

調べ方は、HTMLのソースを表示して、対応するテキストエリア

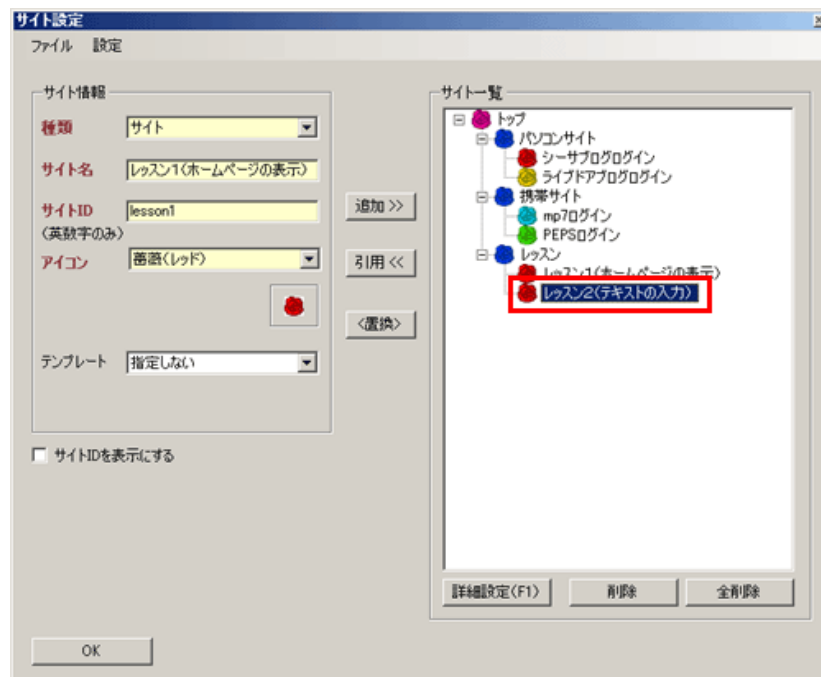
---

の name を調べます。

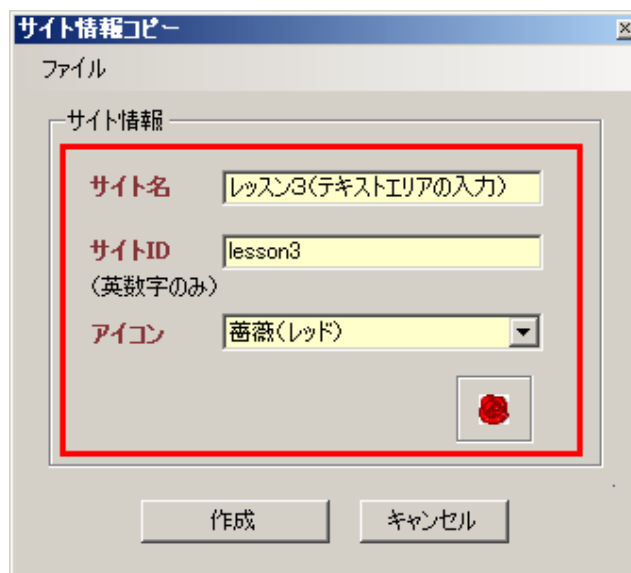
それでは、サンプルを交えて、HTMLのソースを調べて、テキストエリアに文字を入力するレッスンを行っていきます。

このレッスンでは、レッスン2で行ったデータを利用しますので、レッスン2を行っていない場合は行って下さい。

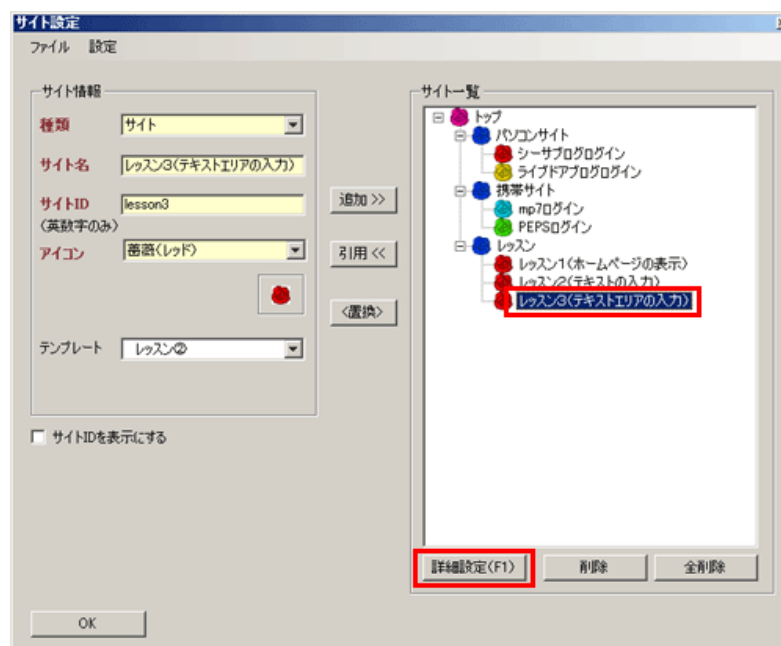
- ① サイト設定画面を開き、レッスン2で作成した「レッスン2(テキストの入力)」を Ctrl キーを押しながら、レッスンフォルダにドラッグ。



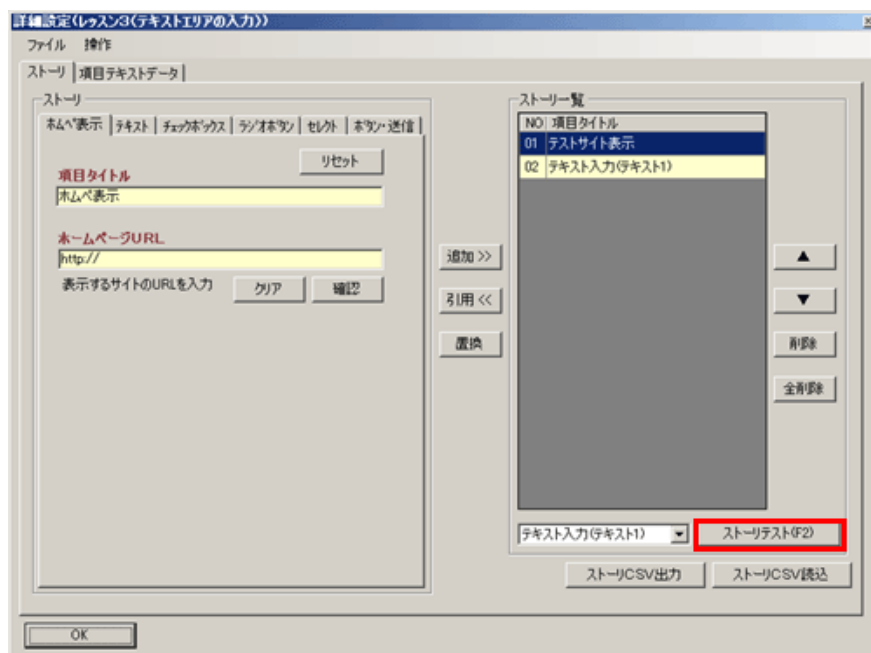
- ② サイト作成画面が開き、サイト名:レッスン3(テキストエリアの入力)、サイトID:lesson3 を入力し、作成をクリック。



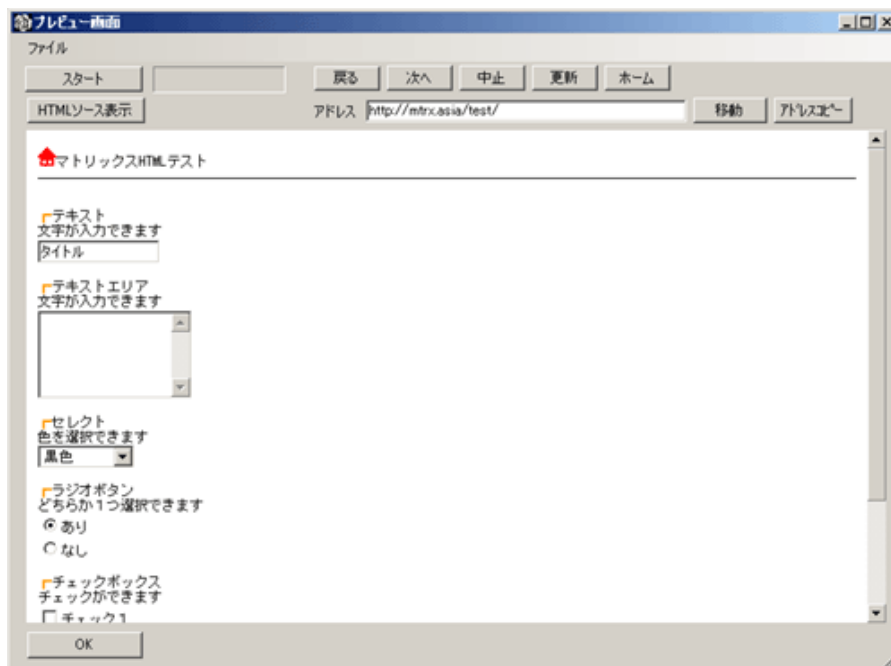
- ③ サイト一覧から、レッスン3(テキストエリアの入力)を選択し、マトリックススコアをクリック。



④ 動作テストをクリック。

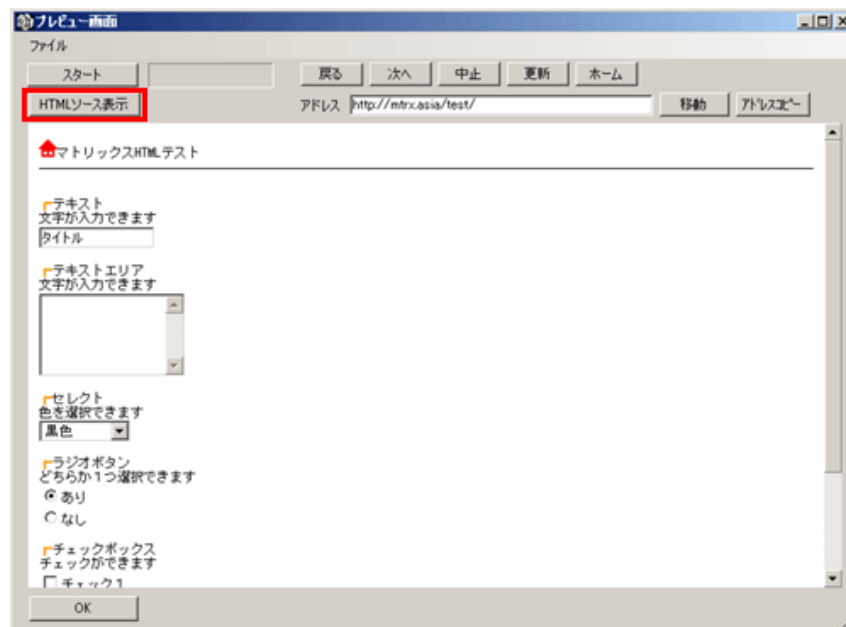


⑤ プレビュー画面が起動し、レッスン2までの動作が実行されます。

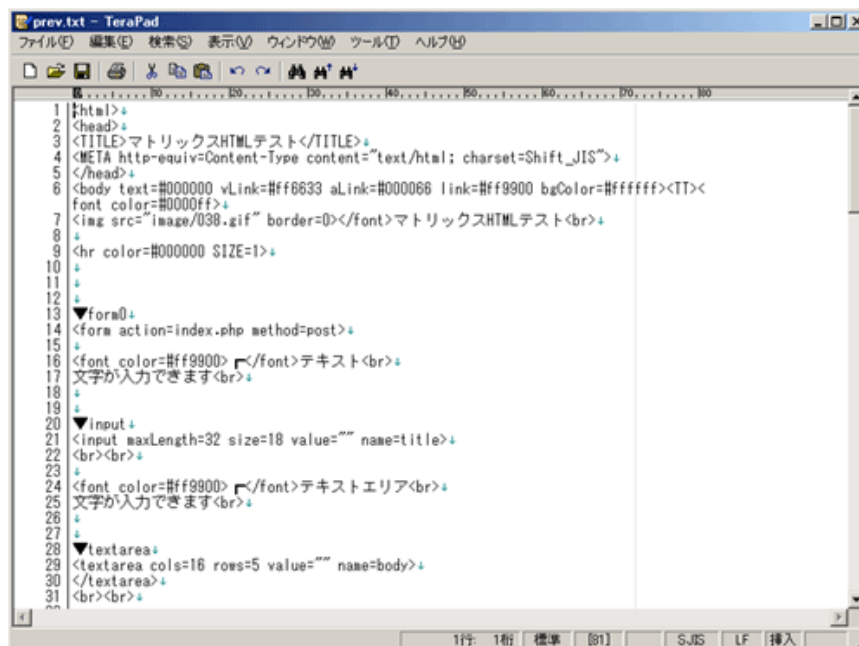




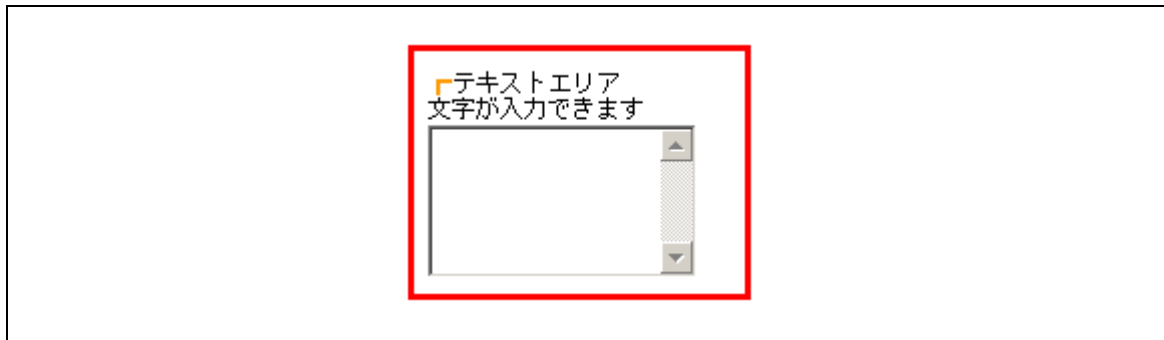
## ⑥ HTMLソース表示をクリック。



## ⑦ HTMLソースがテキストエディタで表示されます。



今回は、



の部分のテキストエリアに文字を入力するので、この部分のテキストエリアを探します。テキストエリアタグは

```
<textarea cols=XX rows=XX name=●●></textarea>
```

のように textarea となっています。

テキストエディタで「テキストエリア」などの文字で検索を行うとテキストエリアを見つけることができます。また、マトリックスプレビュー画面のHTMLソース表示では、テキストエリアに「▼textarea」の文字を付加して表示しますので、「▼textarea」の文

---

字で検索すると、検索が簡単です。

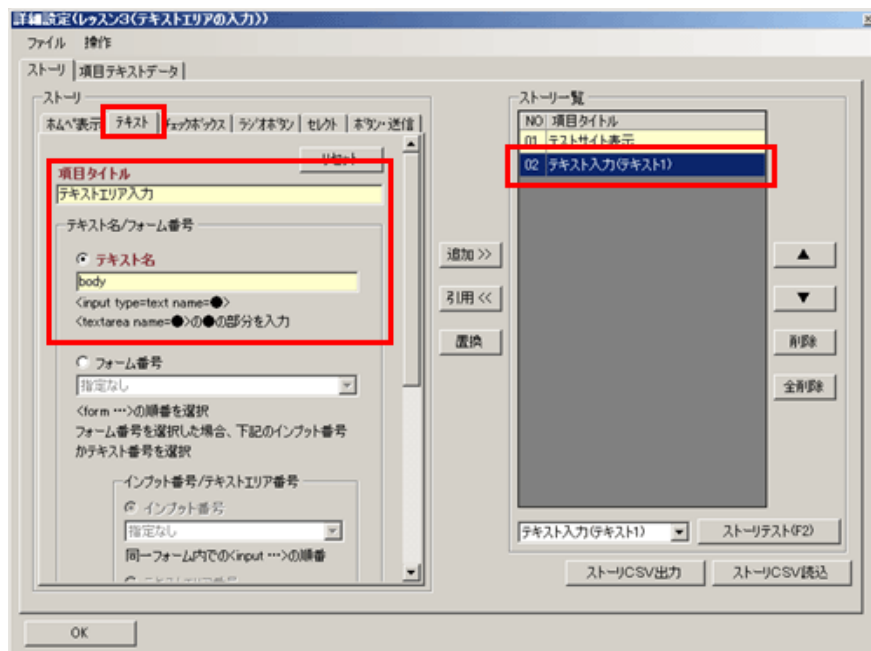
検索を行うと、以下のテキストエリアが見つかります。

```
27 |  
28 | ▼textarea↓  
29 | <textarea cols=16 rows=5 name=body>↓  
30 | </textarea>↓  
31 | <br><br>↓  
32 | ↓
```

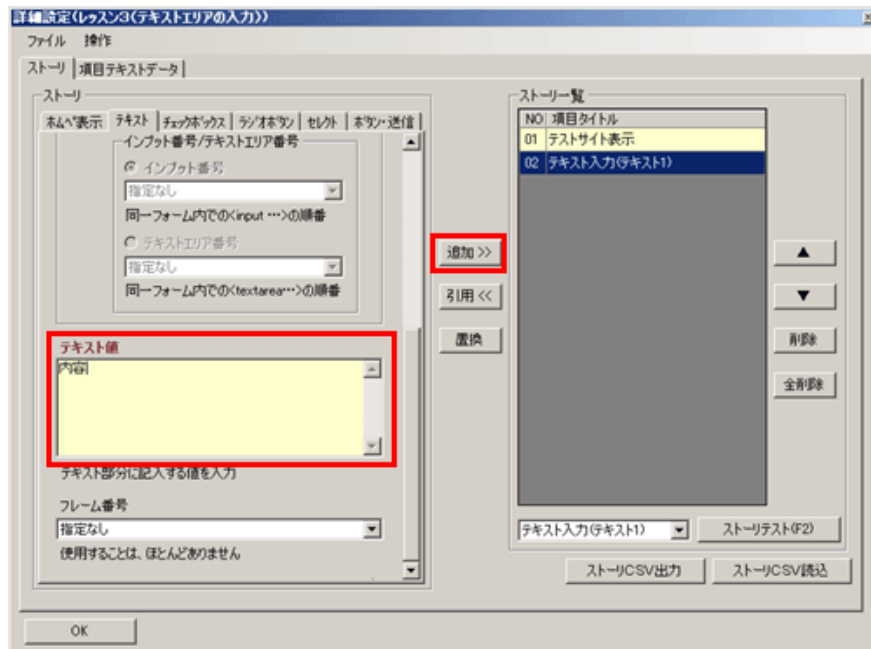
このテキストエリアタグの名前(name)をチェックし、name が body  
であることをメモします。

テキストエリアの名前をメモしたら、プレビュー画面を閉じます。

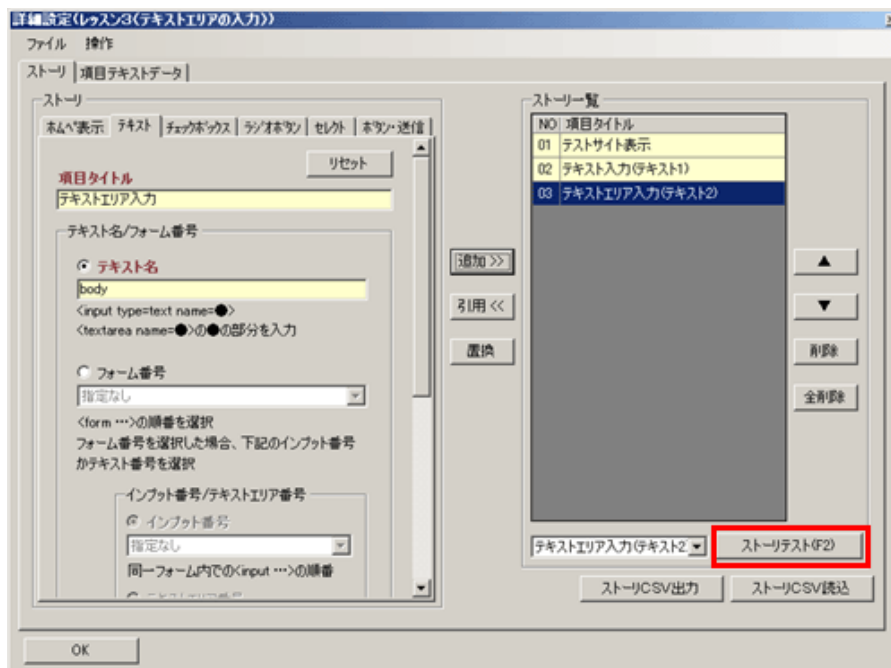
⑧ マトリックスコア画面でテキストタブを選択し、項目タイトル：テキストエリア入力、テキスト名：body を入力。テキスト名に、先ほどメモしたテキストエリアの名前を入力します。動作を最後の行に追加するため、動作一覧の最後の行を選択。



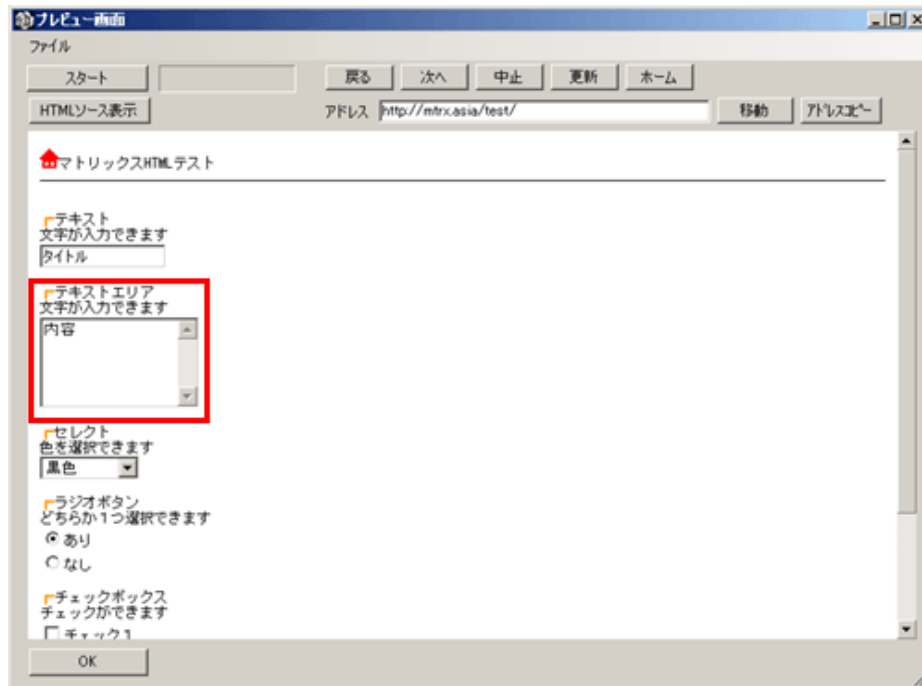
- ⑨ 画面を下にスクロールさせ、テキスト値：内容を入力し、追加をクリック。



- ⑩ 動作が追加されます。動作テストをクリック。



- ⑫ プレビュー画面が表示され、動作が実行されます。テキストフォームに「内容」と入力すればOKです。



以上で、テキストエリアの入力が完了です。

## 1 1-4 . レッスン (セレクトの選択)

このレッスンでは、セレクト(リスト)の項目を選択する方法について説明します。

下記のサイトにアクセスして下さい。

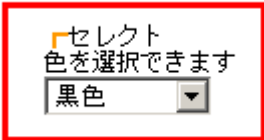
マトリックステストサイト

<http://mtrx.asia/test/>

セレクトは、サイトの下記の部分です。リストの選択ができます。

この例では、1行ですが、複数行のリストの場合もあります。

操作方法は、どちらも同じです。



セレクト  
色を選択できます  
黒色

---

HTML の文では、セレクトを

```
<select name=●●>  
<option value=■ ■>▲▲  
<option value=■ ■>▲▲  
</select>
```

のように書きます。

マトリックスを使って、セレクトを選択する場合、選択したいセレクトの名前(name)を調べます。

```
<select name=●●>
```

調べ方は、HTMLのソースを表示して、対応するセレクト部分の name を調べます。

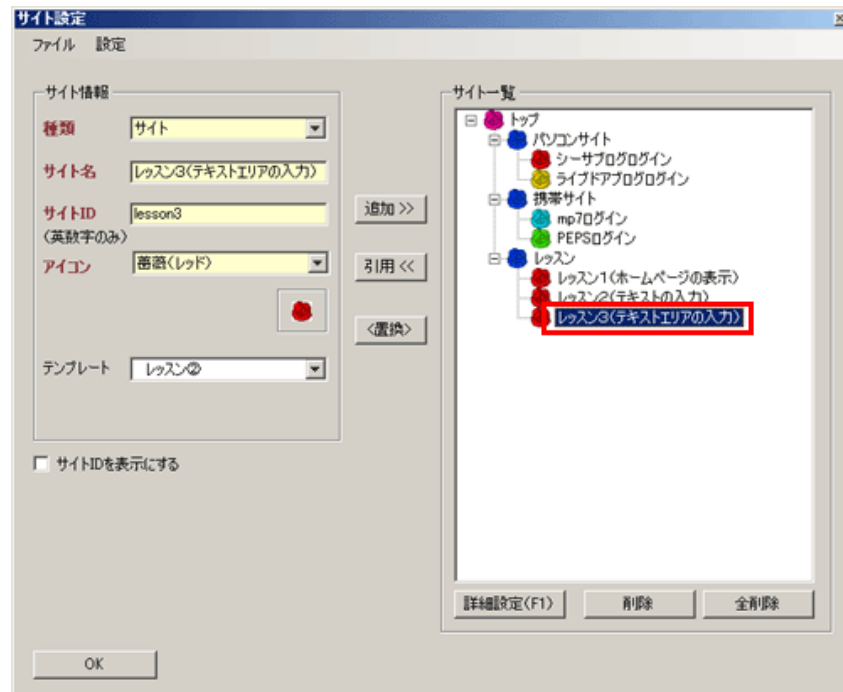


---

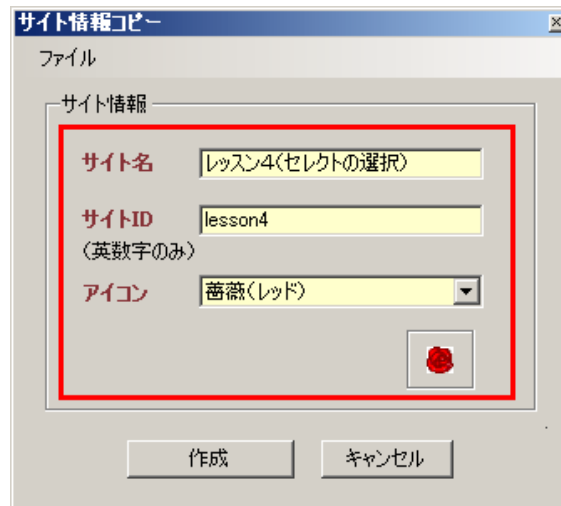
それでは、サンプルを交えて、HTMLのソースを調べて、セレクトを選択するレッスンを行っていきます。

このレッスンでは、レッスン3で行ったデータを利用しますので、レッスン3を行っていない場合は行って下さい。

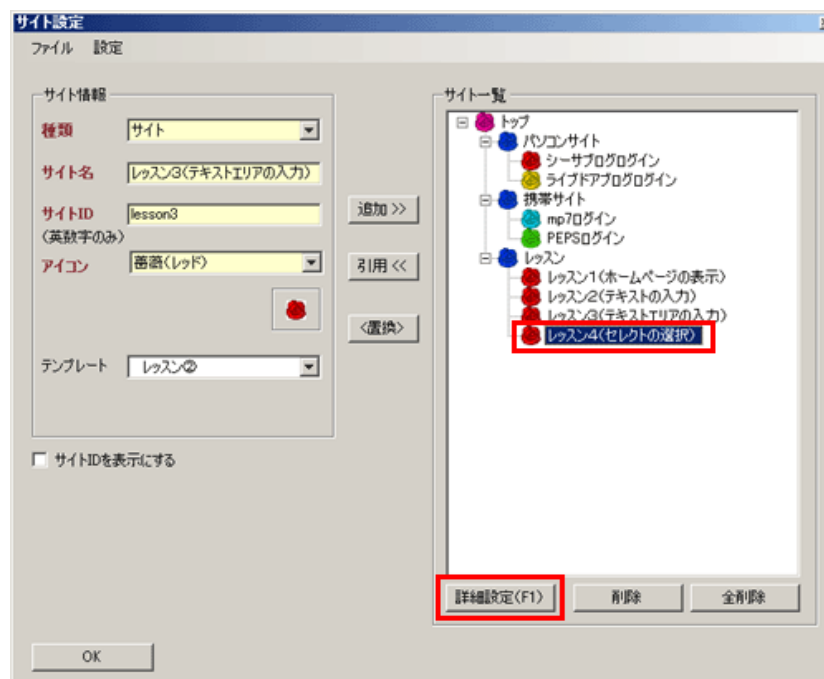
- ① サイト設定画面を開き、レッスン3で作成した「レッスン3(テキストエリアの入力)」を Ctrl キーを押しながら、レッスンフォルダにドラッグ。



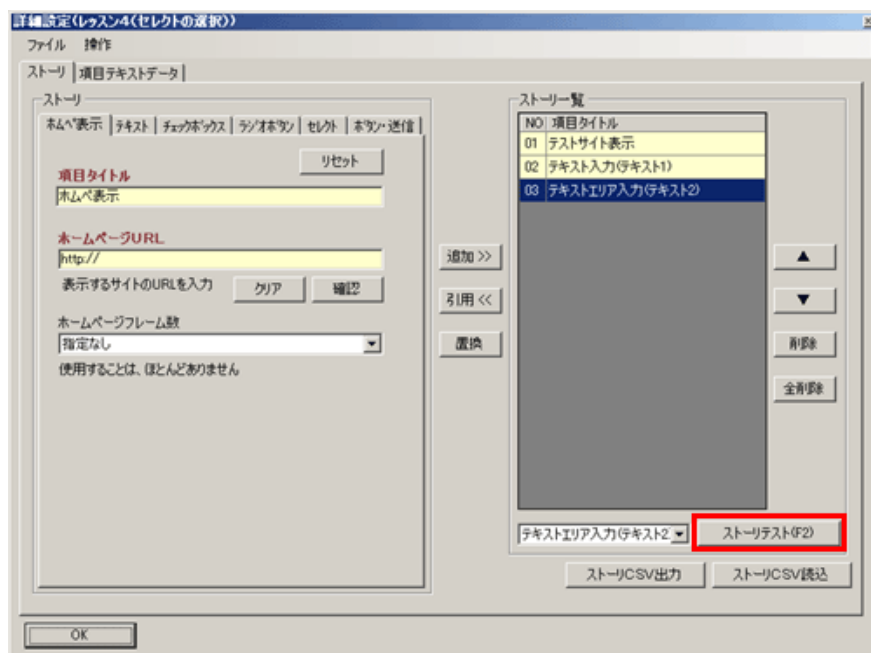
- ② サイト名:レッスン4(セレクトの選択)、サイトID:lesson4を入力し、作成をクリック。



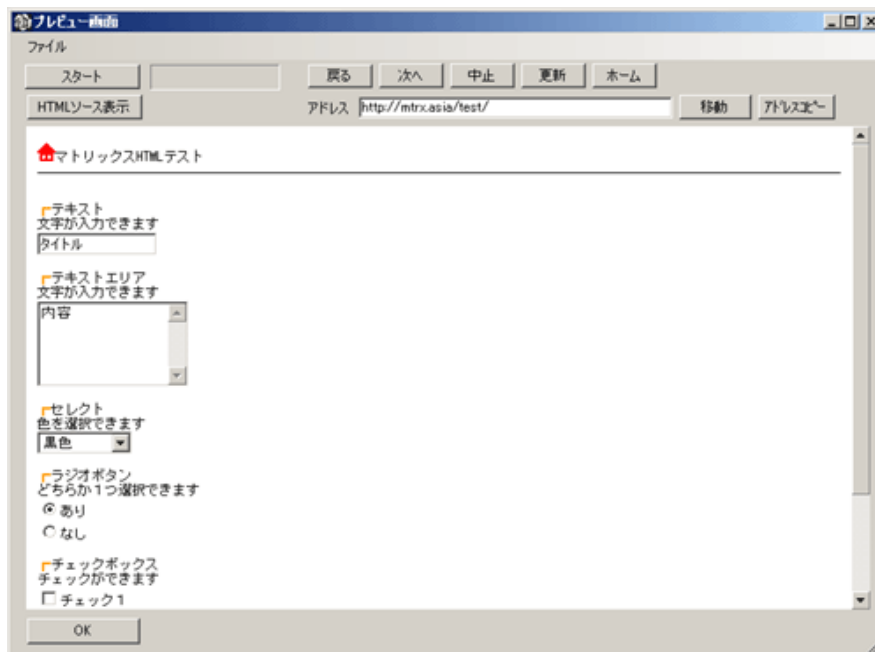
- ③ サイト一覧から、レッスン4(セレクトの選択)を選択し、マトリックスコアをクリック。



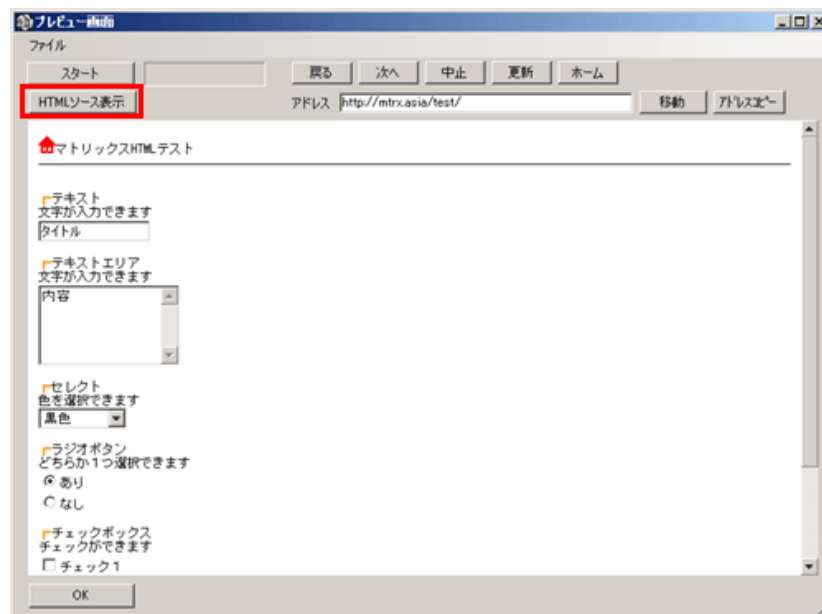
④ 動作テストをクリック。



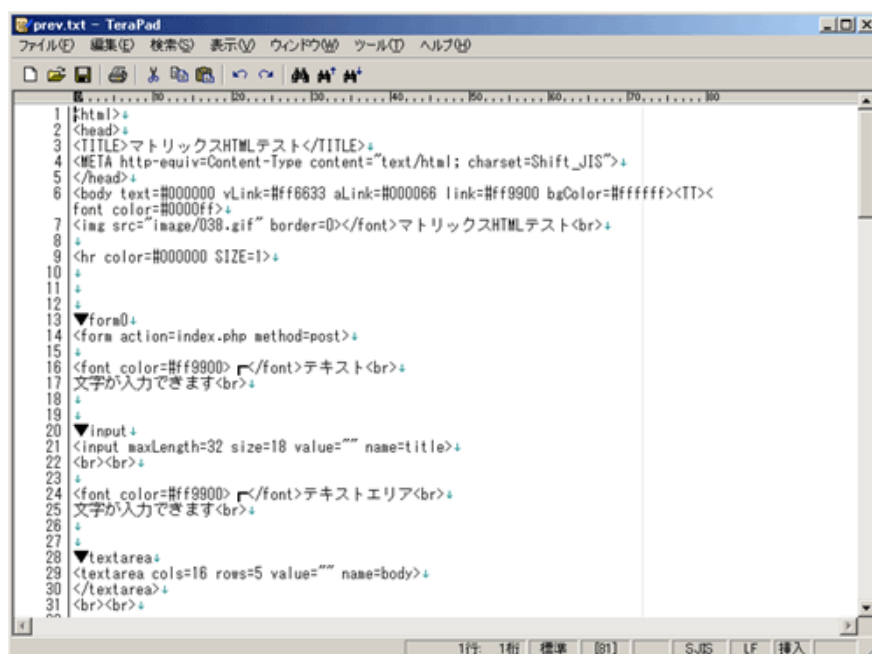
⑤ プレビュー画面が起動し、レッスン3までの動作が実行されます。



## ⑥ HTMLソース表示をクリック。

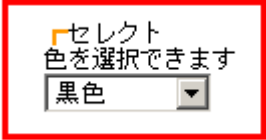


## ⑦ HTMLソースがテキストエディタで表示されます。



---

今回は、



の部分のセレクトを選択するので、この部分のセレクトを探します。セレクトは

```
<select name=●●>  
<option value=■●>▲▲  
<option value=■●>▲▲  
</select>
```

のように select となっています。

テキストエディタで「セレクト」などの文字で検索を行うとセレクトを見つけることができます。また、マトリックスプレビュー画面の

HTMLソース表示では、セレクトに「▼select」の文字を付加して表示しますので、「▼select」の文字で検索すると、検索が簡単です。

検索を行うと、以下のセレクトが見つかります。

```
36 |  
37 |▼select↓  
38 |<select name=color>↓  
39 |<option value=#000000 selected>黒色↓  
40 |<option value=#ffffff>白色↓  
41 |<option value=#ff0000>赤色↓  
42 |<option value=#0000ff>青色↓  
43 |<option value=#009933>濃い緑↓  
44 |<option value=#fef91a>黄色↓  
45 |<option value=#a52a2a>茶色↓  
46 |<option value=#800080>紫色↓  
47 |<option value=#ff6699>明るいピンク↓  
48 |<option value=#ff9933>橙色↓  
49 |<option value=#ffcc99>薄い肌色↓  
50 |<option value=#666666>灰色↓  
51 |<option value=#c0c0c0>銀色↓  
52 |<option value=#ff0066>濃いピンク↓  
53 |<option value=#dc143c>小豆色↓  
54 |<option value=#000099>紺色↓  
55 |<option value=#66ccff>水色↓  
56 |<option value=#d0e0e6>空色↓  
57 |<option value=#afeeee>薄い水色↓  
58 |<option value=#32cd32>緑色↓  
59 |<option value=#98fd98>イメルト色↓  
60 |<option value=#ffff99>薄い黄色↓  
61 |<option value=#800000>濃い茶色↓  
62 |<option value=#cc6633>薄い茶色↓  
63 |<option value=#daa520>金色↓  
64 |<option value=#eee8aa>薄い金色↓  
65 |<option value=#deb887>木目色↓  
66 |<option value=#cc00ff>赤紫↓  
67 |<option value=#d8bfd8>薄い紫↓  
68 |<option value=#ffccff>桃色↓  
69 |<option value=#ffe4e1>薄いピンク↓  
70 |<option value=#ffa07a>濃い肌色↓  
71 |</select>↓  
72 |<br>↓
```

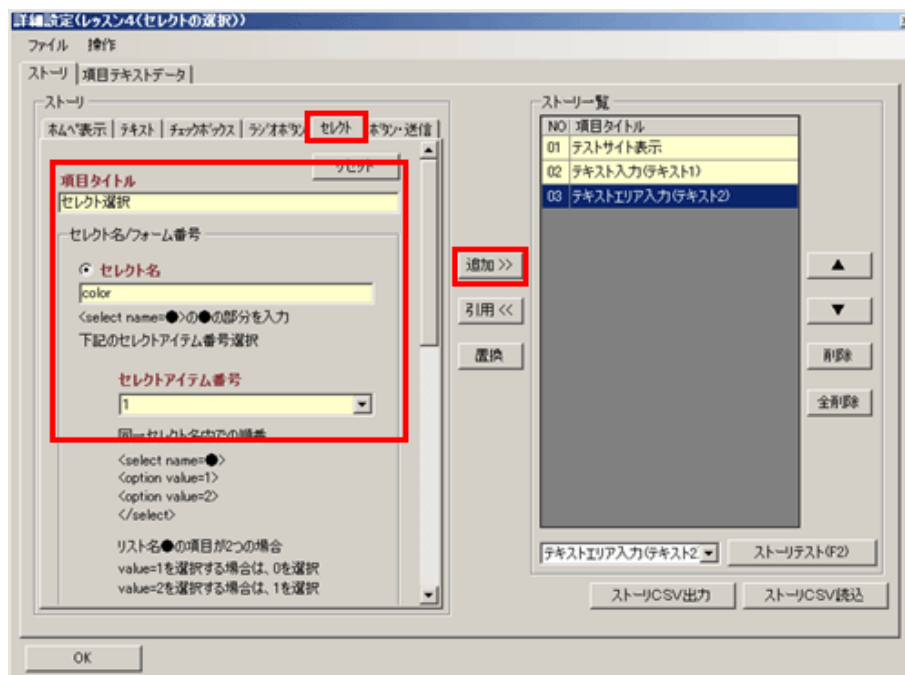
---

このセレクトの名前(name)をチェックし、name が color であることをメモします。

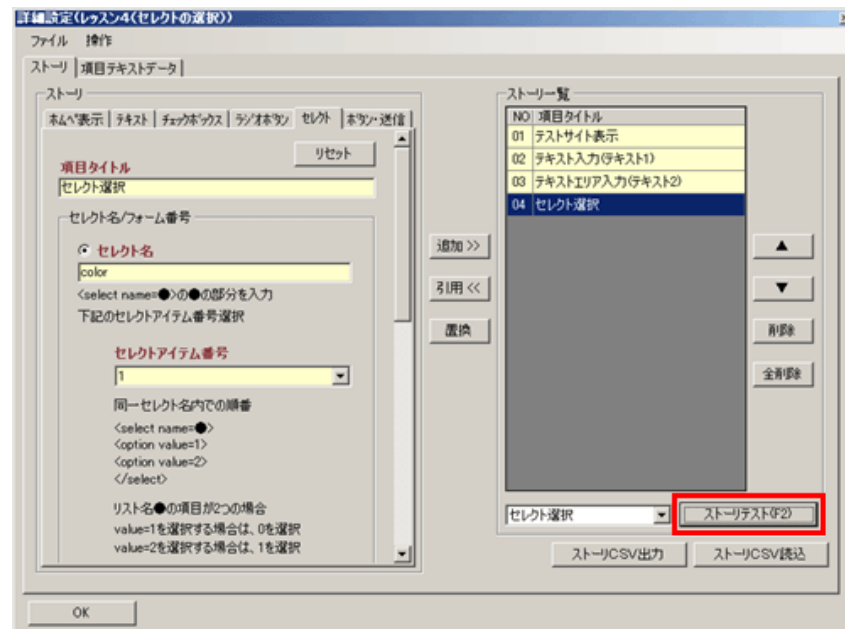
セレクトの名前をメモしたら、プレビュー画面を閉じます。



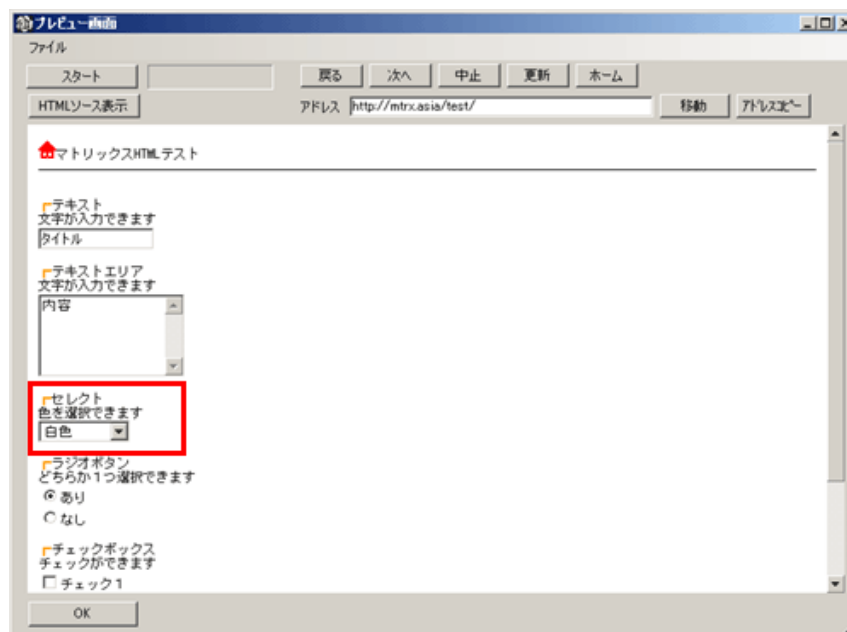
⑧ マトリックスコア画面でセレクトタブを選択し、項目タイトル：セレクト選択、セレクト名：color、セレクトアイテム番号(値)：1 を入力。セレクト名に、先ほどメモしたセレクトタグの名前を入力します。セレクトアイテム番号(値)は、セレクトのリストの選択する項目の順番、または値になります。項目の順番は、0 から数えます。今回の例では、0 が黒色、1 が白色、2 が赤色になります。値の場合は、value の値を書きます。黒色の場合は、#000000、白色の場合は、#ffffff、赤色の場合は、#ff0000 を書きます。動作を最後の行に追加するため、動作一覧の最後の行を選択し、追加をクリック。



⑨ 動作が追加されます。動作テストをクリック。



⑩ プレビュー画面が表示され、動作が実行されます。セレクトフォームが「白色」と選択されればOKです。



---

以上で、セレクトの選択が完了です。

## 1 1-5 . レッスン (ラジオボタンの選択)

このレッスンでは、ラジオボタンを選択する方法について説明します。

下記のサイトにアクセスして下さい。

マトリックステストサイト

<http://mtrx.asia/test/>

ラジオボタンは、サイトの下記の部分です。どれらか1つの項目の選択ができます。

ラジオボタン  
どちらか1つ選択できます  
☒ あり  
☐ なし

---

HTML の文では、ラジオボタンを

```
<input type=radio value="あり" checked name=radio_flag>あり  
<input type=radio value="なし" name=radio_flag>なし
```

のように書きます。

マトリックスを使って、ラジオボタンを選択する場合、選択したいラジオボタンの名前(name)を調べます。

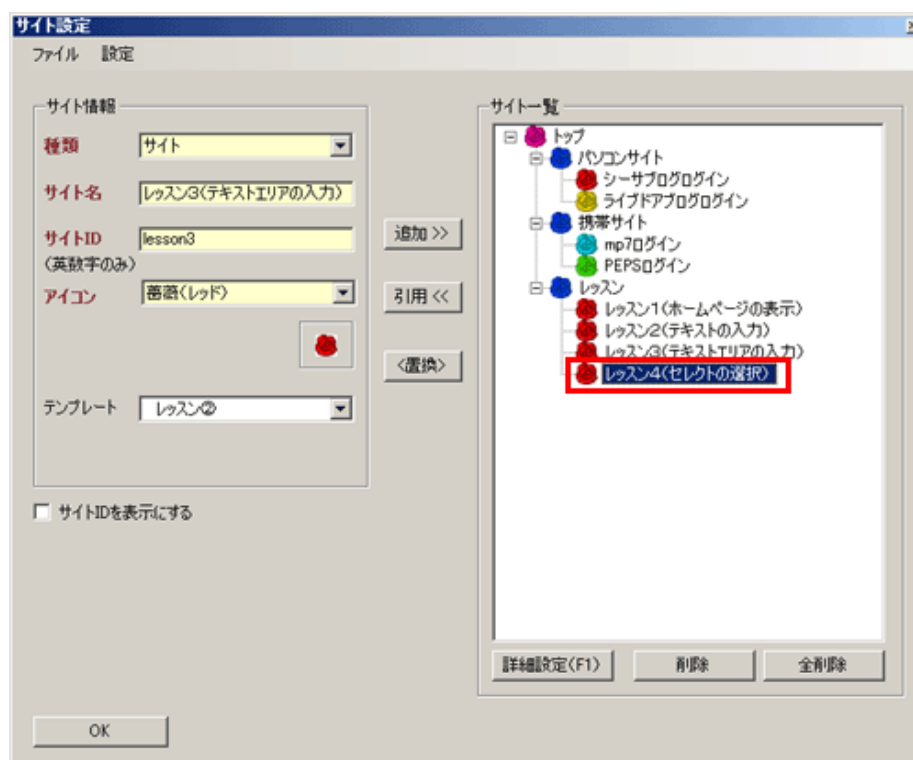
```
<input type=radio ... name=●●>
```

調べ方は、HTMLのソースを表示して、対応するラジオボタンの name を調べます。

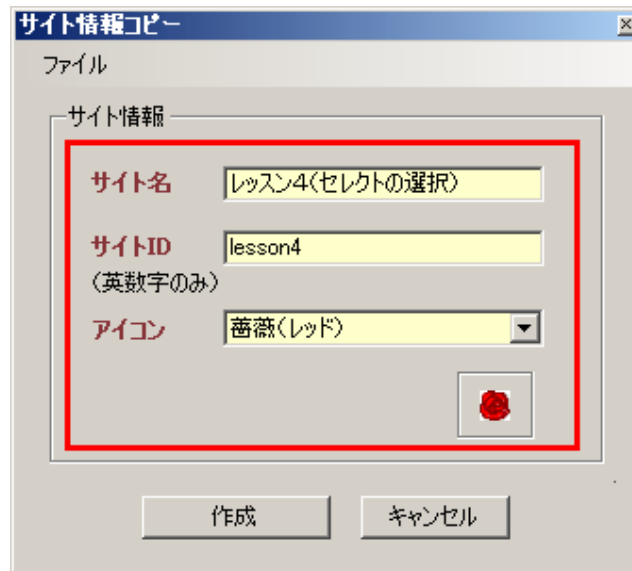
それでは、サンプルを交えて、HTMLのソースを調べて、ラジオボタンを選択するレッスンを行っていきます。

このレッスンでは、レッスン4で行ったデータを利用しますので、  
レッスン4を行っていない場合は行って下さい。

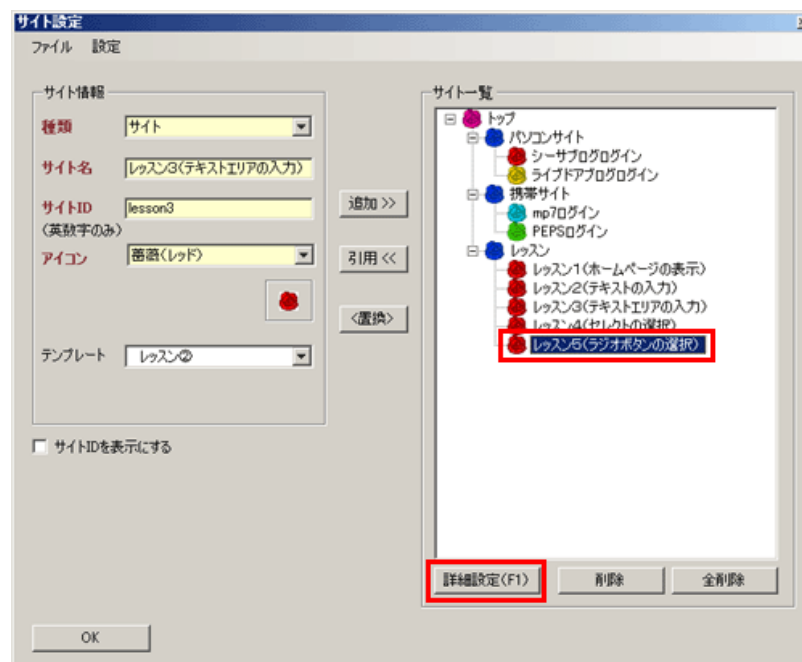
① サイト設定画面を開き、レッスン4で作成した「レッスン4(セレクトの選択)」を Ctrl キーを押しながら、レッスンフォルダにドラッグ。



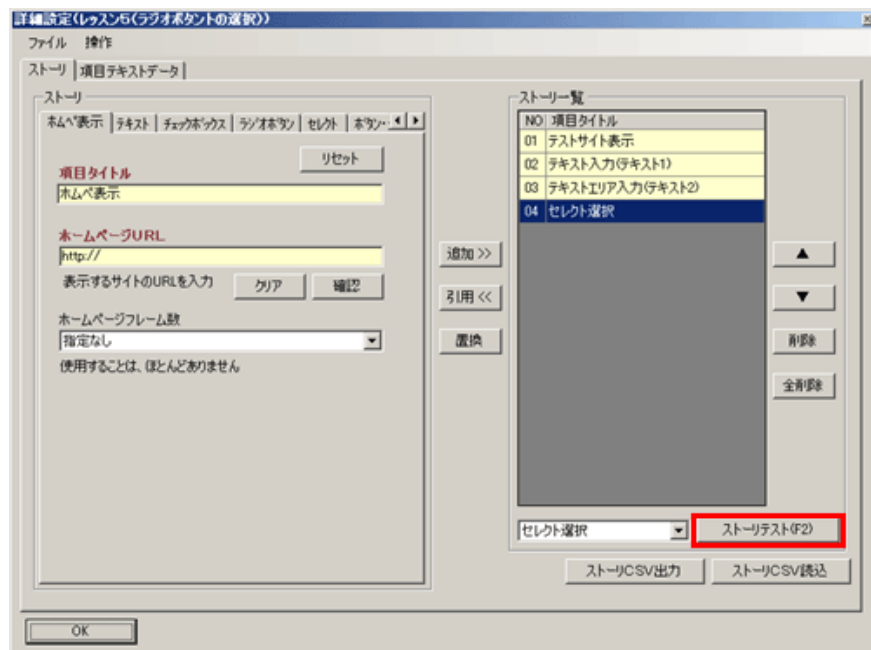
- ② サイト作成画面が開き、サイト名:レッスン5(ラジオボタンの選択)、サイトID:lesson5 を入力し、作成をクリック。



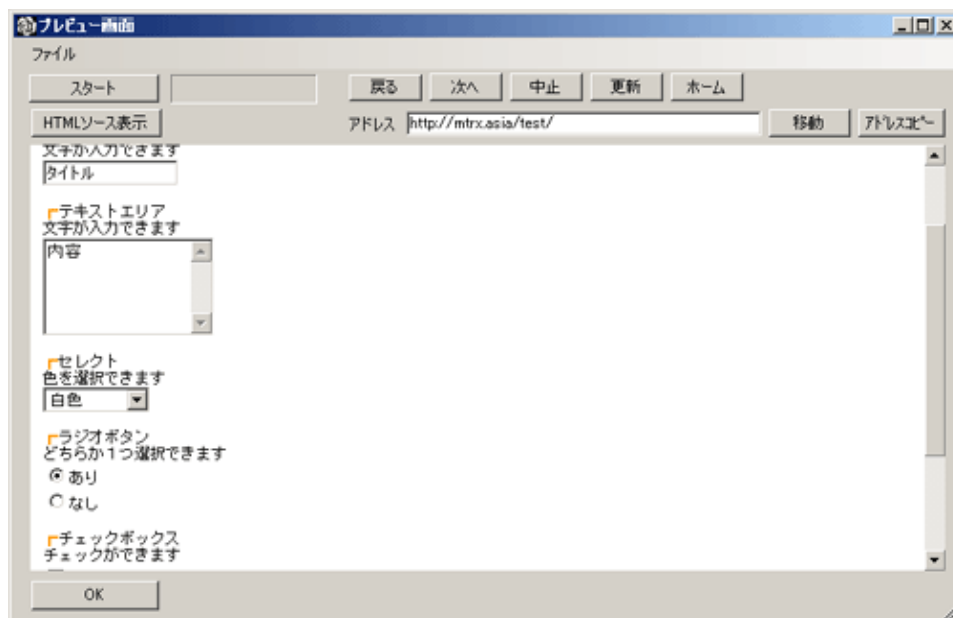
- ③ サイト一覧から、レッスン5(ラジオボタンの選択)を選択し、マトリックススコアをクリック。



④ 動作テストをクリック。

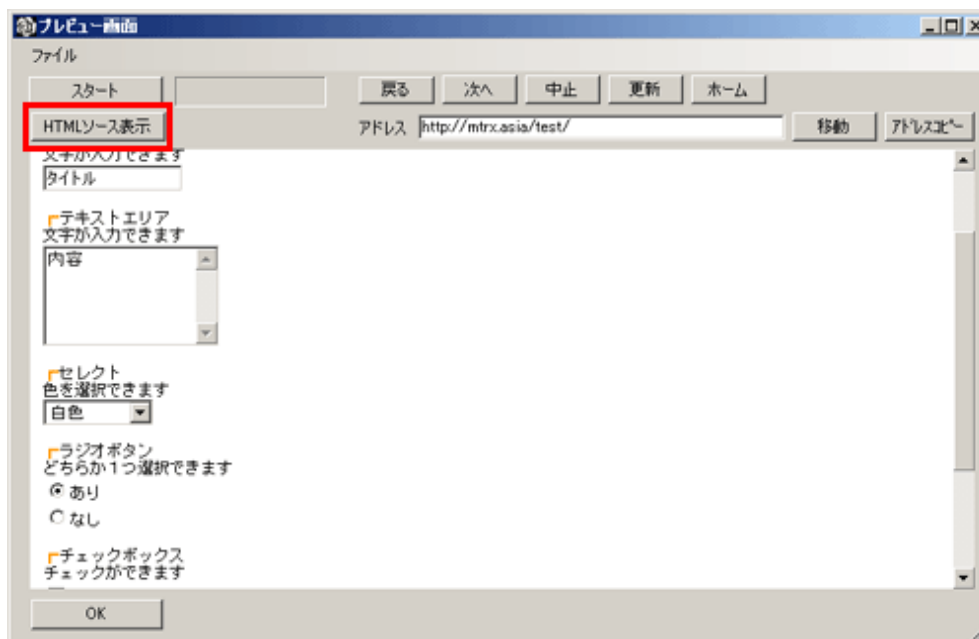


⑤ プレビュー画面が起動し、レッスン4までの動作が実行されます。

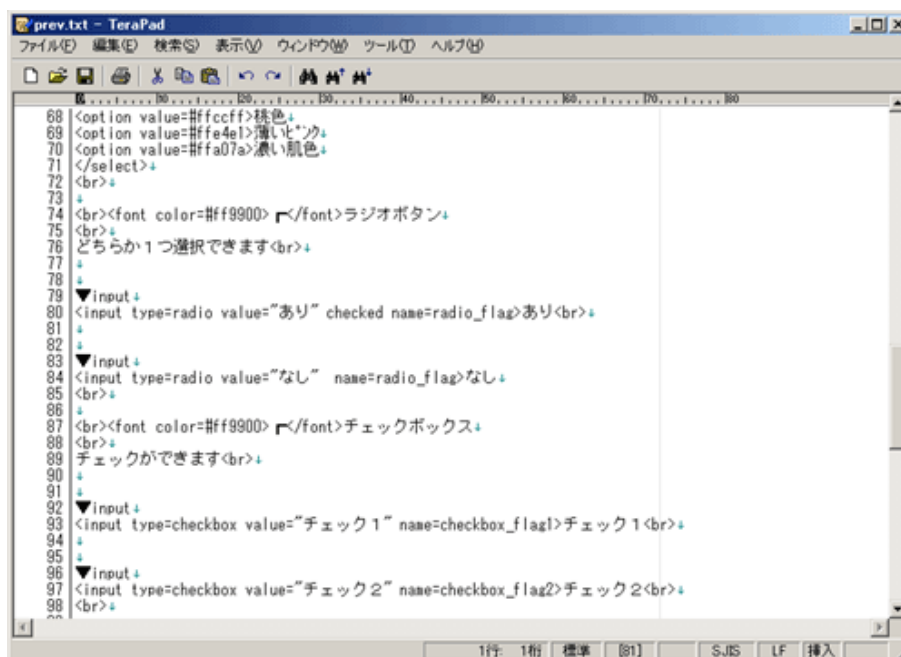




⑥ HTMLソース表示をクリック。



⑦ HTMLソースがテキストエディタで表示されます。



今回は、

ラジオボタン  
どちらか1つ選択できます  
☒ あり  
☐ なし

の部分のラジオボタンを選択するので、この部分のラジオボタンを探します。ラジオボタンは

```
<input type=radio value="あり" checked name=radio_flag>あり  
<input type=radio value="なし" name=radio_flag>なし
```

のように<input type=radio…>となっています。

テキストエディタで「ラジオボタン」などの文字で検索を行うとラジオボタntagを見つけることができます。また、マトリックスプレビュー画面のHTMLソース表示では、ラジオボタンに「▼input」の文字を付加して表示しますので、「▼input」の文字で検

---

索すると、検索が簡単です。

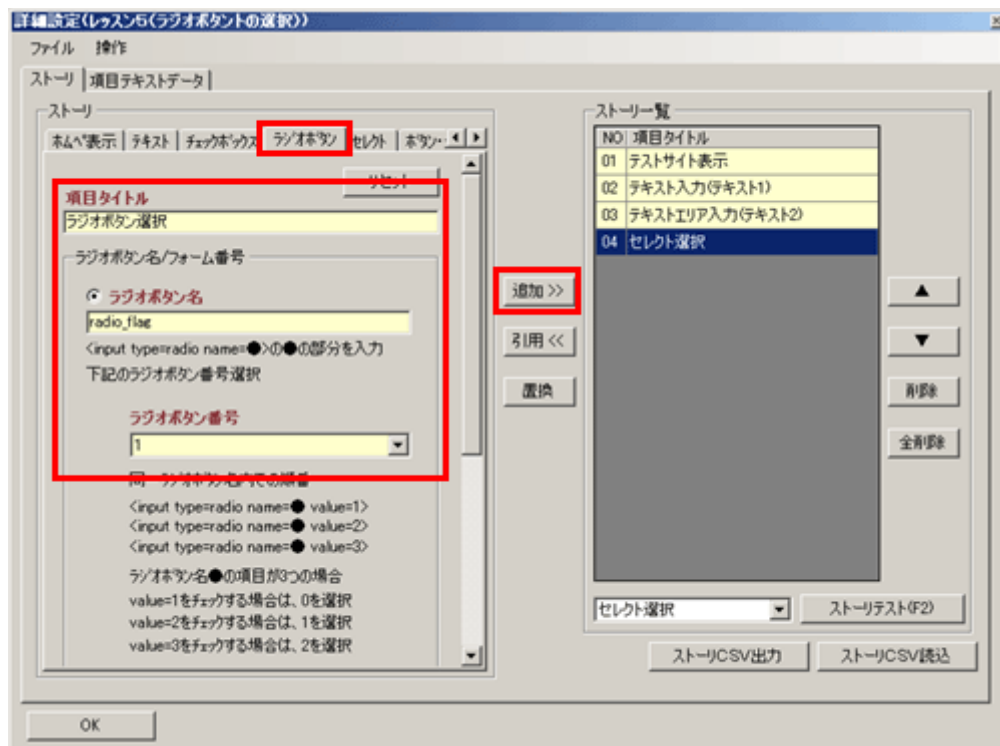
検索を行うと、以下のラジオボタンが見つかります。

```
78 |  
79 | ▼input ↓  
80 | <input type=radio value="あり" checked name=radio_flag>あり<br> ↓  
81 | ↓  
82 | ↓  
83 | ▼input ↓  
84 | <input type=radio value="なし" name=radio_flag>なし ↓  
85 | <br> ↓  
86 |
```

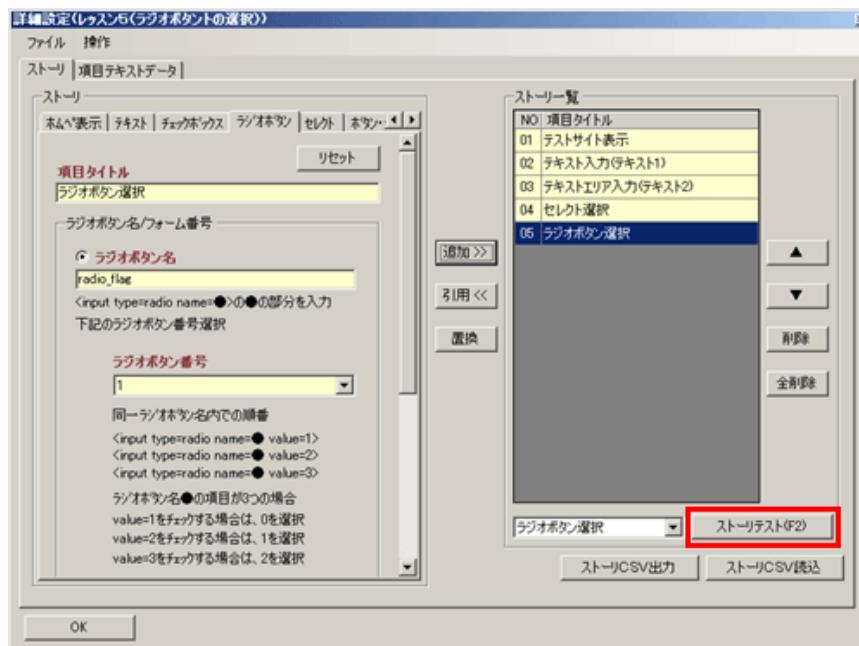
このラジオボタンの名前(name)をチェックし、name が radio\_flag  
であることをメモします。

ラジオボタンの名前をメモしたら、プレビュー画面を閉じます。

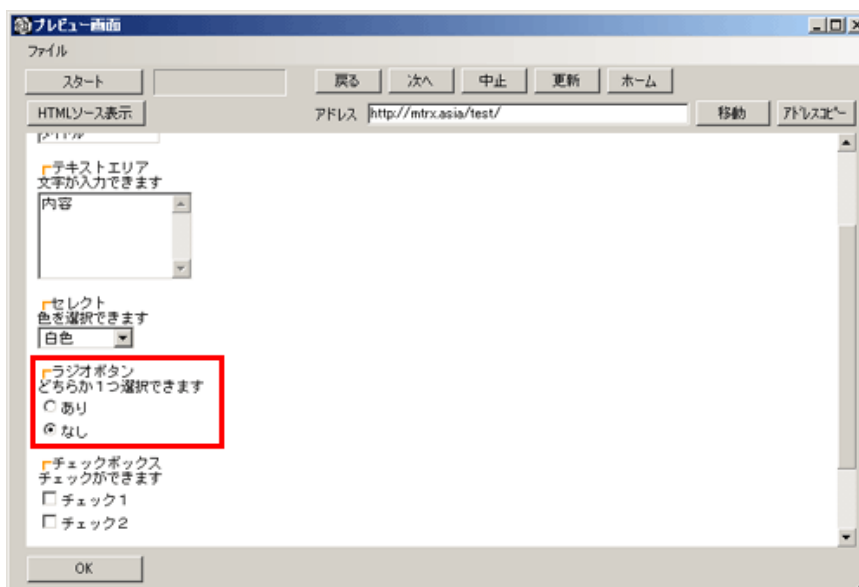
⑧ マトリックスコア画面でラジオボタンタブを選択し、項目タイトル:ラジオボタン選択、ラジオボタン名:radio\_flag、ラジオボタン番号:1 を入力。**ラジオボタン番号は、ラジオボタンの選択する項目の順番になります。今回の例では、0 があり、1 がなし、になります。動作を最後の行に追加するため、動作一覧の最後の行を選択し、追加をクリック。**



⑨ 動作が追加されます。動作テストをクリック。



⑩ プレビュー画面が表示され、動作が実行されます。ラジオボタンの「なし」が選択されればOKです。



---

以上で、ラジオボタンの選択が完了です。

## 1 1-6 . レッスン (チェックボックスの選択)

このレッスンでは、チェックボックスを選択する方法について説明します。

下記のサイトにアクセスして下さい。

マトリックステストサイト

<http://mtrx.asia/test/>

チェックボックスは、サイトの下記の部分です。チェックのオン・オフができます。

☐ チェックボックス  
チェックができます  
☐ チェック1  
☐ チェック2

---

HTML の文では、チェックボックスを

```
<input type=checkbox value="チェック1" name=checkbox_flag1>チェック1
```

のように書きます。

マトリックスを使って、チェックボックスを選択する場合、選択したいチェックボックスの名前(name)を調べます。

```
<input type=checkbox ... name=●●>
```

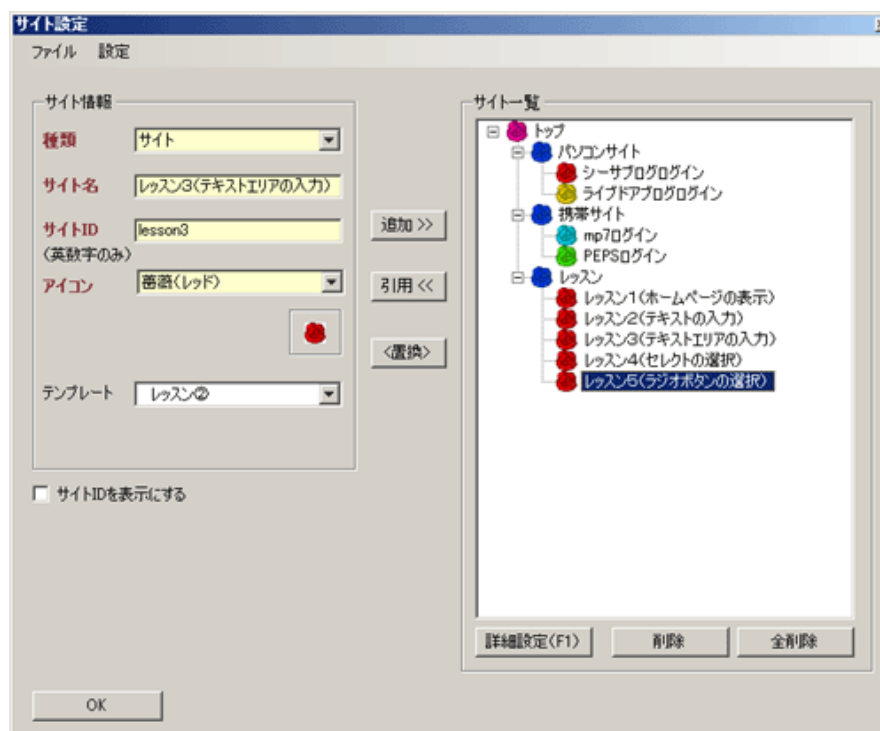
調べ方は、HTMLのソースを表示して、対応するチェックボックスの name を調べます。

それでは、サンプルを交えて、HTMLのソースを調べて、チェックボックスを選択するレッスンを行っていきます。

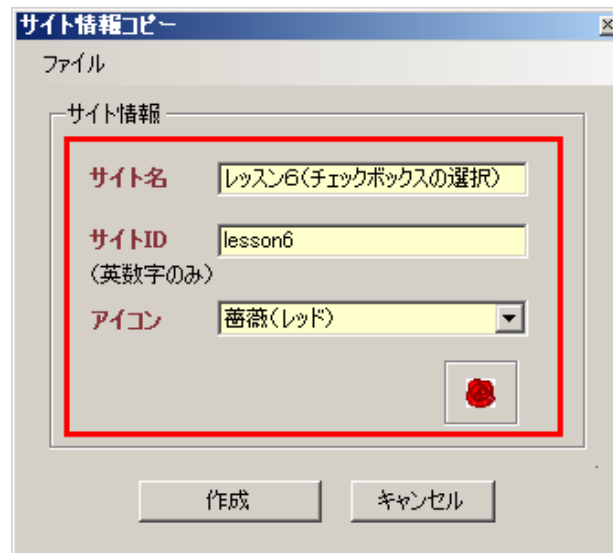


このレッスンでは、レッスン5で行ったデータを利用しますので、  
レッスン5を行っていない場合は行って下さい。

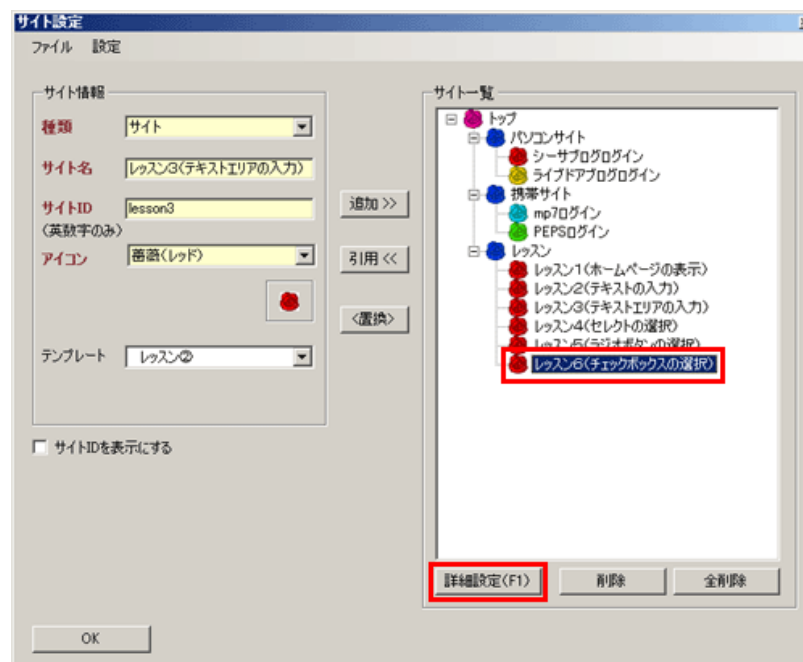
① サイト設定画面を開き、レッスン5で作成した「レッスン5(ラジオボタンの選択)」を Ctrl キーを押しながら、レッスンフォルダにドラッグ。



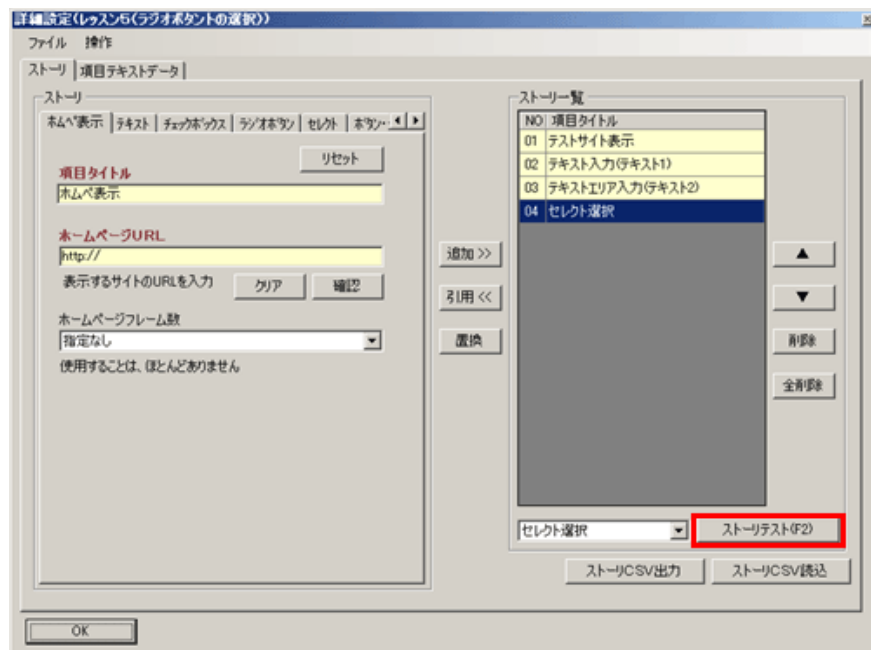
- ② サイト作成画面が開き、サイト名:レッスン6(チェックボックスの選択)、サイトID:lesson6 を入力し、作成をクリック。



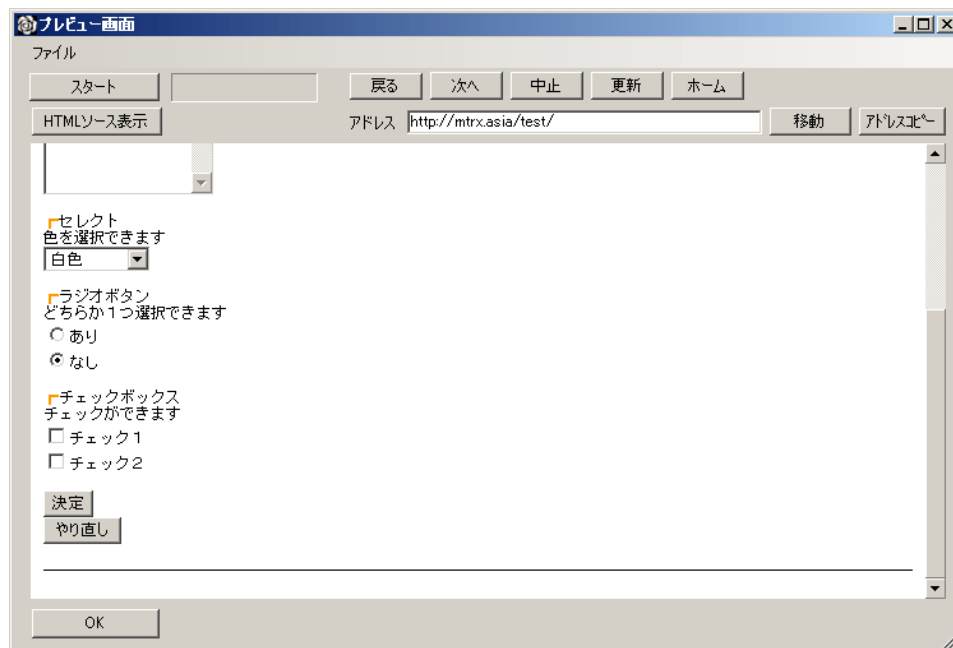
- ③ サイト一覧から、レッスン6(チェックボックスの選択)を選択し、マトリックスコアをクリック。



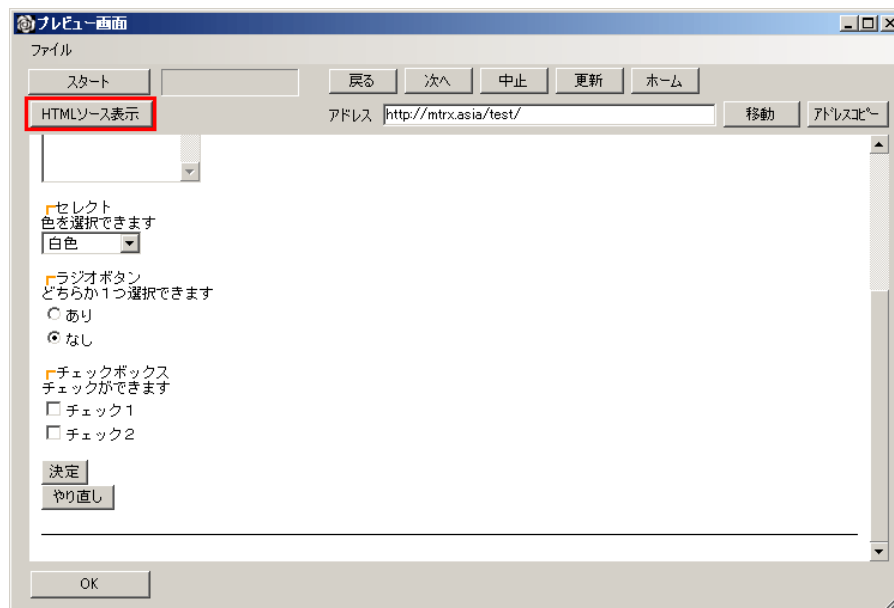
④ 動作テストをクリック。



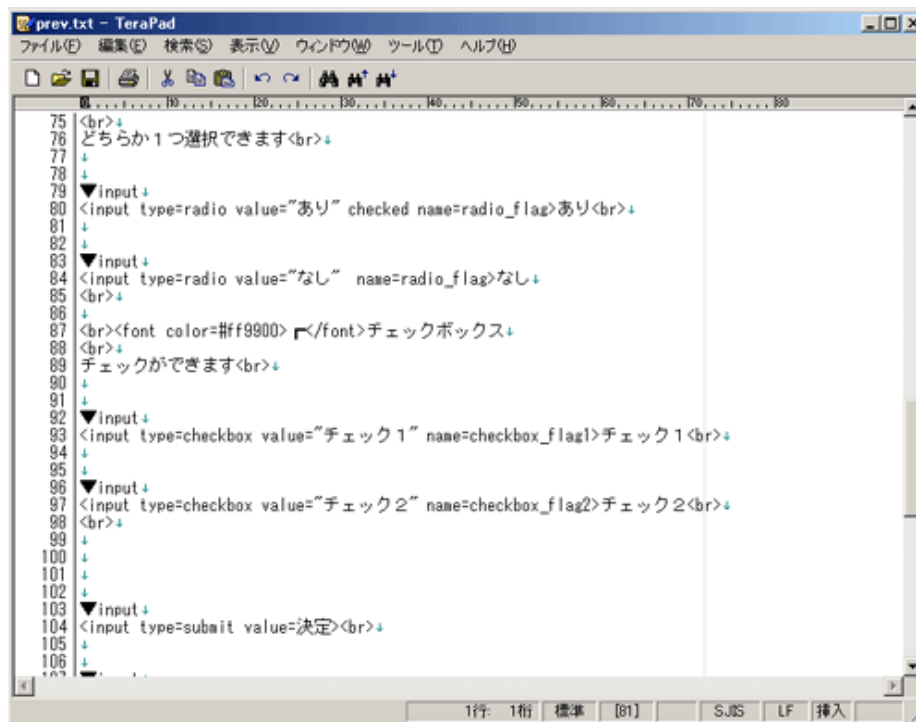
⑤ プレビュー画面が起動し、レッスン5までの動作が実行されます。



## ⑥ HTMLソース表示をクリック。



## ⑦ HTMLソースがテキストエディタで表示されます。



今回は、

☐ チェックボックス  
チェックができます  
☐ チェック1  
☐ チェック2

の部分のチェックボックスを選択するので、この部分のチェックボックスを探します。チェックボックスは

```
<input type=checkbox value="チェック1" name=checkbox_flag1>チェック1
```

のように<input type=checkbox…>となっています。

テキストエディタで「チェックボックス」などの文字で検索を行うとチェックボックスを見つけることができます。また、マトリックスプレビュー画面のHTMLソース表示では、チェックボックスに「▼input」の文字を付加して表示しますので、「▼input」の文字で検

索すると、検索が簡単です。

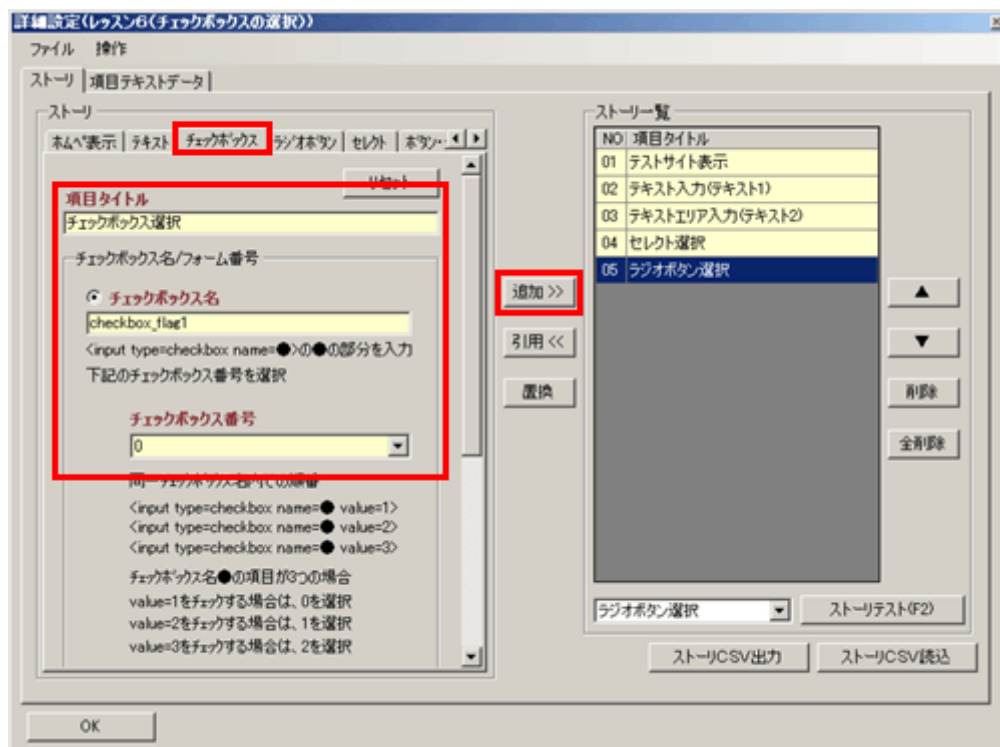
検索を行うと、以下のチェックボックスタグが見つかります。

```
91 |  
92 | ▼input ↓  
93 | <input type=checkbox value="チェック 1" name=checkbox_flag1>チェック 1<br> ↓  
94 | ↓  
95 | ↓  
96 | ▼input ↓  
97 | <input type=checkbox value="チェック 2" name=checkbox_flag2>チェック 2<br> ↓  
98 | <br> ↓  
99 | ↓
```

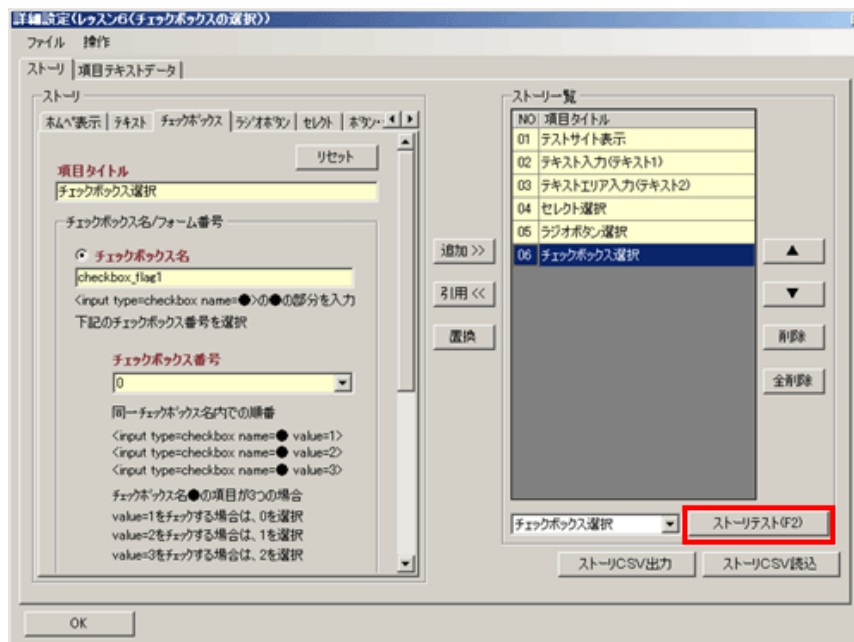
このチェックボックスの名前(name)をチェックし、name が checkbox\_flag1 であることをメモします。

チェックボックスの名前をメモしたら、プレビュー画面を閉じます。

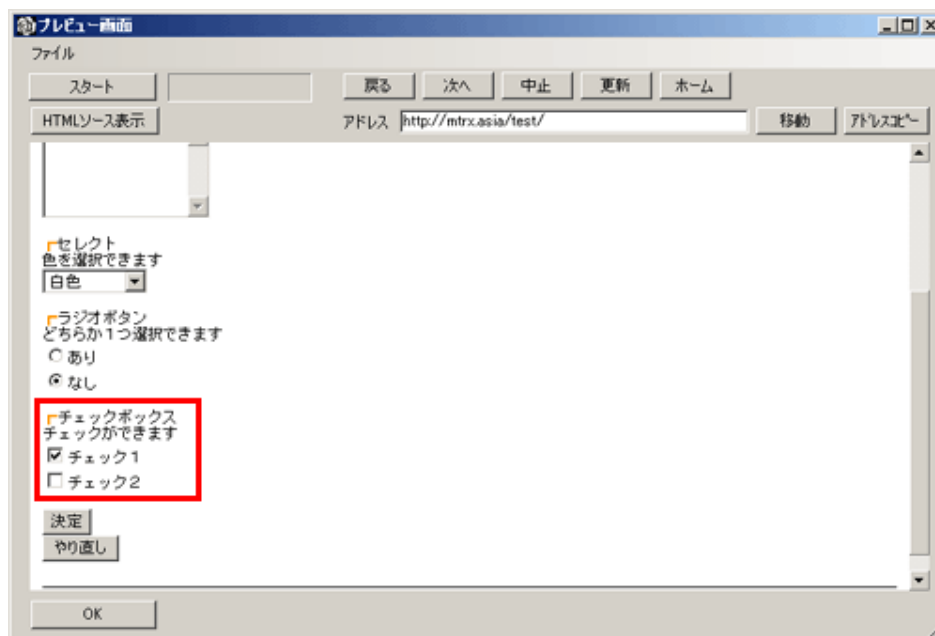
⑧ マトリックスコア画面でチェックボックスタブを選択し、項目タイトル：チェックボックス 選択、チェックボックス名：checkbox\_flag1、チェックボックス番号：を入力。チェックボックス番号は、同じチェックボックス名のチェックボックス内で、選択する項目の順番になります。今回は、checkbox\_flag1 のチェックボックスの項目は1つだけなので、0 になります。動作を最後の行に追加するため、動作一覧の最後の行を選択し追加をクリック。



⑨ 動作が追加されます。動作テストをクリック。



⑩ プレビュー画面が表示され、動作が実行されます。チェック1のチェックボックスが選択されればOKです。





---

以上で、チェックボックスの選択が完了です。

## 11-7. レッスン (ボタンのクリック・フォームの送信)

このレッスンでは、ボタンのクリック・フォームの送信を行う方法について説明を行います。

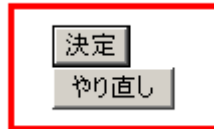
テキストなどに入力した文字を反映するには、保存や設定、決定などのボタンがあります。そのボタンを押すと、反映されますが、その処理を行うのが、ボタンのクリック、フォームの送信です。

下記のサイトにアクセスして下さい。

マトリックステストサイト

<http://mtrx.asia/test/>

ボタンは、サイトの下記の部分です。



HTML の文章では、ボタンを

```
<input type=button name=●● value=ボタン>
```

あるいは

```
<input type=submit name=●● value=ボタン>
```

のように書きます。

マトリックスを使って、ボタンをクリックする場合、クリックしたいボタntagの名前(name)を調べます。

```
<input type=button ... name=●●>
```

あるいは

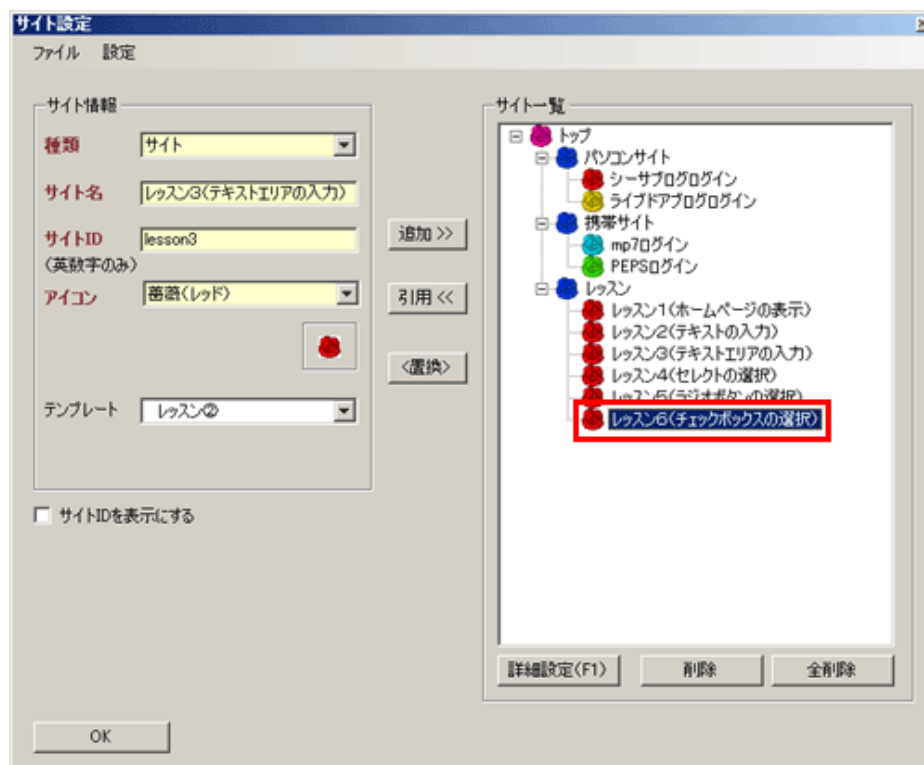
```
<input type=submit ... name=●●>
```

調べ方は、HTMLのソースを表示して、対応するボタンの name を調べます。

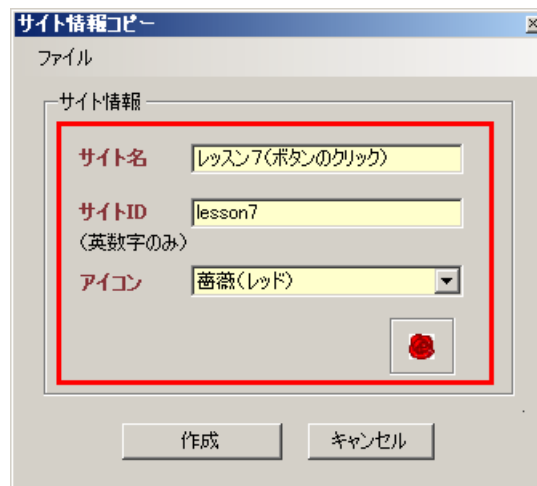
それでは、サンプルを交えて、HTMLのソースを調べて、ボタンをクリック・フォームの送信するレッスンを行っていきます。

このレッスンでは、レッスン6で行ったデータを利用しますので、レッスン6を行っていない場合は行って下さい。

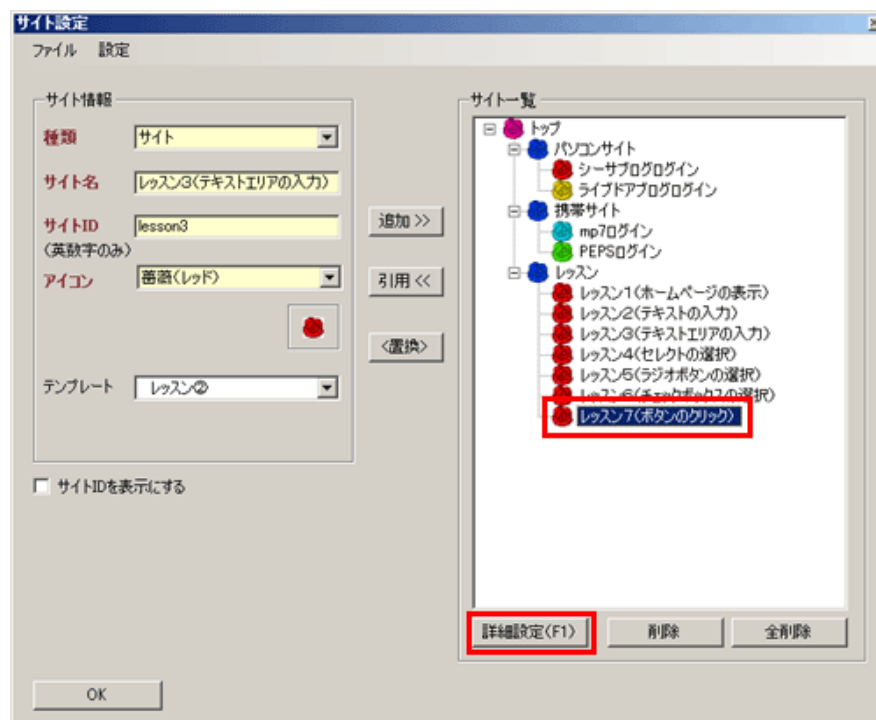
- ① サイト設定画面を開き、レッスン6で作成した「レッスン6(チェックボックスの選択)」をCtrlキーを押しながら、レッスンフォルダにドラッグ。



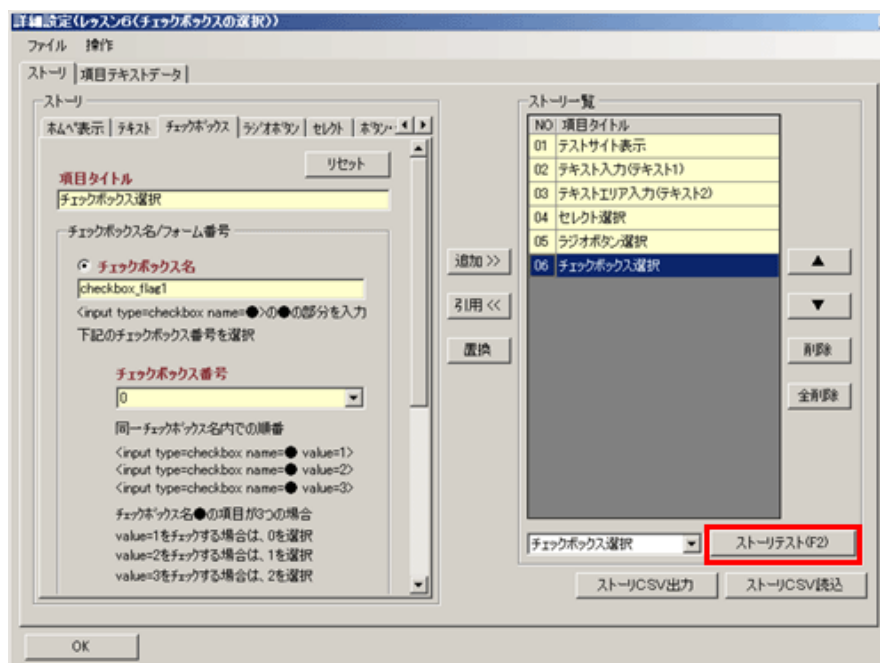
- ② サイト名:レッスン7(ボタンのクリック)、サイトID:lesson7 を入力し、作成をクリック。



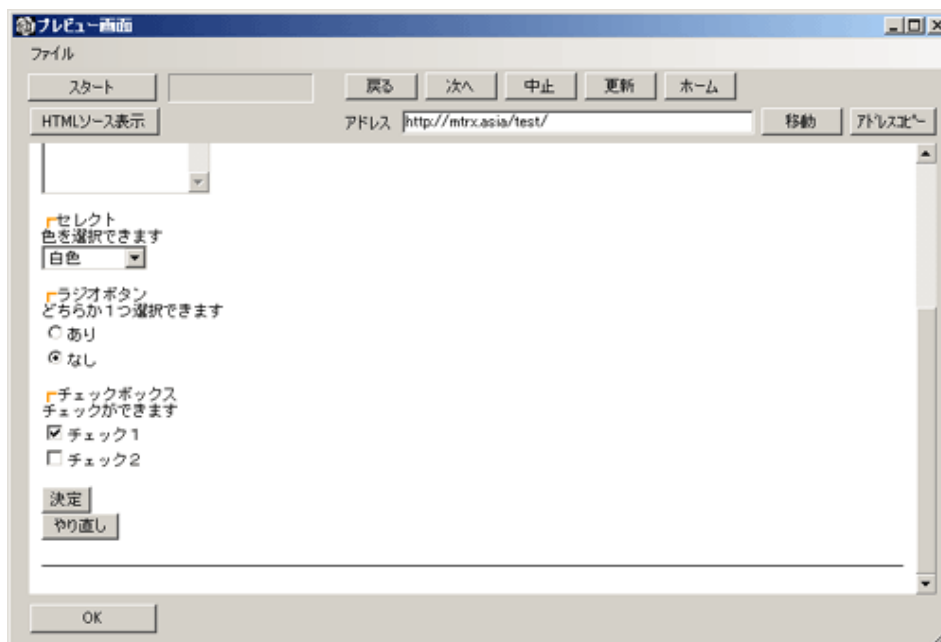
- ③ サイト一覧から、レッスン7(ボタンのクリック)を選択し、マトリックスコアをクリック。



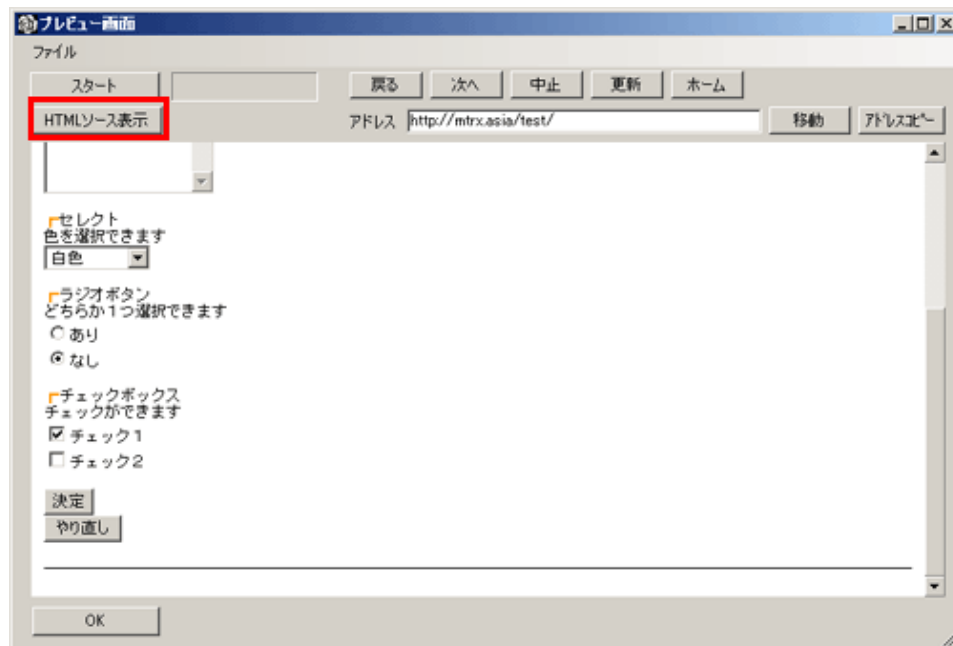
#### ④ 動作テストをクリック。



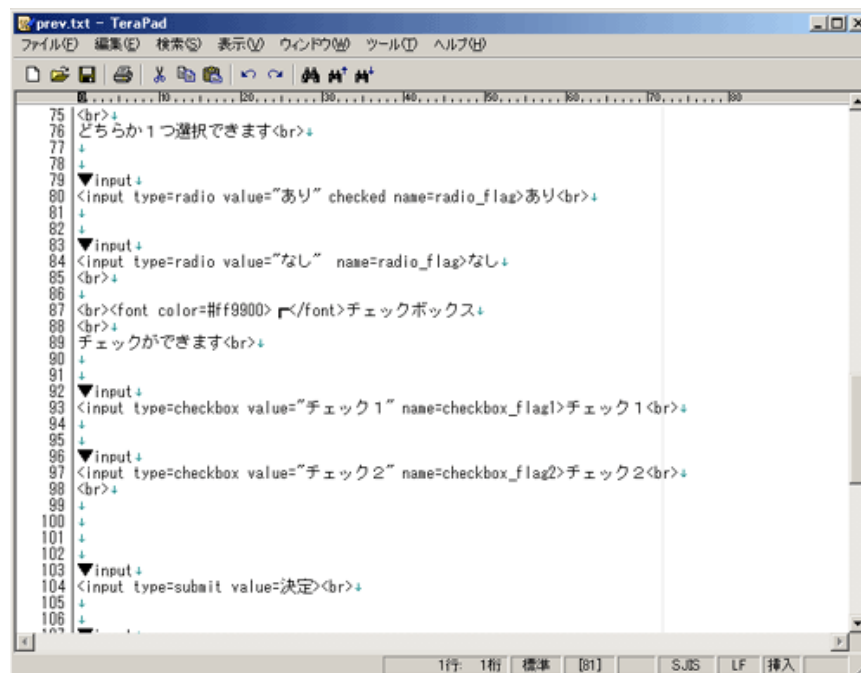
#### ⑤ プレビュー画面が起動し、レッスン6までの動作が実行されます。



## ⑥ HTMLソース表示をクリック。



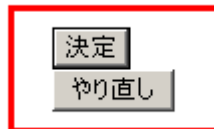
## ⑦ HTMLソースがテキストエディタで表示されます。





---

今回は、



の部分のボタンをクリックするので、この部分のボタntagを探します。ボタンは

```
<input type=button ... name=●●>
```

あるいは

```
<input type=submit ... name=●●>
```

のように<input type=button...>か<input type=submit...>となっています。

テキストエディタで「決定」などの文字で検索を行うとボタンを見つけることができます。また、マトリックスプレビュー画面のHT

MLソース表示では、ボタンに「▼input」の文字を付加して表示しますので、「▼input」の文字で検索すると、検索が簡単です。

検索を行うと、以下のボタンタグが見つかります。

```
102 | ↓  
103 | ▼input  
104 | <input type=submit name=btn value=決定><br>↓  
105 | ↓  
106 | ↓
```

このボタンタグの名前(name)をチェックし、name が btn であることをメモします。

ボタンの名前をメモしたら、プレビュー画面を閉じます。

### 重要 1 (ボタン名がない場合)

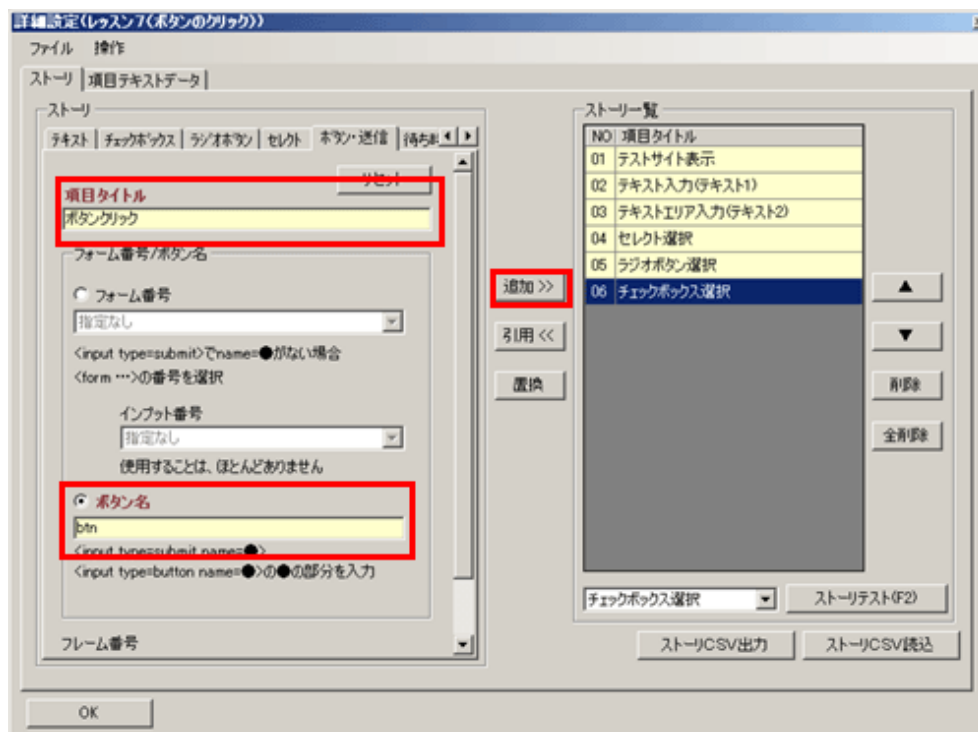
<input type=submit ... name=●●>のボタンタグで name=●●がない場合があります。name がない場合は、ボタンをボタン名でクリックすることができないため、代わりに、フォーム番号で

---

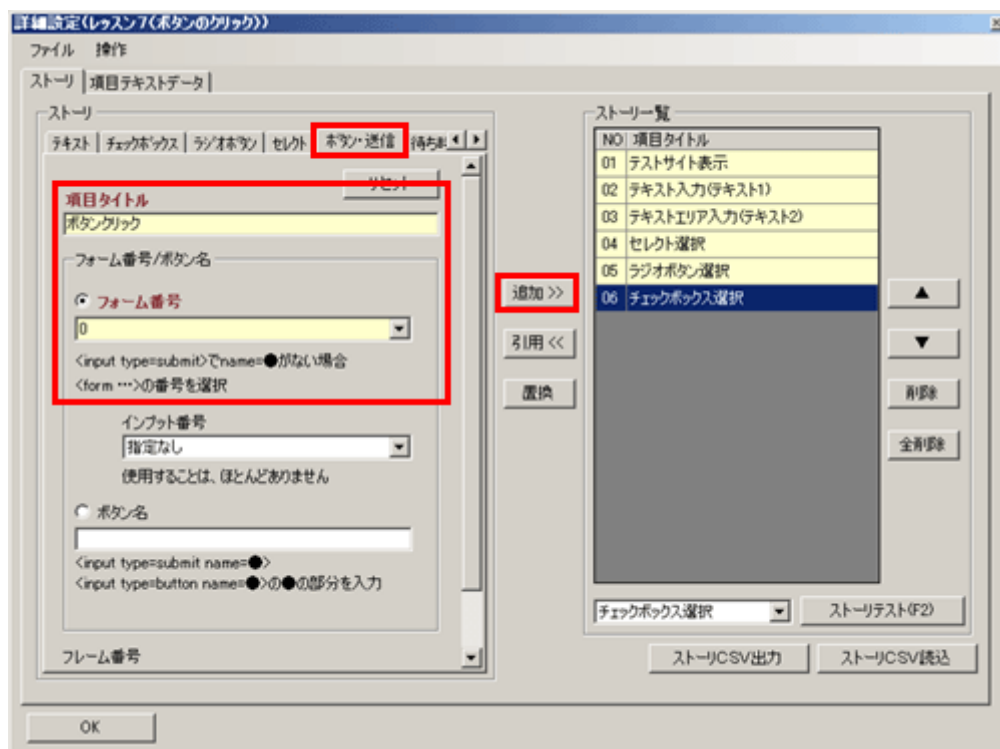
クリックすることができます。フォーム番号というのは、HTMLの文章内で、クリックしたいボタンのタグを含んでいる親の<form …>～</form>のタグがあります。この form は、HTML文書内に複数書くことができるのですが、その何番目の form タグに含まれているかがフォーム番号になります。1番最初の form に含まれる場合はフォーム番号=0、2番目の form に含まれる場合は、フォーム番号=1のようになります。

これを行うことをフォームの送信といいます。

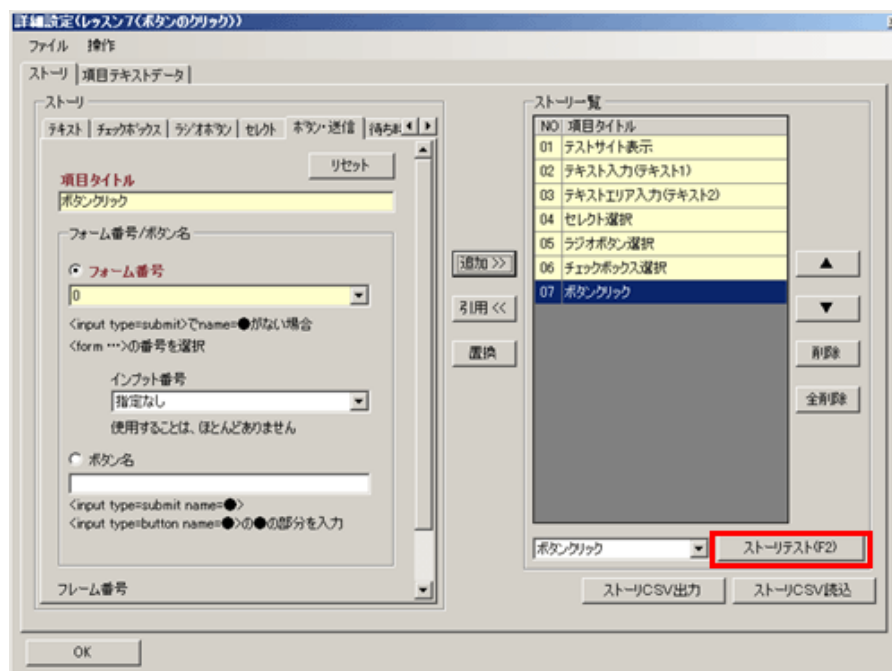
⑧ マトリックスコア画面でボタン・送信タブを選択し、項目タイトル:ボタンのクリック、ボックス名:btn を入力。動作を最後の行に追加するため、動作一覧の最後の行を選択し、追加をクリック。



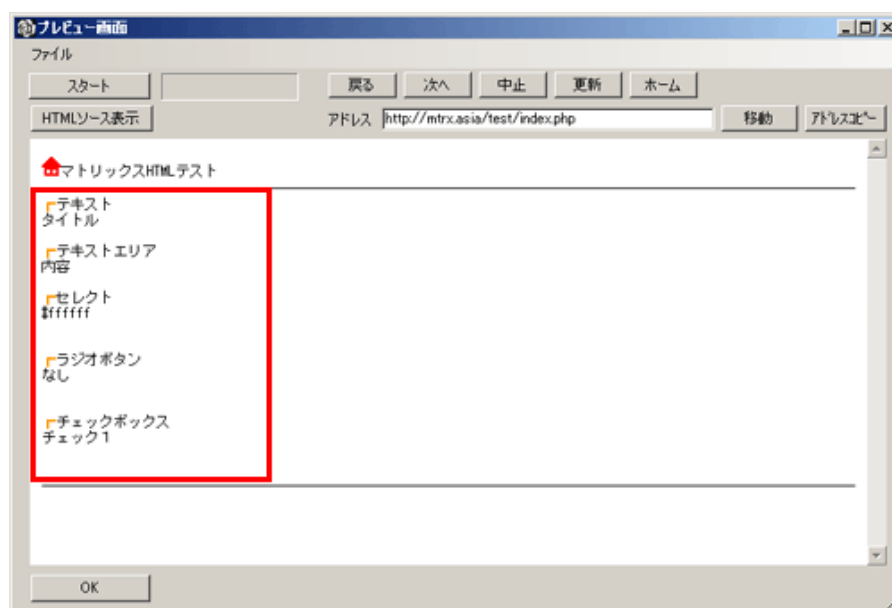
⑨ ボタン名でなくてフォーム番号で指定する場合は、項目タイトル:ボタンのクリック、フォーム番号:0を選択。動作を最後の行に追加するため、動作一覧の最後の行を選択し、追加をクリック。



⑩ 動作が追加されます。動作テストをクリック。



⑪ プレビュー画面が表示され、動作が実行されます。ボタンをクリックされ、クリック後の画面が表示されればOKです。



---

以上で、ボタンのクリックが完了です。

## 12. 練習課題

この章では、いままでのレッスンで学んだことをいかして、課題を行ってみましょう。

下記のサイトにアクセスして下さい。

練習課題サイト

<http://mtrx.asia/test/login.php>

ログインを行う、サイトが表示されます。



## 練習課題サイト

マトリックス課題 ログイン - Microsoft Internet E...

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) お気に入り »

マトリックス課題

【課題①】

マトリックスを使ってログインを試みましょう。

ログインID

パスワード

ログイン

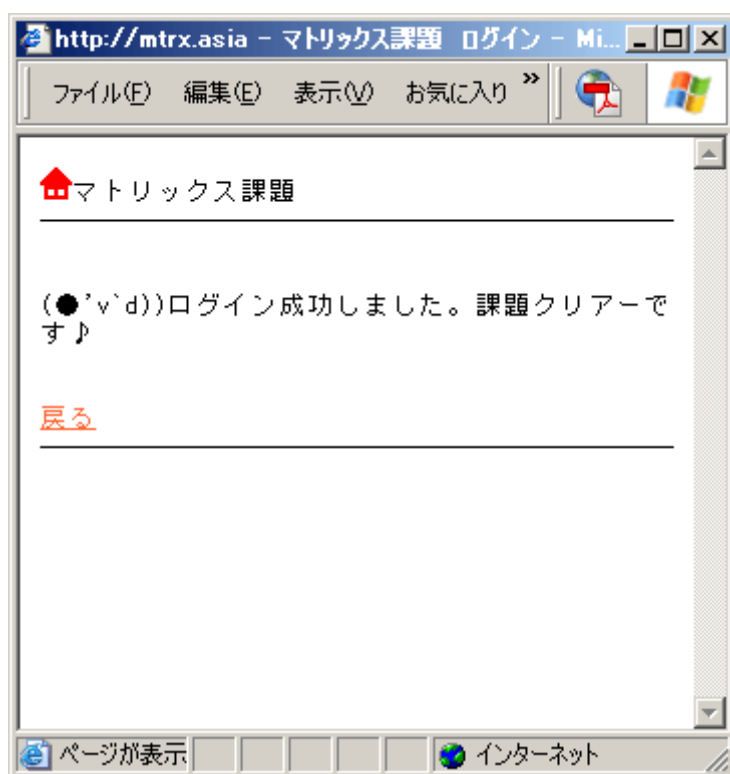
ページが表示 インターネット

このサイトのログインを、マトリックスを使って行って下さい。

ログイン ID:nanaco、パスワード:password でログインできます。

正しくログインできた場合は、つぎのサイトが表示できます。

この画面が表示できれば、マトリックスマスターです。

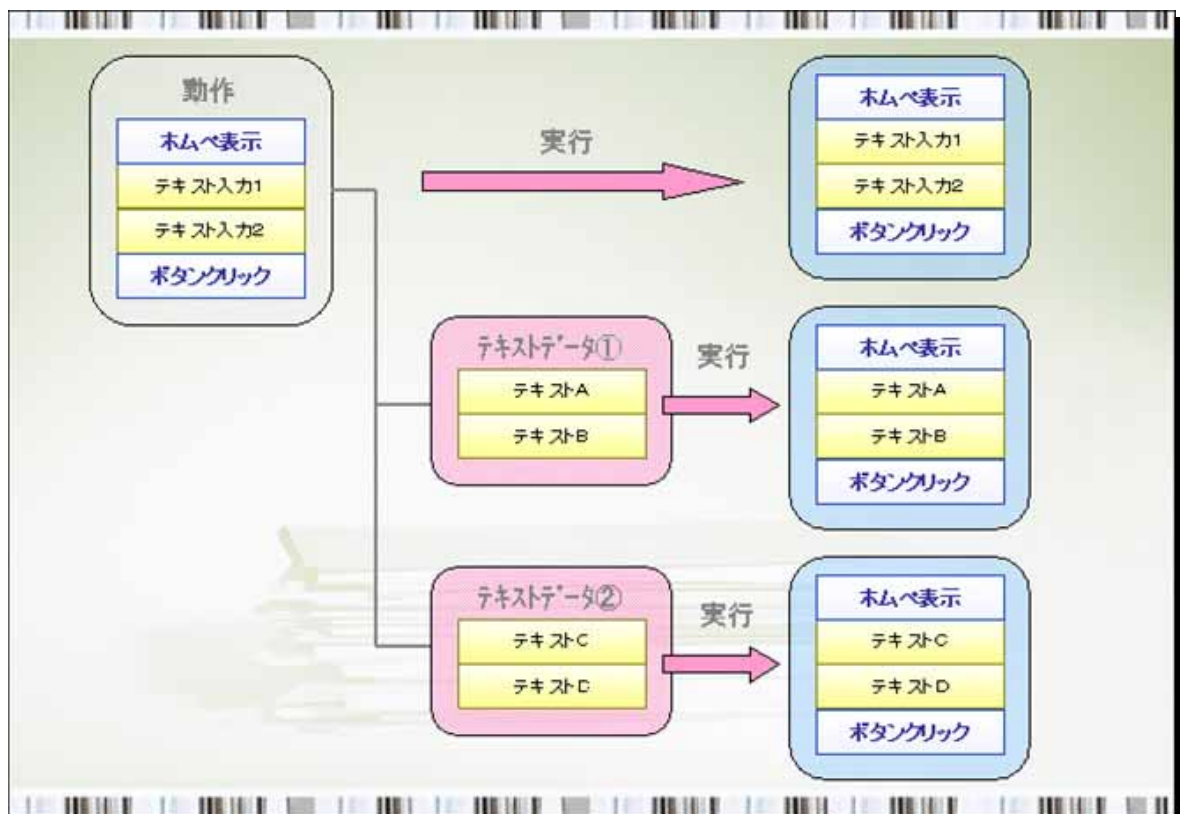


### 13. テキストデータについて

この章では、テキストデータについて説明します。

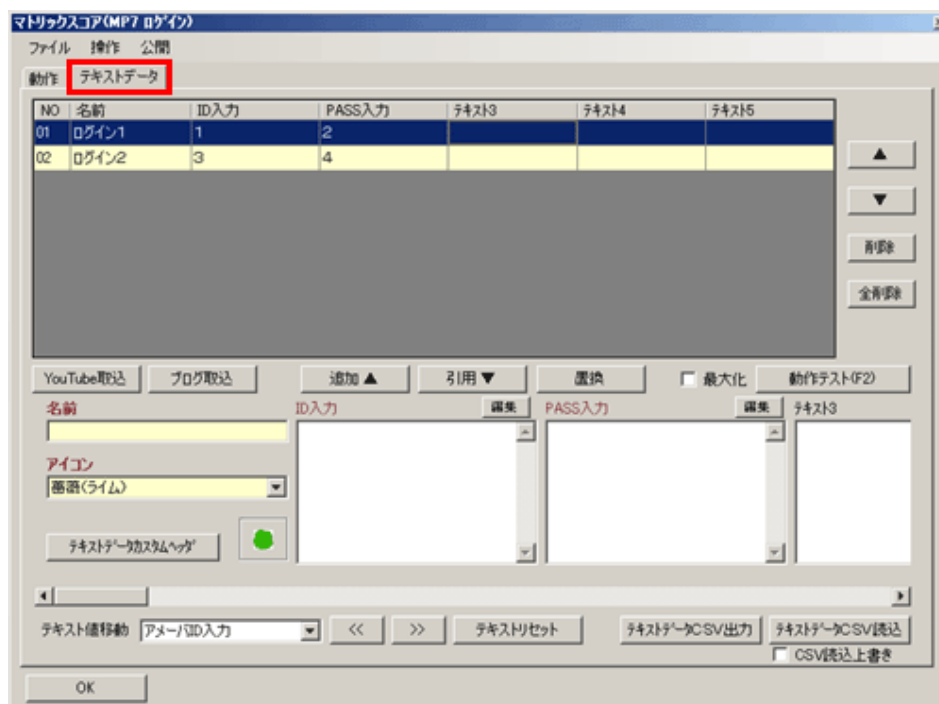
テキストデータは、ブラウザ動作のテキスト入力部分を別管理するためのものです。

テキストデータのイメージは、下記のようになります。



たとえば、複数アカウントで、同じサイトにログインする場合、複数のサイトを登録するよりも、1つのサイトを登録し、ログイン情報は、テキストデータで別管理した方が、便利になります。

テキストデータは、マトリックスコア画面のテキストデータタブから行います。



ここでは、サンプルとして、下記のようなログインを行う動作を登録しているとします。

- ① ホーム表示(ログイン画面)
- ② テキスト入力(ID)
- ③ テキスト入力(PASS)
- ④ ボタン・送信(ログインボタン)

この場合、②と③がテキスト入力になります。

テキストデータタブを選択すると

- ① テキストデータの名前(必須)
- ② テキスト入力(ID)
- ③ テキスト入力(PASS)

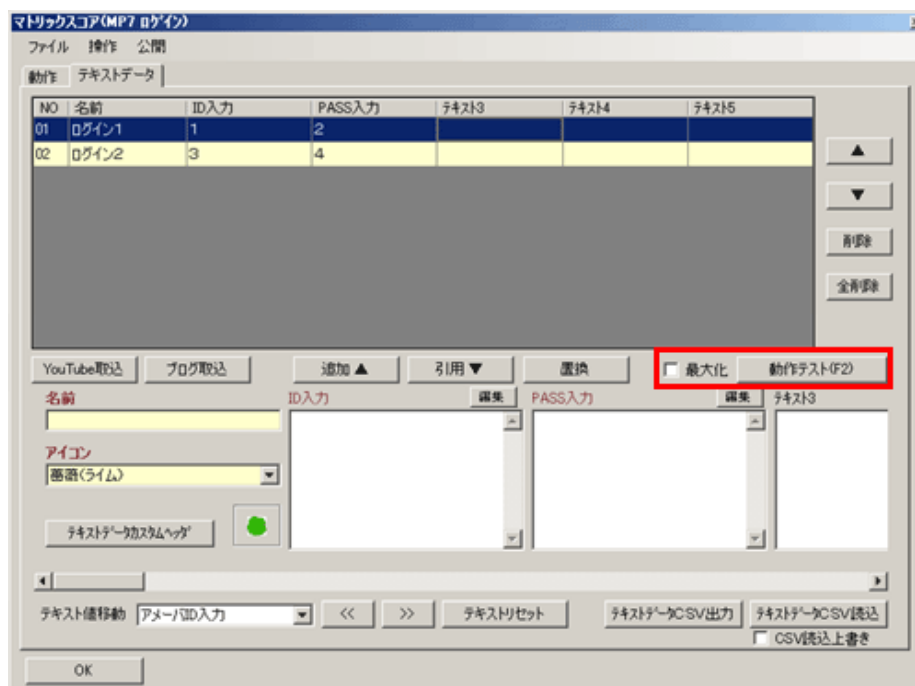
の項目の登録できます。

名前、テキスト入力(ID)、テキスト入力(PASS)を入力し、追加を行うと、一覧にデータが登録されます。

登録したデータは、元の動作に対して、②と③のテキスト部分だけ値を変更した動作が実行できます。

- ① ホーム表示(ログイン画面) ← 元の動作
- ② テキスト入力(ID)← テキストデータで設定した値
- ③ テキスト入力(PASS)← テキストデータで設定した値
- ④ ボタン(ログインボタン)← 元の動作

テストデータの動作テストは、テストデータタブにある動作テストボタンをクリックします。選択している行のテストデータの動作テストが行えます。最大化にチェックを入れると、画面が最大化され開きます。



テキストデータを登録すると、メイン画面のサイトのツリーで、サイトの下にテキストデータのアイコンが表示されます(アイコンの前の+をクリック)。そのアイコンを選択して実行します。



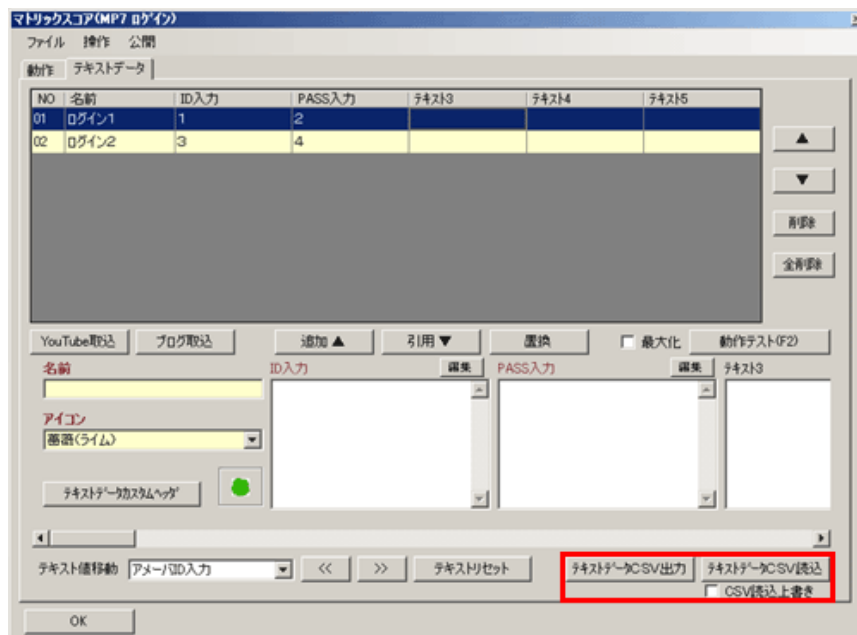
テキストデータをつかうと、動作を、一度、作成すれば、後は、テキストデータを変更するにより、複数の動作が実行できるようになります。

また、あるサイトのログインを行う動作を登録している際に、そ

のサイトのログイン処理が変わった場合でも、動作部分さえ作り  
変えれば、ログインが可能になります。

つまり、動作の実体処理と、データ部分を分けたものがテキスト  
データになります。テキストデータには、最大30項目までの文  
字が管理できます。

テキストデータは、テキストデータ画面の CSV 出力から、CSV フ  
ァイル出力ができます。また、CSV 読込から、CSV ファイルの読  
込ができます。





---

テキストデータCSV読込時に、「CSV読込上書き」にチェックを入  
れると、既存のテキストデータを削除し、新規登録を行うこと  
ができます。

## 14. テキストデータカスタムヘッダについて

この章では、テキストデータカスタムヘッダについて説明します。

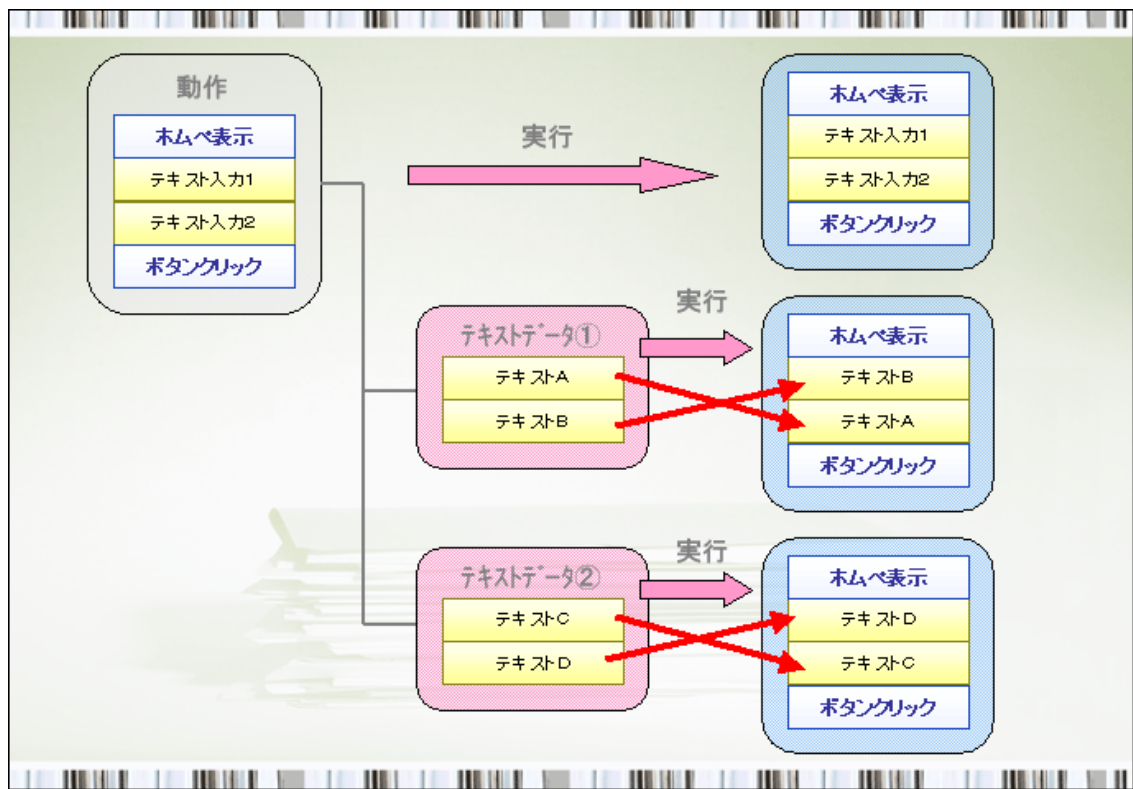
前章で、テキストデータについて説明しました。テキストデータは、ブラウザ動作の内、テキスト入力部分を別管理するためのものです。動作のテキスト項目と、テキストデータの項目は、順番に前から1対1で対応してます。

このため、動作のテキスト項目が増えた(減った)場合など、テキストデータの項目がずれる場合があります。

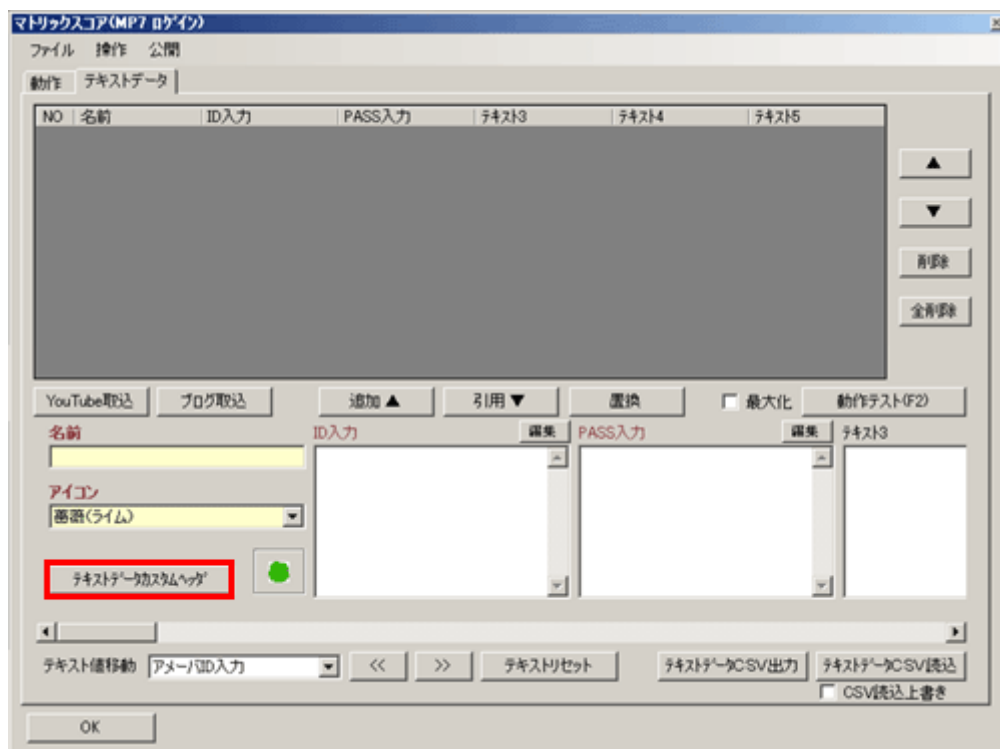
そのような場合に、動作のテキスト項目と、テキストデータの項目の対応関係を設定できるのが、テキストデータカスタムヘッダです。

テキストデータカスタムヘッダのイメージは、下記のようになります。

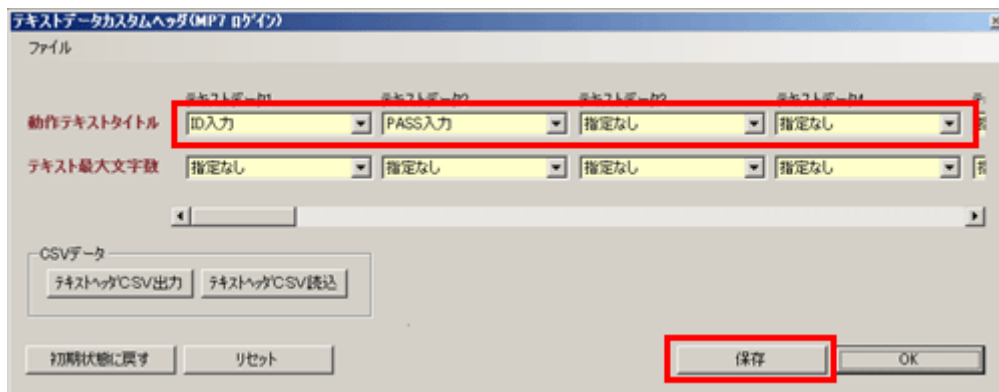
動作のテキスト項目と、テキストデータの項目の対応関係を設定できます。



テキストデータカスタムヘッダの設定は、マトリックスコア画面の  
テキストデータタブから行います。



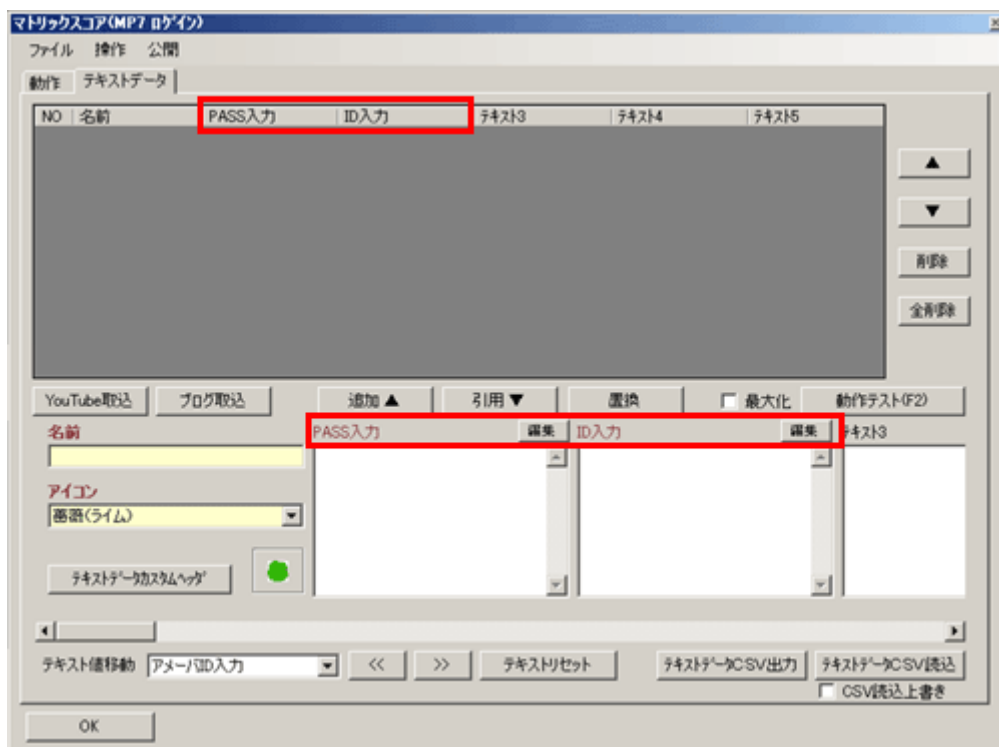
テキストデータカスタムヘッダをクリックすると、テキストデータ  
カスタムヘッダ設定画面が表示されます。



この画面で、テキストデータの列に対応する、動作テキストのタイトルを設定して保存をクリックします。

また、この画面では、テキスト入力の最大数文字数の設定もできます。たとえば、テキスト最大文字数を10に設定している場合、フォームのテキスト入力は、最大10文字までが入力されます。

テキストデータカスタムヘッダを設定した場合は、マトリックスコア画面のテキストデータタブの、テキストの列のタイトルが、設定した動作のテキスト名になっていることを確認して下さい。



設定したカスタムヘッダを元に戻す場合は、テキストデータカスタムヘッダ設定画面を開き、初期値に戻すボタンをクリックして下さい。

## 15. マトリックスの20の動作について

マトリックスの動作には、下記の20の動作があります。

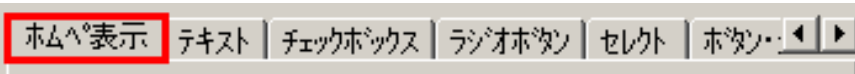
動作名	説明
ホームぺ表示	ホームページ(サイト)を表示します。  リンクをクリックしたい場合は、移動先のURLを登録して下さい。
テキスト	テキスト入力部分(<input type=text>、<textarea>)に対して、文字を入力します。
チェックボックス	チェックボックスのチェックを行います。
ラジオボタン	ラジオボタンのチェックを行います。
セレクト	セレクト(コンボボックス)の選択を行います。
ボタン・送信	ボタンのクリック、HTMLフォームの値の送信(POST)を行います。

手動ボタン・送信	<p>手動ボタン・送信を設定すると、動作が一時停止します。</p> <p>ボタンやリンクをクリックして画面遷移を行うと、次の動作が実行されます。</p>
フォーカス	<p>テキスト、チェックボックス、ラジオボタン、セレクト、ボタンなどをフォーカスし、画面をスクロールすることができます。</p>
ファイル読込	<p>パソコンのファイルを読込み、その文字を利用できます。</p>
文字切取	<p>表示しているホームページ(サイト)の HTML ソースの文字を切り取ります。</p>
文字置換	<p>文字切取で切り取った文字の置換を行います。</p>
文字結合	<p>文字切取で切り取った文字の結合を行います。</p>



ログ出力	表示しているホームページ(サイト)の HTML ソースの文字を切り取りファイルへ出力します。
メッセージ	メッセージダイアログを表示します。
一時停止	一時停止を設定すると、動作が一時停止します。再スタートボタンをクリックすると、次の動作が実行されます。  (再スタートボタンをクリックするまで、画面の移動、リンクのクリックが自由にできます)
待ち時間	指定秒数間処理が停止します。
JavaScript	表示しているホームページ(サイト)内の JavaScript を実行します。
HTML 属性	表示しているホームページ(サイト)内の HTML 属性を設定します。
特殊タグ	特殊なタグに使用します。
条件分岐	条件により指定の動作へジャンプします

## 1) ホームペ表示



ホームページ(サイト)の表示を行います。

例えば、グーグルを表示する場合は

ホームページURL: <http://www.google.co.jp/>

を登録します。

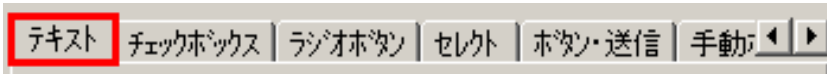
また、サイト内でリンクをクリックして画面が移動する場合も画面の移動後のURLを登録して下さい。

ニコニコ動画サイトのように、ログイン時にセキュリティダイアログが表示されるようなサイトの場合は

ホームペ表示モード: ダイアログ表示モード

にして設定して下さい。

## 2) テキスト



マトリックスの一番のキーになる動作です。

HTMLのテキスト入力部分(テキストボックス、テキストエリア)に文字を入力します。

入力する文字をテキスト値の部分に書いて下さい。

また、文字切取の動作を実行している場合、文字切取名をテキスト値の部分に書くと(%TextValue1%など)、切り取った文字の入力できます。

さらに、入力する文字は、ナナコ辞典を利用することにより置換して入力することもできます。

※ ナナコ辞典に関しては、後述の章を参照ください。

また、下記のオプションがあります。

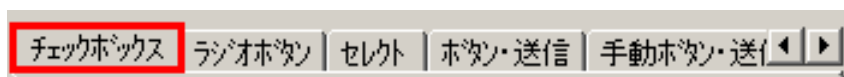
## オプション

改行を で入力する	登録文字の改行文字を にして登録を行います。 タグでないと改行されない場合に使用して下さい。
テキストの追加書きをする	入力するテキスト部分に、すでに文字がある場合、その文字に追加して登録します。
テキストエリア追加時は自動改行しない	上記の「テキストの追加書きをする」を行う場合で、かつテキストエリアの場合、前の文字に改行文字を追加して追加書きをする・しないの設定を行います。
テキスト値 最大文字数	<p>テキストの値の文字数が最大文字数を越える場合、文字を短くして入力します。</p> <p>例)</p> <p>テキスト文字="123456789"</p> <p>最大文字数=5</p> <p>の場合</p> <p>「12345」が入力されます。</p>

---

対象のテキストボックス、テキストエリアに onChange などの JavaScript が設定してある場合、JavaScript 関数(function)の欄に onChange(イベント名)を登録すると、JavaScript のイベントを実行することができます。

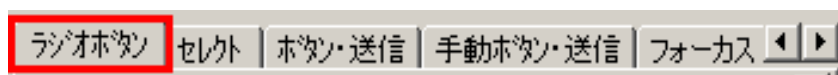
### 3) チェックボックス



HTMLのチェックボックスのオン/オフを設定します。

対象のチェックボックスに onChange などの JavaScript が設定してある場合、JavaScript 関数(function)の欄に onChange(イベント名)を登録すると、JavaScript のイベントを実行することができます。

### 4) ラジオボタン

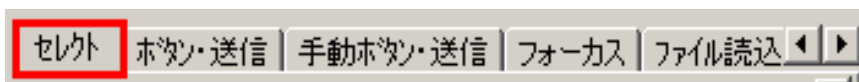


---

HTMLのラジオボタンのオン/オフを設定します。

対象のラジオボタンに onChange などの JavaScript が設定してある場合、JavaScript 関数(function)の欄に onChange(イベント名)を登録すると、JavaScript のイベントを実行することができます。

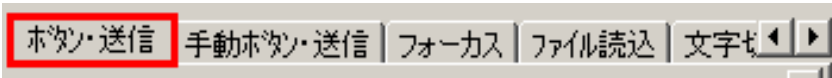
## 5)セレクト



HTMLのセレクト(コンボボックス)を選択します。

対象のセレクトに onChange などの JavaScript が設定してある場合、JavaScript 関数(function)の欄に onChange(イベント名)を登録すると、JavaScript のイベントを実行することができます。

## 6) ボタン・送信



ログインボタンや、登録などのボタンクリック、HTMLの値の送信(POST)を行う場合に使用します。テキストの動作に次いで、二番目のキーになる動作です。

通常は、ログインするときに押すボタンや、登録を行うときに押すボタンを設定します。

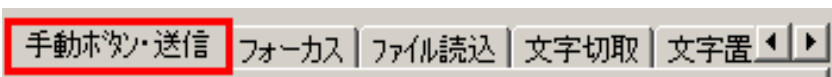
押すボタンが無い場合や、ボタンがうまく押せない場合は、HTMLにある<form>～</form>のフォーム番号を指定して送信処理を実行して下さい。

(フォーム番号は、プレビュー画面のHTMLソース表示から調べることができます)

HTMLの処理が JavaScript で制御されている場合は、ボタン・送信処理を実行できない場合があります。

その場合は、次の「手動ボタン・送信」を設定して下さい。

## 7) 手動ボタン・送信

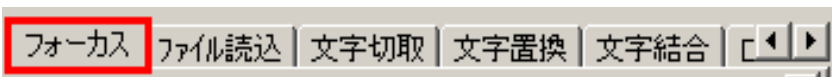


「6. ボタン・送信」の動画を設定しても、うまく実行できない場合、手動ボタン・送信を設定して下さい。

この動作を設定すると、画面が一時停止しますので、手動で、ログインボタンや、登録ボタンのクリックを行って下さい。

画面が移動すると、次の処理が実行されます。

## 8) フォーカス

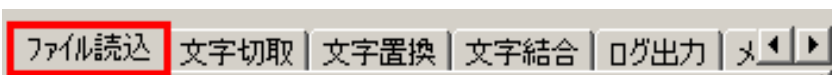


フォーカスは、テキスト、チェックボックス、ラジオボタン、セレクト、ボタンなどをフォーカスし、画面をスクロールすることができます。



詳しくは、同封の「【薔薇乃ななこ】マトリックスサンプル集.pdf」  
のフォーカスのサンプルをご覧ください。

## 9) ファイル読込



パソコンのファイルから文字を読込みます。

読込んだ文字は、マトリックス内部に保存され、テキスト動作の  
テキストの値などに利用できます。

ファイルの読込では、読込むファイルを設定して下さい。

また、読込む文字について、ファイル全体でなく、一部の文字を  
切り取って、読込むことができます。

例えば、ファイルの文字が

```
<html>
```

```
<head>
```

---

```
<title>タイトル</title>
```

```
</head>
```

```
<body>
```

内容1

内容2

```
</body>
```

```
</html>
```

の場合

切取開始文字:<title>

切取終了文字:</title>

を設定すると、「タイトル」の文字が切り取れます。

また

切取開始文字:<body>

切取終了文字:</body>

---

を設定すると、「内容1(改行)内容2」の文字が切り取れます。

切取文字の前に付加する文字を設定すると、切り取った文字の  
前に文字を付加します。切取文字の後に付加する文字を設定  
すると、切り取った文字の後に文字を付加します。

切り取った文字は、マトリックスの文字切取名の値として保存さ  
れます。その文字切取名を、テキスト動作のテキスト値、あるい  
はメッセージ動作のメッセージに書くと、切り取った文字が表示  
できます。

重複した文字切取名が使用された場合、上書きされます。

## 10) 文字切取



表示しているホームページ(サイト)の HTML ソースの文字を切  
り取ります。

---

切り取った文字は、マトリックス内部に保存され、テキスト動作のテキストの値などに利用できます。

文字の切り取りは、ブラウザに表示している文字でなくてHTMLソースをベースに切り取ります。

そのため、必ず、プレビュー画面のHTMLソース表示などから、HTMLソースを確認して下さい。

文字の切り取りは、切取開始文字以降から切取終了文字の前までを切り取ります。

例えば、HTMLソースが

```
<html>
<head>
<title>タイトル</title>
</head>
<body>
内容1
```

---

内容2

</body>

</html>

の場合

切取開始文字:<title>

切取終了文字:</title>

を設定すると、「タイトル」の文字が切り取れます。

また

切取開始文字:<body>

切取終了文字:</body>

を設定すると、「内容1(改行)内容2」の文字が切り取れます。

また、以下のHTMLソースの場合

---

```
<html>

<head>

<title>タイトル</title>

</head>

<body>

<a href=http://www.google.co.jp/>リンク 1</a>

<a href=http://www.yahoo.co.jp/>リンク 2</a>

</body>

</html>
```

切取開始文字:<a href=

切取終了文字:2</a>

を設定すると

```
http://www.google.co.jp/>リンク 1</a>

<a href=http://www.yahoo.co.jp/>リンク
```

---

の文字が切り取れます。

※「HTML タグを削除するのチェック」を外している場合

切取開始文字の下にある「切取終了文字に一番近い切取開始文字」のチェックボックスにチェックを行うと

`http://www.yahoo.co.jp/>リンク`

の文字が切り取れます。

また、切取文字の前に付加する文字を設定すると、切り取った文字の前に文字を付加します。切取文字の後に付加する文字を設定すると、切り取った文字の後に文字を付加します。

切り取った文字は、マトリックスの文字切取名の値として保存されます。その文字切取名を、テキスト動作のテキスト値、あるいはメッセージ動作のメッセージに書くと、切り取った文字が表示



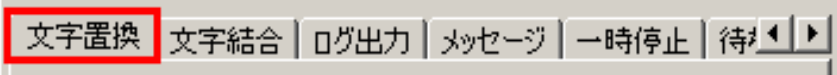
できます。

重複した文字切取名が使用された場合、上書きされます。

また、下記のオプションがあります。

オプション	
「 ⇒改行」に変換する	切り取った文字の を改行文字に変換します。
「<a href=URL>リンク文字</a>⇒URL」に変換する	切り取った文字のリンク部分の URL を抽出して表示します。
HTML タグを削除する	切り取った文字のタグ部分を削除します。

11)文字置換



ファイルから読込んだ文字や文字切取で切り取った文字の置換



---

を行います。

例えば

文字切取名 : %TextValue2%

置換を行う文字切取名 : %TextValue1%

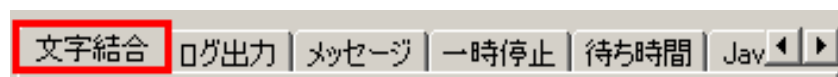
置換前文字 : a

置換後文字 : b

の場合、%TextValue1%に対して、 $a \Rightarrow b$  の置換を行い、その値を  
%TextValue2%に設定します。

文字切取名が%TextValue1%の場合は、置換した値で上書きし  
ます。

## 1 2 ) 文字結合



ファイルから読込んだ文字や文字切取で切り取った文字の結合  
を行います。

例えば

文字切取名 : %TextValue2%

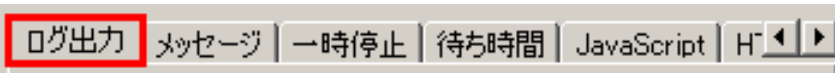
文字切取名 1 : %TextValue1%

文字切取名 2 : abc

の場合、%TextValue1% + abc の値を%TextValue2%に設定します。

文字切取名が%TextValue1%の場合は、置換した値で上書きします。

### 1 3 ) ログ出力



表示しているホームページ(サイト)の HTML ソースの文字を切り取りファイルへ出力します。

文字の切り取りは、ブラウザに表示している文字でなくてHTMLソースをベースに切り取ります。

そのため、必ず、プレビュー画面のHTMLソース表示などから、

---

HTMLソースを確認して下さい。

文字の切り取りは、切取開始文字以降から切取終了文字の前までを切り取ります。

例えば、HTMLソースが

```
<html>
<head>
<title>タイトル</title>
</head>
<body>
内容1
内容2
</body>
</html>
```

の場合

---

切取開始文字:<body>

切取終了文字:</body>

を設定すると、「内容1(改行)内容2」の文字が切り取れます。

切り取った文字は、『ログ名,切り取った文字』の CSV 形式でファイルに出力されます。

ログ名が重複した場合は、後のログ名の値に上書きされます。

『HTMLファイルに下記の文字が含まれる場合のみ出力』に文字を設定した場合、表示しているHTMLソースに設定した文字が含まれない時は、『ログ名, ページに●●の文字が含まれません』の文字がファイルに出力されます。

ログファイルの作成場所は、Matrix.exe があるフォルダの

---

data/log フォルダに『マトリックスログ\_タイムスタンプ.csv』の CSV ファイルとして出力されます。

ログファイル名を設定している場合は、Matrix.exe があるフォルダの data/log フォルダに設定したログファイル名で追加書きで出力されます。

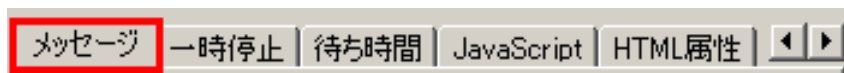
なお、ログファイルへの出力は、ログ出力の動作毎に行っておらず、マトリックスのすべての処理が行われた最後に出力しています。

そのため、複数のログ出力の動作で、ログファイル名を設定している場合、一番最後に設定したログファイルにまとめて出力されます。

出力する文字の内容によっては、Excel などの CSV ファイル読み込みが正しく処理できない場合があります。その場合は、テキストエディタや、他のアプリケーションなどで CSV ファイルを開いて

下さい。

#### 14) メッセージ



メッセージダイアログを表示します。

メッセージや指示を表示したい場合などに使用して下さい。

文字切取の動作を実行している場合、文字切取名をメッセージ部分に書くと(%TextValue1%など)、切り取った文字の表示できます。

#### 15) 一時停止



マトリックスの処理が一時停止します。

一時停止後は、再スタートボタンをクリックしない限り、画面の

移動や、ボタンをクリックしても動作は実行されません。

## 16) 待ち時間



指定秒数間マトリックスの処理が停止します。

## 17) JavaScript



簡易的な JavaScript を実行します。

**※すべての JavaScript の実行ができるわけではありません。**

JavaScript を実行するには、HTML や JavaScript など Web ページに関する総合的な知識が必要になりますので、よくわからない場合は、使用しないで下さい。

例1)

```
function JS_function()
```

---

```
{  
  
    //何か JavaScript の処理  
  
}
```

の場合

JavaScript 関数:JS\_function

JavaScript 引数:なし(空白)

を設定すると、簡易的な JavaScript の実行ができます。

例2)

```
function JS_function(str,num)  
  
{  
  
    //何か JavaScript の処理  
  
}
```

の場合

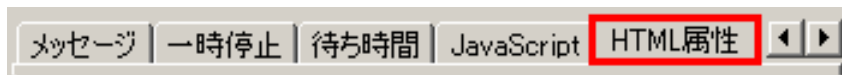


JavaScript 関数:JS\_function

JavaScript 引数:str,num(カンマ区切り)

を設定すると、簡易的な JavaScript の実行ができます。

## 18)HTML属性



HTML属性の設定を行います。

※すべてのHTML属性の設定ができるわけではありません。

HTML属性の設定を行うには、HTML や JavaScript など Web ページに関する総合的な知識が必要になりますので、よくわからない場合は、使用しないで下さい。

例1) 0 番目の form の action 先を <http://www.google.co.jp/> に設定する場合

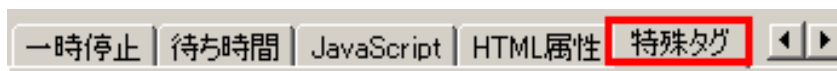
フォーム番号:0

HTML 属性:action

HTML 属性:http://www.google.co.jp/

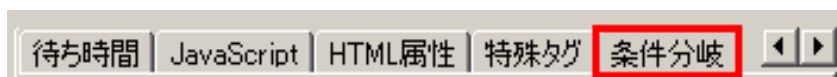
を設定します。

## 19) 特殊タグ



特殊なタグを処理することができます。

## 20) 条件分岐

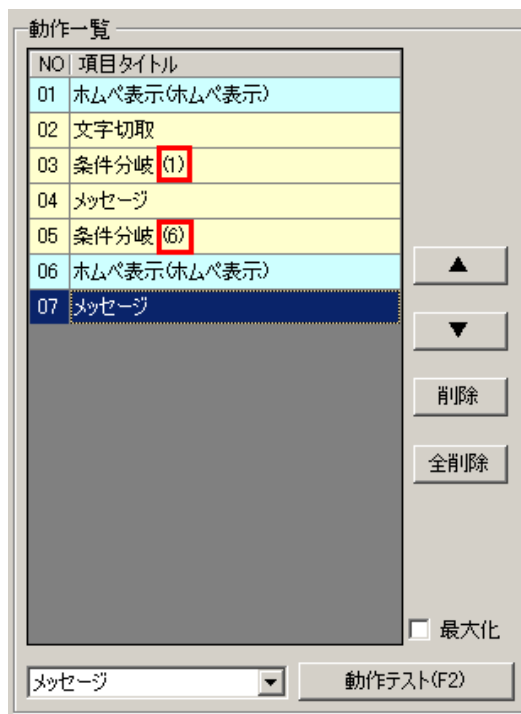


条件分岐は、文字切取で切り取った文字の内容を条件としてある文字が含まれている(いない)場合に、動作の●番へ移動ができる機能です。

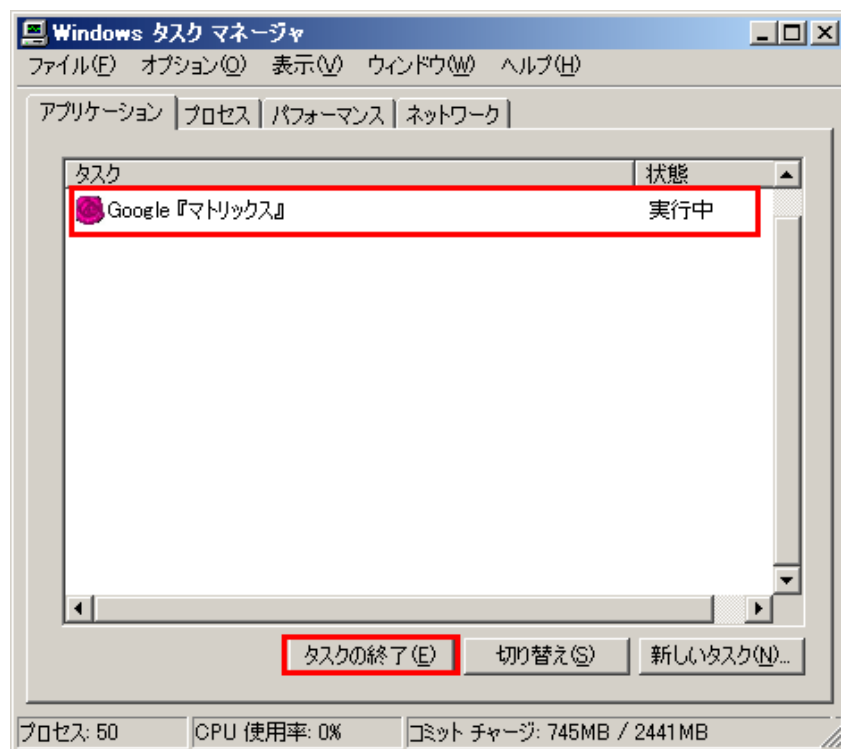
マトリックスの動作は、上から順に実行されますが、この条件分岐により、指定の動作へジャンプすることができます。

この機能により、例えば、ログイン画面が表示されている場合はログイン処理、ログイン画面でない場合は、他の処理などのように、よりプログラムのような操作が可能になります。

条件分岐の追加を行った場合、動作一覧の項目タイトルの最後に移動先の動作 NO がカッコ内に表示されます。移動先の動作 NO は、動作一覧に動作が追加・削除された場合、元の移動先の動作 NO に一致するように自動的に増減されます。



※ 条件分岐を使うと、無限ループを作ることができますが(例えば、動作1, 2があり、動作2で、動作1へ移動などの場合)、絶対に、無限ループは作らないで下さい。もしも、無限ループになってしまってアプリケーションが終了できない場合は、Ctrl+Alt+Del キーを押してタスクマネージャを起動し、マトリックス(Matrix)のプロセスを強制終了(タスク終了)して下さい。



## 16. マトリックスのデータバックアップと復元

マトリックスでは、3種類のデータのバックアップ・復元ができます。

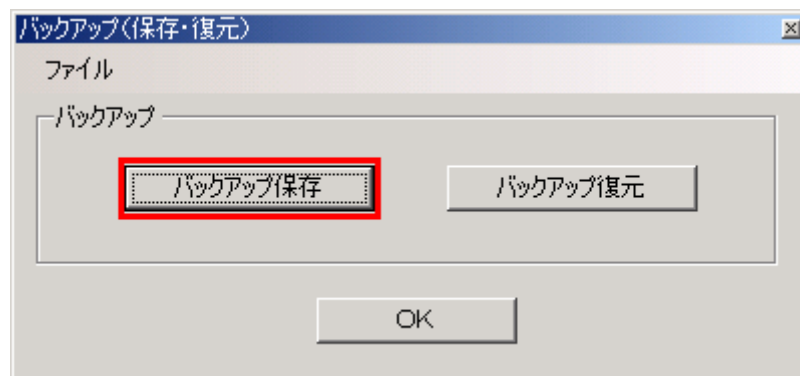
### マトリックス全体のバックアップ・復元

マトリックス全体のバックアップは、1つのパソコンで作成したデータを、もう1つのパソコンに移す場合など、マトリックス自体すべてのデータのバックアップが行えます。

メニュー＞便利＞バックアップ(保存・復元)を選択。

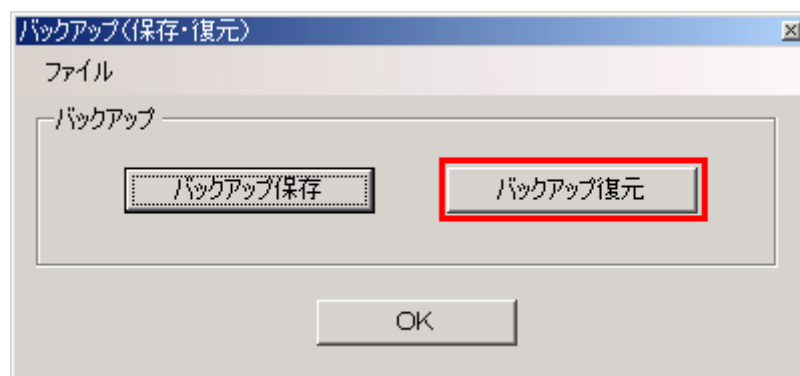


バックアップ保存を選択すると、保存フォルダの選択画面が表示されます。



フォルダを選択すると、「マトリックスバックアップ\_タイムスタンプ.zip」のファイルが作成されます。このファイルが、バックアップファイルになります。

バックアップしたデータを復元する場合は、メニュー＞便利＞バックアップ(保存・復元)を選択し、バックアップ復元を選択すると、ファイルの選択画面が表示されます。



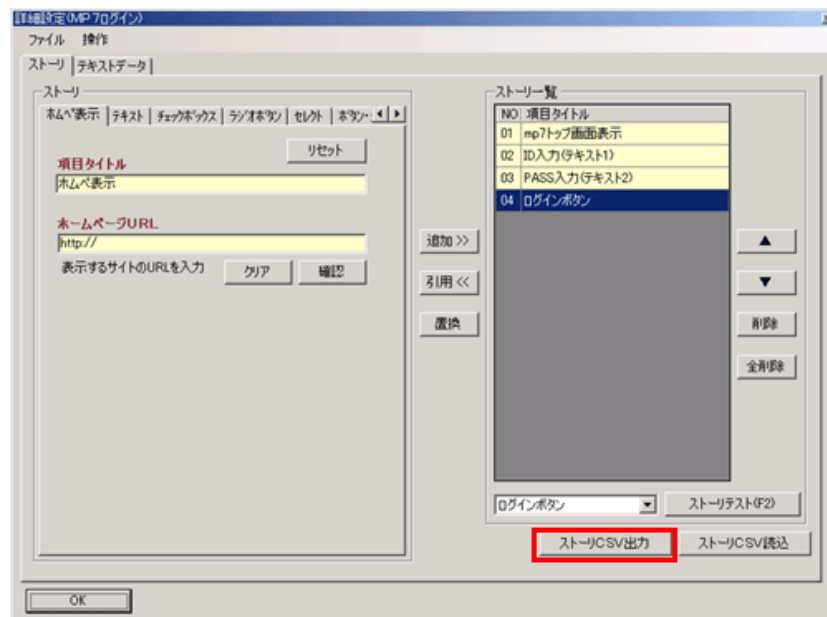
この画面で、保存した「マトリックスバックアップ\_タイムスタンプ.zip」のファイルを選択します。選択すると、全データの復元が行われます。

※ バックアップの復元を行うと、すべての全データの上書きが行われるため、現在のデータはなくなります。

### 動作のバックアップ・復元

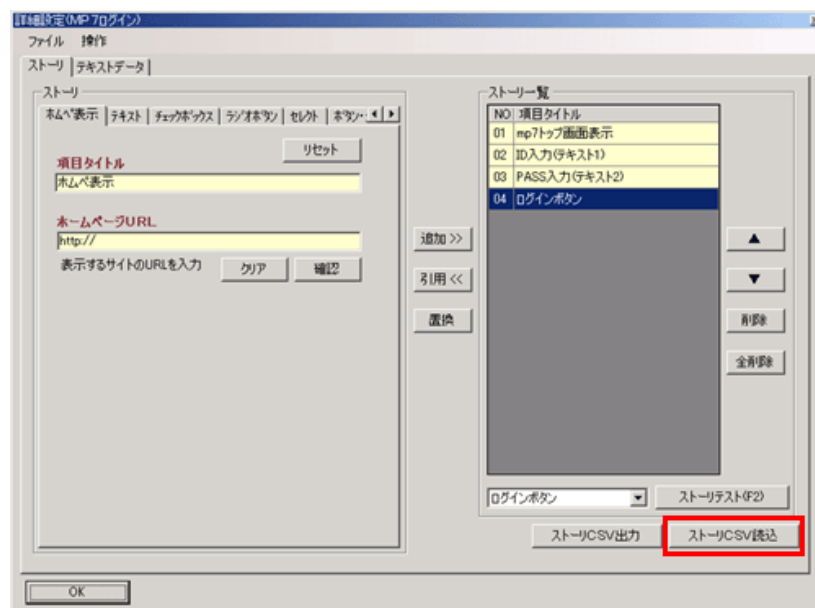
動作を個別にバックアップ・復元できます。あるサイトに作成した動作を保存し、他のサイトの動作として読込むことができます。

動作のバックアップは、マトリックスコア画面の動作タブの右下にある動作CSV出力ボタンから行います。



動作CSV出力ボタンをクリックすると、表示している動作のCSV出力ができます。出力するファイル名は、「サイト名.csv」になります。保存した動作CSVファイルの復元は、動作CSV読み込みボタンから読み込みます。





動作 CSV 読込では、読込んだ動作を現在の動作に追加して登録します。

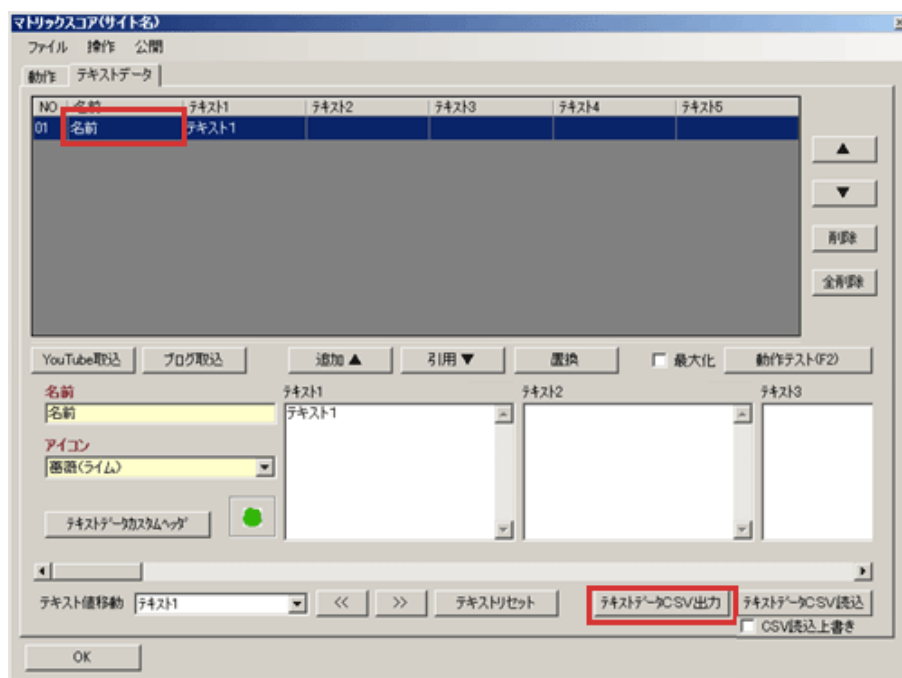
※出力する CSV ファイルに、テキストの値が直接書かれていますので、ID やパスワードを書いている場合は、CSV ファイルの取り扱いにご注意下さい。

## テキストデータのバックアップ・復元

テキストデータをバックアップ・復元できます。あるサイトに作成

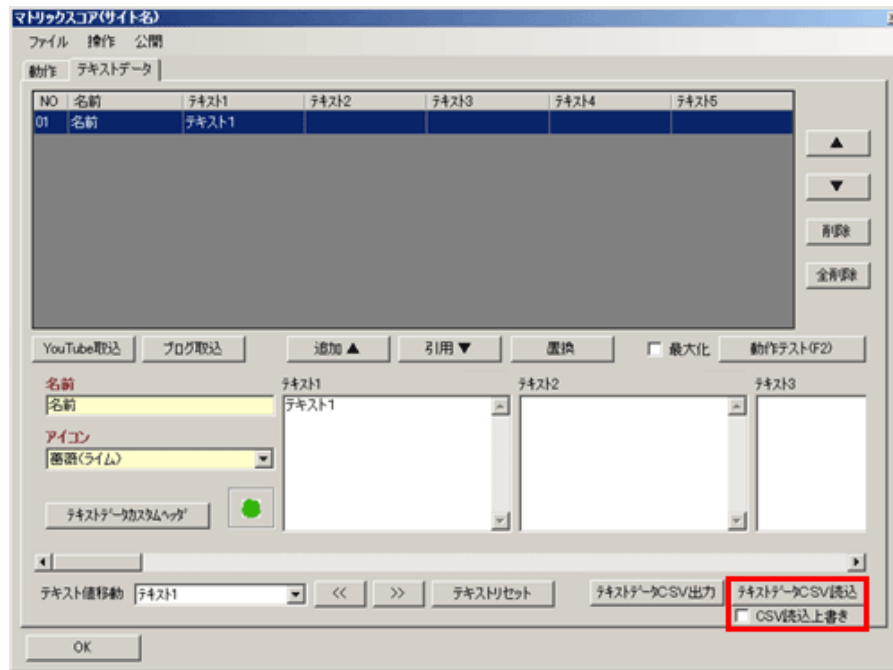
したテキストデータを保存し、他のサイトのテキストデータとして読み込むことができます。

テキストデータのバックアップは、マトリックスコア画面のテキストデータタブ、右下にあるテキストデータCSV出力ボタンをクリックすると、テキストデータの CSV 出力ができます。



出力するファイル名は、1 行目のテキストデータの名前欄に値がある場合は「1行目の名前欄の値\_data.csv」、値がない場合は「サイト名\_data.csv」になります。保存したテキストデータの

CSV ファイルの復元は、テキストデータ CSV 読込ボタンから行います。



テキストデータ CSV 読込みでは、読込んだテキストデータを現在のテキストデータに追加して登録します。CSV 読込上書きにチェックを入れると、既存のテキストデータを削除し、新規にテキストデータを追加します。

※出力する CSV ファイルに、テキストの値が直接書かれていますので、ID やパスワードを書いている場合は、CSV ファイルの取

---

り扱いにご注意下さい。

## 17. マトリックスとナナコYouTube連携

マトリックスとナナコYouTubeコンテンツツールの連携方法について説明します。まずは、サンプル動画をご覧ください。

ナナコYouTube連携動画

<http://mtrx.asia/wmv/mt1.wmv>

サンプルで使っているサイト動作は、テンプレートの「minx トップページ」、「minx コンテンツ」になります。

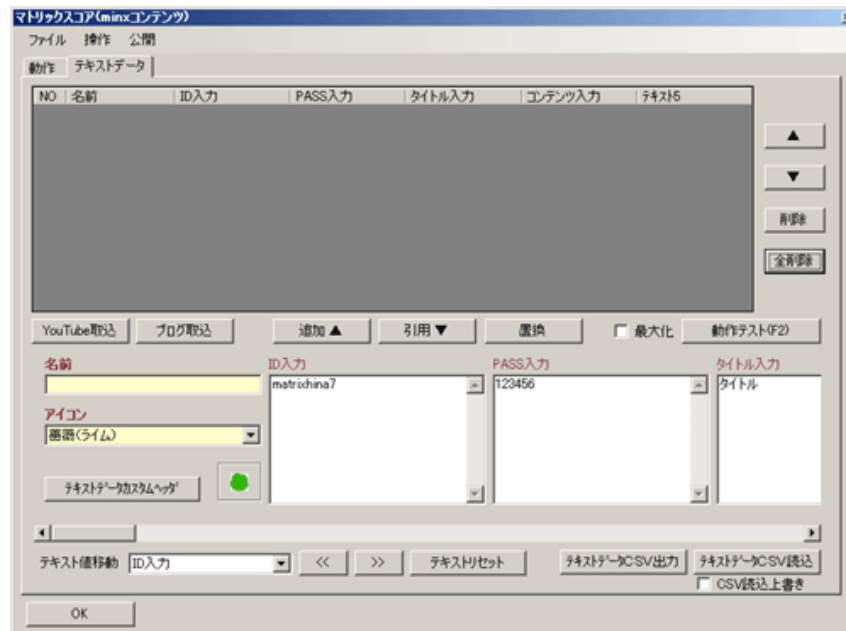
なお、ナナコYouTubeコンテンツツールをお持ちでない方は、下記のURLから無料版をダウンロード下さい。

ナナコYouTubeコンテンツツール無料版

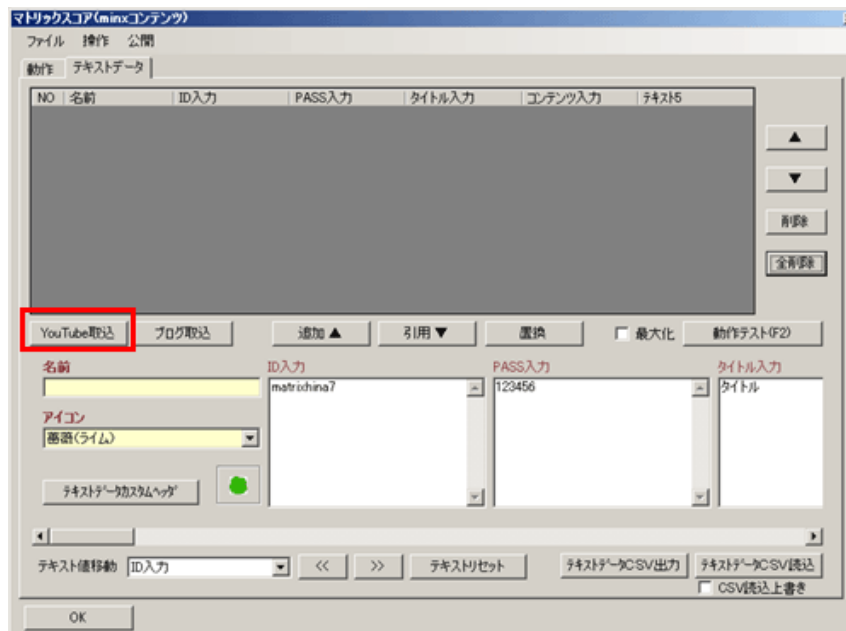
<http://1kiss.jp/nanaco/nanacoyoutube.lzh>

それでは、マトリックスとナナコYouTubeコンテンツツールの連携を行ってみましょう。

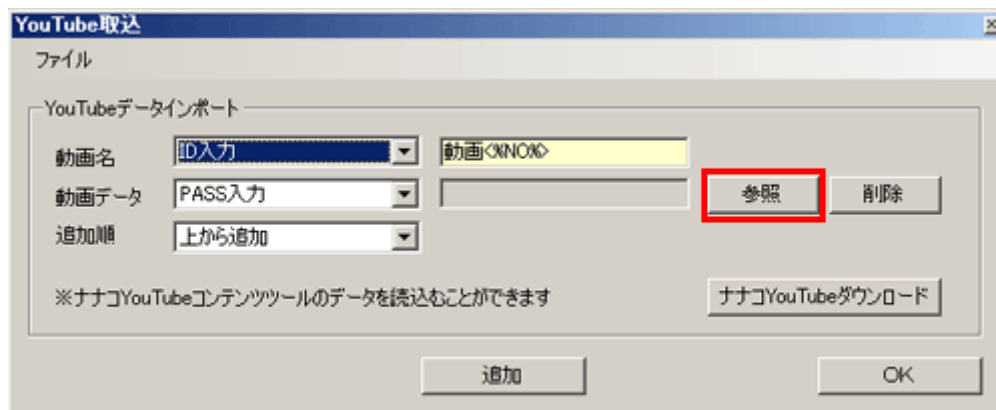
## ① マトリックスのテキストデータタブを開きます。



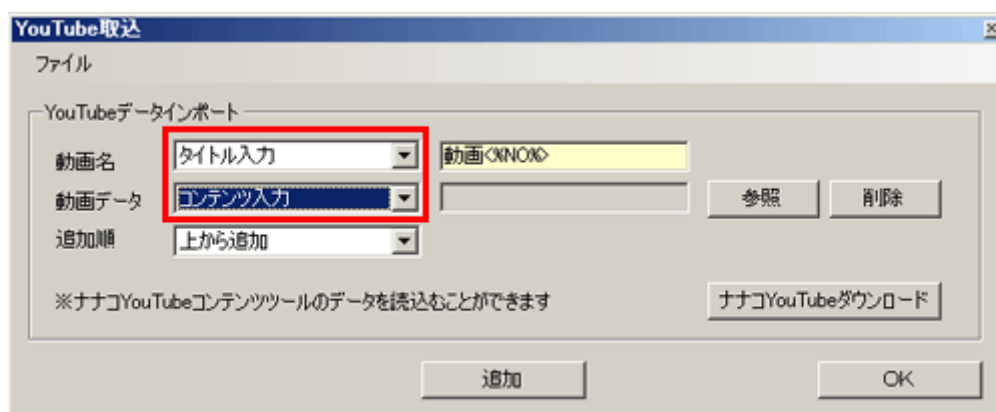
## ② YouTube 連携をクリック。



- ③ YouTube 連携画面が開き、参照ボタンから、ナナコ YouTube コンテンツツールで作成したコンテンツファイルのあるフォルダを選択します。



- ④ 動画名、動画データの値を入れる項目名をリストから選択します。この例の場合は、動画名を「タイトル入力」、動画データを「コンテンツ入力」の項目に登録します。



- ⑤ 動画名は、右側のテキストに入力している文字が登録されます。＜%NO%＞の部分は、自動的に連番に変換されます。

YouTube取込

ファイル

YouTubeデータインポート

動画名: タイトル入力 [動画<%NO%>]

動画データ: コンテンツ入力 [参照] [削除]

追加順: 上から追加

※ナナコYouTubeコンテンツツールのデータを読み込むことができます [ナナコYouTubeダウンロード]

[追加] [OK]

- ⑥ 追加をクリックすると、ナナコYouTubeコンテンツツールのデータがテキストデータとして登録されます。

マトリクスコア(minx:コンテンツ)

ファイル 操作 公開

動作 テキストデータ

NO	名前	ID入力	PASS入力	タイトル入力	コンテンツ入力	テキスト5
02	動画2	matrichina7	123456	動画2	<a href="http://m...	
03	動画3	matrichina7	123456	動画3	<a href="http://m...	
04	動画4	matrichina7	123456	動画4	<a href="http://m...	
05	動画5	matrichina7	123456	動画5	<a href="http://m...	
06	動画6	matrichina7	123456	動画6	<a href="http://m...	
07	動画7	matrichina7	123456	動画7	<a href="http://m...	
08	動画8	matrichina7	123456	動画8	<a href="http://m...	
09	動画9	matrichina7	123456	動画9	<a href="http://m...	
10	動画10	matrichina7	123456	動画10	<a href="http://m...	

[YouTube取込] [ブログ取込] [追加 ▲] [引用 ▼] [置換] [最大化] [動作テスト(F2)]

名前: 動画10 ID入力: matrichina7 PASS入力: 123456 タイトル入力: 動画10

アイコン: 動画(ライブ)

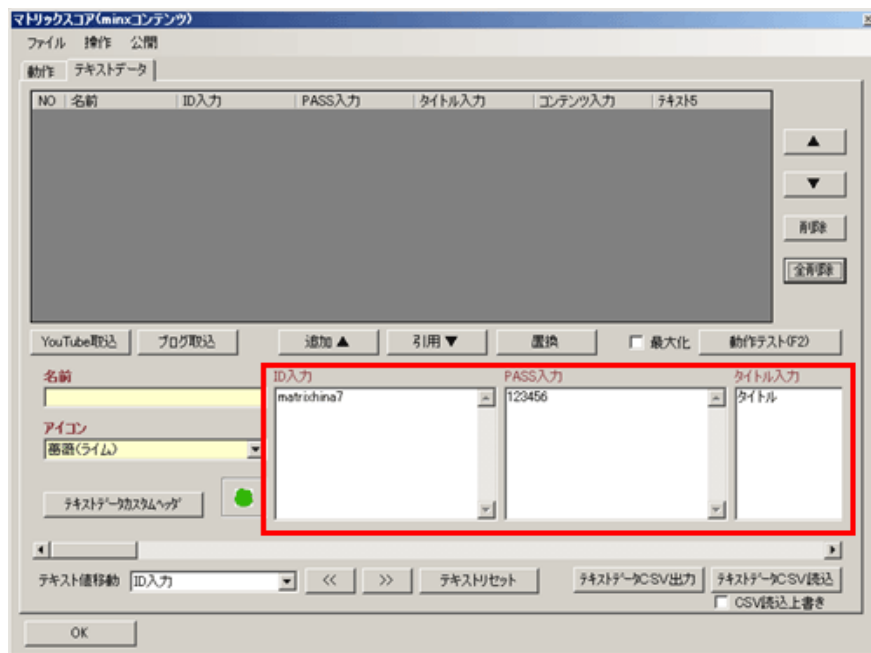
テキストデータカスタムヘッダ

テキストデータ移動: ID入力 << >> テキストリセット テキストデータCSV出力 テキストデータCSV読み込み CSV読み込上書き

[OK]



※ 動画名、動画データで選択している項目(ここでは、「タイトル入力」、「コンテンツ入力」)以外の項目の値は、赤枠で囲っている各項目に入力している値が初期値として登録されます。



また、YouTubeと同じく人気のニコニコ動画コンテンツツールでも同じ利用ができます。

ニコニコ動画コンテンツツール無料版

<http://1kiss.jp/nanaco/nico.lzh>

## 18. マトリックスとPCブログ連携

マトリックスとPCブログの連携方法について説明します。まずは、サンプル動画をご覧ください。

ナナコPCブログ動画

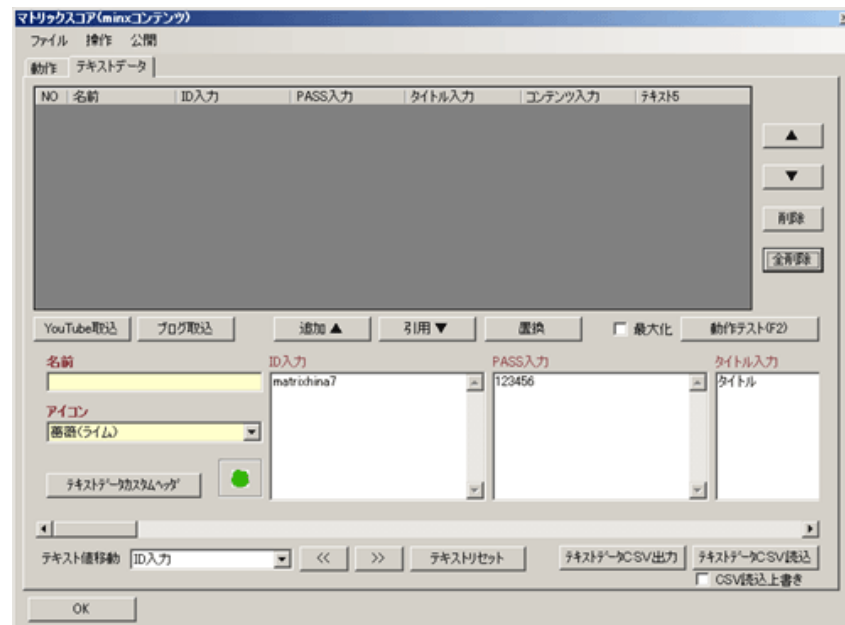
<http://mtrx.asia/wmv/mt2.wmv>

サンプルで使っているサイト動作は、テンプレートの「minx トップページ」、「minx コンテンツ」になります。

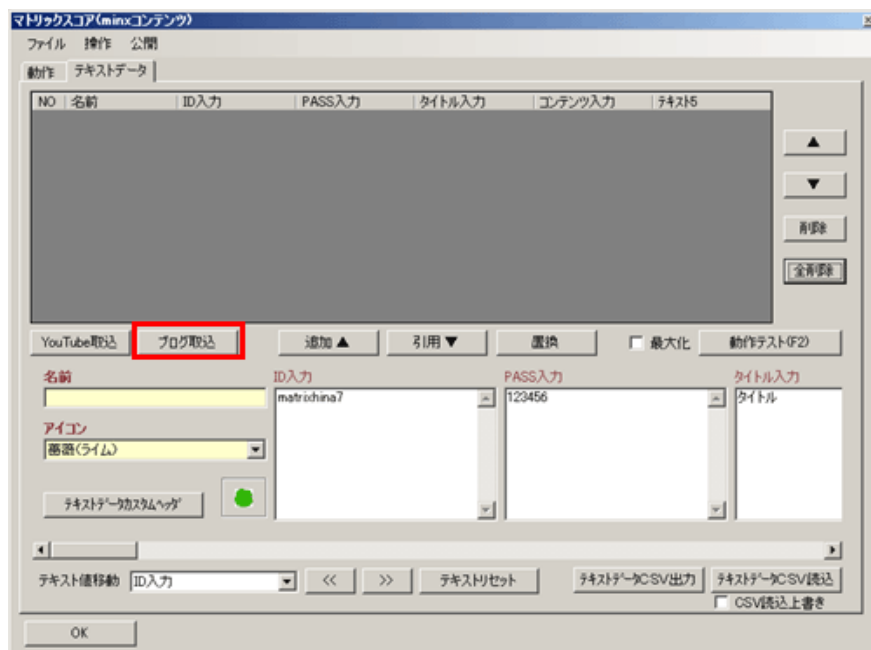
なお、PCブログの連携では、ブログデータファイルとしてMTファイル(ムーバブルタイプ)あるいは、WordPress ファイルが必要になります。各ブログから、ブログのデータファイルを出力して下さい。

それでは、マトリックスとPCブログの連携を行ってみましょう。

## ① マトリックスのテキストデータタブを開きます。



## ② ブログ連携をクリック。



③ ブログ連携画面が開き、参照ボタンから、ブログファイル(MTファイル、WordPress ファイル)を選択します。

※ MTファイル、WordPress ファイルは、ご利用のブログから事前に出力(エクスポート)して用意して下さい。

- ④ タイトル、内容の値を入れる項目名をリストから選択します。
- この例の場合は、タイトルを「タイトル入力」、内容を「コンテンツ入力」の項目に登録します。

ブログ取込

ファイル

ブログデータインポート

ブログ種類 ☒ MT形式 ☐ WordPress形式

タイトル

内容

追加順

※MT形式、WordPress形式のブログファイルを読み込むことができます

参照 削除

追加 OK

- ⑤ 追加をクリックすると、ブログデータがテキストデータとして登録されます。

マトリックスコア (minx.コンテンツ)

ファイル 操作 公開

動作 テキストデータ

ID	名前	ID入力	PASS入力	タイトル入力	内容入力
01	ダブルアドセンスの...	matrishina7	123456	ダブルアドセンスのよ...	ダブルアドセンスにつ...
02	ダブルアドセンス...	matrishina7	123456	ダブルアドセンスって...	ダブルアドセンスは...

追加 参照 置換 動作テスト(F2)

名前

ID入力

PASS入力

タイトル入力

アイコン

テキストデータカスタムヘッダ

テキスト値移動 ID入力 << >> テキストリセット テキストデータCSV出力 テキストデータCSV読み込み

OK

※ タイトル、内容で選択している項目(ここでは、「タイトル入力」、「コンテンツ入力」)以外の項目の値は、赤枠で囲っている各項目に入力している値が初期値として登録されます。

NO	名前	ID入力	PASS入力	タイトル入力	コンテンツ入力	テキスト5
----	----	------	--------	--------	---------	-------

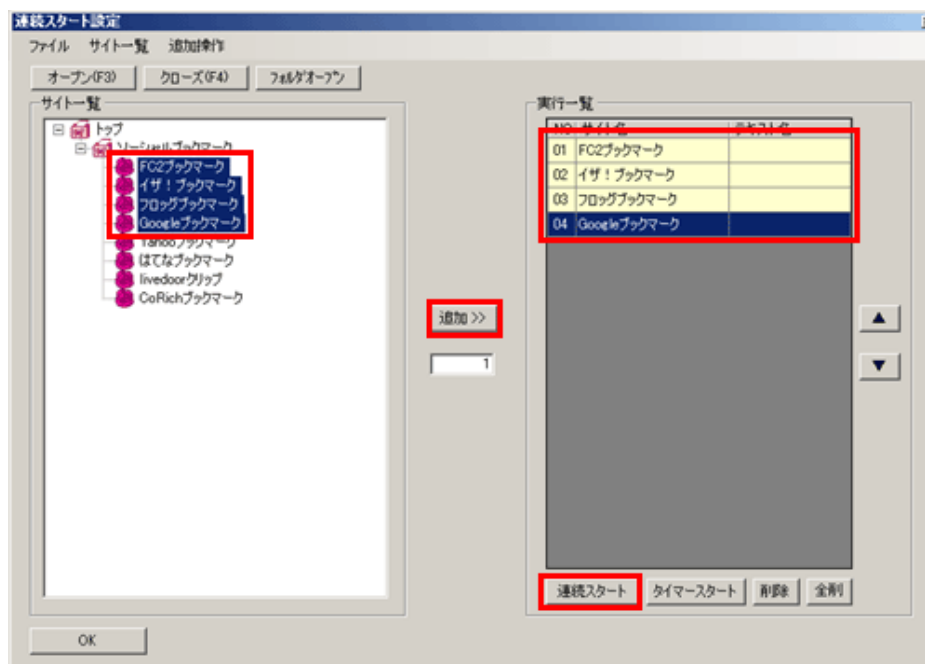
## 19. 連続スタートとタイマースタート

連続スタートでは、複数の動作を一括で実行できます。

### マトリックス連続スタート動画

<http://mtrx.asia/wmv/matrix2.wmv>

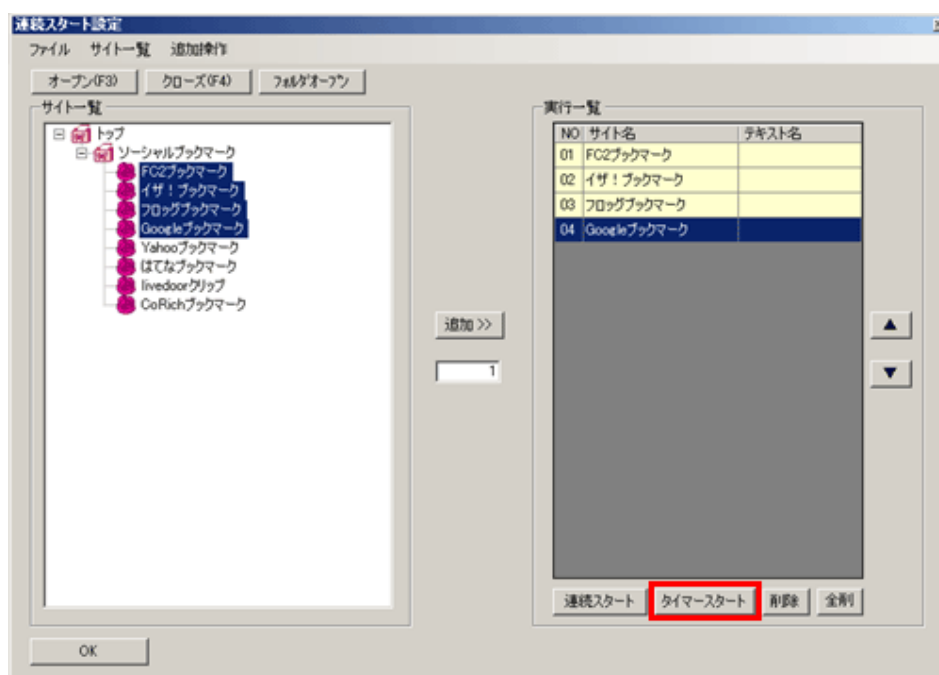
メニュー＞便利＞連続スタートを選択し、連続スタート画面を起動します。実行するサイトを追加し、連続スタートボタンをクリックします。



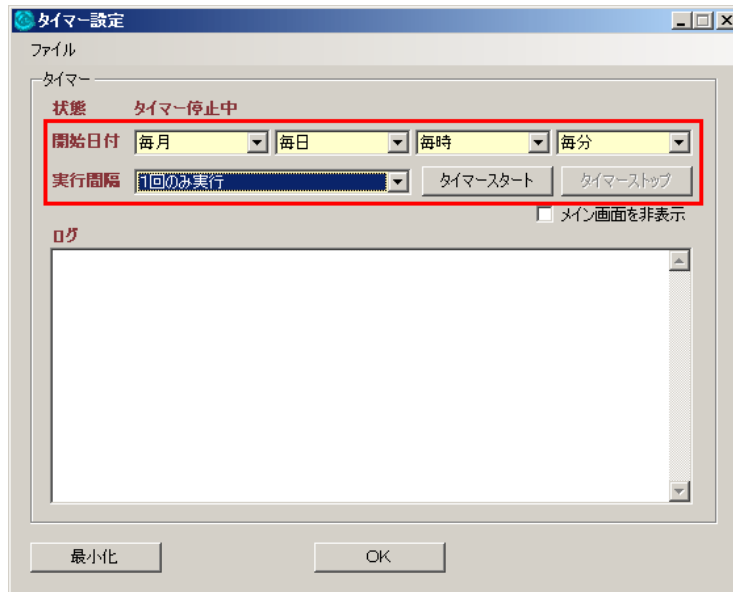
サイト一覧でサイトを選択した状態で、F6キーを押さえると、選択したサイト配下のテキストデータを一括して追加できます。

また、タイマースタートボタンから、タイマーによる実行ができます。

タイマー画面では、定期的に(1分ごと、30分ごと、1時間ごとなど)に実行できます。







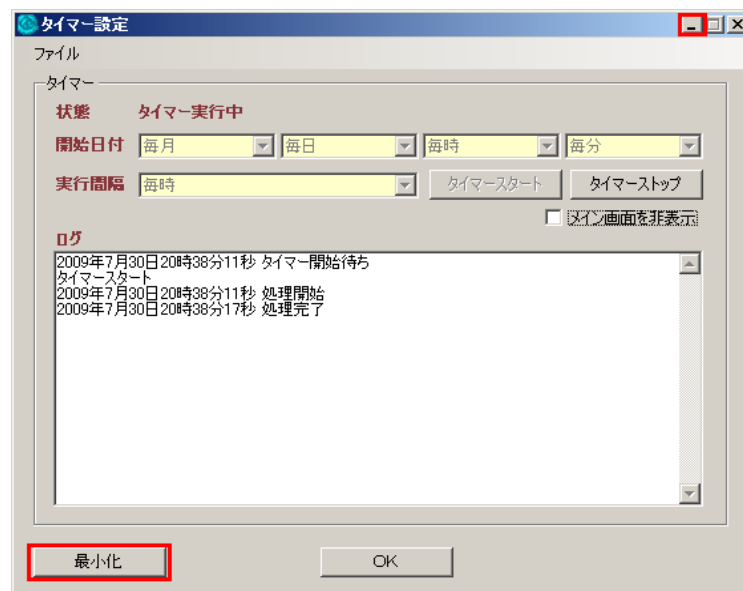
開始日付、実行間隔の時間を選択し、タイマースタートボタンをクリックするとタイマーが実行されます。

開始日付を初期表示の「毎月 毎日 毎時 毎分」のまま実行すると、タイマーを即実行します。開始日付を「毎月 毎日 10時 10分」を選択すると、10時10分にタイマーを実行します。開始日付を「7月 7日 10時 10分」を選択すると、7月7日10時10分にタイマーを実行します。

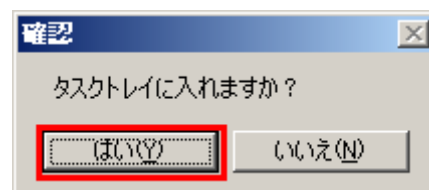
実行間隔は、タイマーを再実行する間隔になります。「毎時」に選択すると、毎時間実行します。「2時間ごと」を選択すると、2

時間毎に実行します。「1回のみ実行」を選択すると、1回だけ実行します。

また、タイマー画面の最小化ボタンをクリックすると、タスクトレイの確認ダイアログが表示されます。



確認ダイアログで、はいをクリックすると、一般的なアプリケーションと同様にタスクバーに最小化されます。



---

確認ダイアログで、はいをクリックすると、画面右下のタスクトレイに最小化されます。

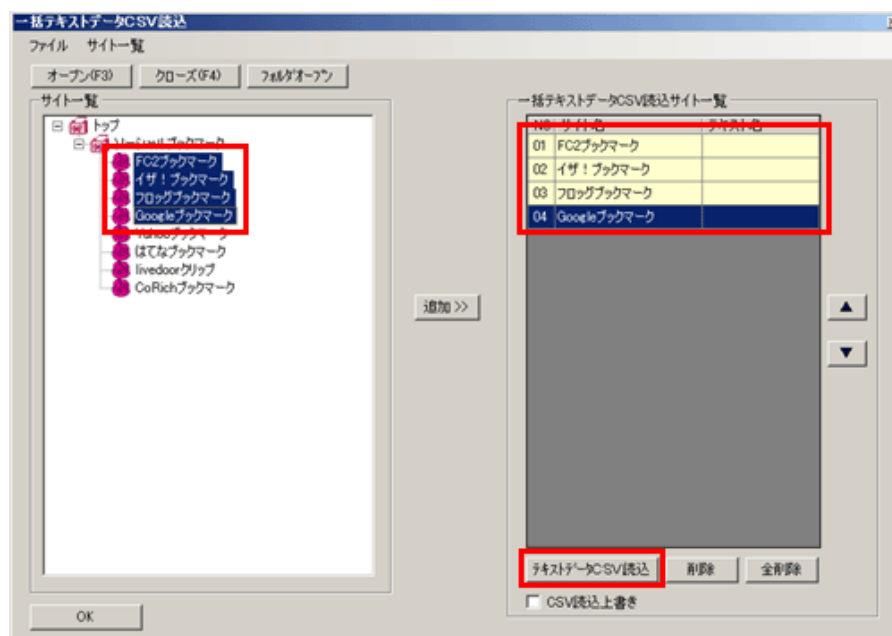
タスクトレイに最小化すると、マトリックスをバックグラウンドで実行できます。タスクトレイにあるアイコンをクリックすると、通常表示に戻ります。



## 20. 複数サイトへのテキストデータCSV一括読み込み

テキストデータCSVを読み込む場合、各サイトのマトリックスコア画面を開く必要がありますが、テキストデータCSV一括読み込みの機能を使うと、複数のサイトへ、テキストデータのCSVを一括で読み込ませることができます。

メニュー＞便利＞一括テキストデータCSV読み込み選択し、一括読み込みの対象のサイトを追加し、テキストデータCSV読み込みボタンをクリックします。



---

また、CSV読込上書きのチェックボックスにチェックを入れると、既存のテキストデータを削除し、テキストデータを新規に登録ができます。

## 21. 自動スキップ機能

マトリックスでは、URLの表示や、ボタンのクリックなど画面の遷移を伴う動作は、画面の表示完了のシグナルを受け取り、次の動作が実行されます。

しかし、画面の表示でタイムアウトなどが起きた場合、画面表示完了のシグナルを受け取ることができないため、次の動作が実行されません。

そのため、結果的に、動作が途中でとまったようになります(※右上のスキップボタンをクリックすると次の動作を実行できます)。

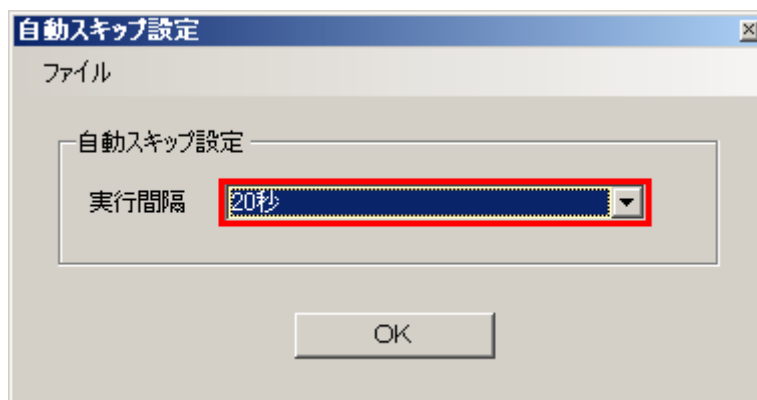
これを解決できるのが、自動スキップ機能です。

自動スキップを設定すると、たとえば、画面の表示がタイムアウトなどでできない場合でも一定時間後、自動的に次の動作が実行されます。

つまり、マトリックスは、とまらないツールになります。

自動スキップ機能は、メニュー＞設定＞自動スキップ設定を選択して、実行間隔を設定して下さい。

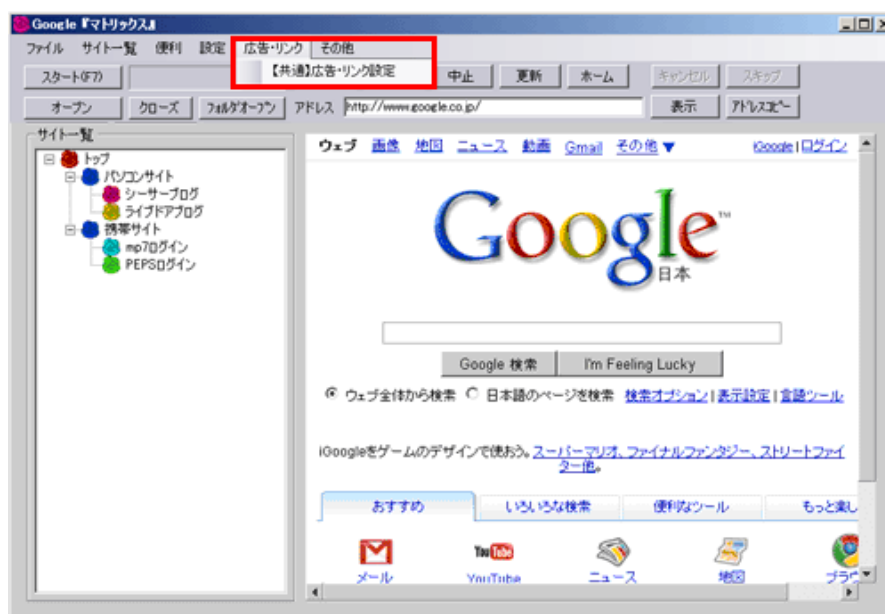
例えば、実行間隔を20秒に設定すると、一定の動作が20秒間とまっている場合、次の動作が自動的に実行されます。



## 22. 広告の一括管理

マトリックスで利用する広告の一括管理を行うことができます。

メニュー＞広告・リンク＞【共通】広告・リンク設定を選択。





共通広告・リンク設定画面が表示されます。

NO	名前	%共通テキスト1%	%共通テキスト2%	%共通テキスト3%	%共通テキスト4%
01	広告	広告1	広告2		

この画面で、共通の広告の設定を行います。

まず始めに、%共通テキスト 1%、%共通テキスト 2%…%共通テキスト 30%の欄に、広告・リンクの文章を書いて下さい。欄は、30個ありますので、30個までの設定できます(横スクロールボタンで欄に移動ができます)。

【共通】広告・リンク設定

ファイル

共通タグ名: 共通テキスト リセット

NO	名前	%共通テキスト1%	%共通テキスト2%	%共通テキスト3%	%共通テキスト4%
01	広告	広告1	広告2		

名前: 広告 追加 ▲ 引用 ▼ 置換

メモ: 広告を一括管理できます

%共通テキスト1% 編集 広告1 %共通テキスト2% 編集 広告2 %共通テキスト3% 編集

テキスト値移動: %共通テキスト1% << >> テキストリセット テキストデータCSV出力 テキストデータCSV読み込み CSV読み込み書き

OK

入力後、追加ボタンをクリックして下さい。追加ボタンをクリックすると、一覧に一行追加されます。

【共通】広告・リンク設定

ファイル

共通タグ名: 共通テキスト リセット

NO	名前	%共通テキスト1%	%共通テキスト2%	%共通テキスト3%	%共通テキスト4%
01	広告	広告1	広告2		

名前: 広告 追加 ▲ 引用 ▼ 置換

メモ: 広告を一括管理できます

%共通テキスト1% 編集 広告1 %共通テキスト2% 編集 広告2 %共通テキスト3% 編集

テキスト値移動: %共通テキスト1% << >> テキストリセット テキストデータCSV出力 テキストデータCSV読み込み CSV読み込み書き

OK

この一覧に表示されている内容が、共通の広告で利用できます。

また、一覧に、2行(複数行)の追加を行った場合は、広告は、2行(複数行)の内からランダムに行われます。各列の各欄から内容がランダムに選択されて、貼り替えが行われます。

ランダムに広告を利用したい場合は、下記のように2行以上の内容を追加して下さい。

共通タグ名	共通テキスト1	共通テキスト2	共通テキスト3	共通テキスト4
01 広告	広告1	広告2		
02 広告A	広告1A	広告2A		

名前: 広告A    追加 ▲    引用 ▼    置換

メモ: 広告を一括管理できます

共通テキスト1: 広告1A    編集    共通テキスト2: 広告2A    編集    共通テキスト3:    編集

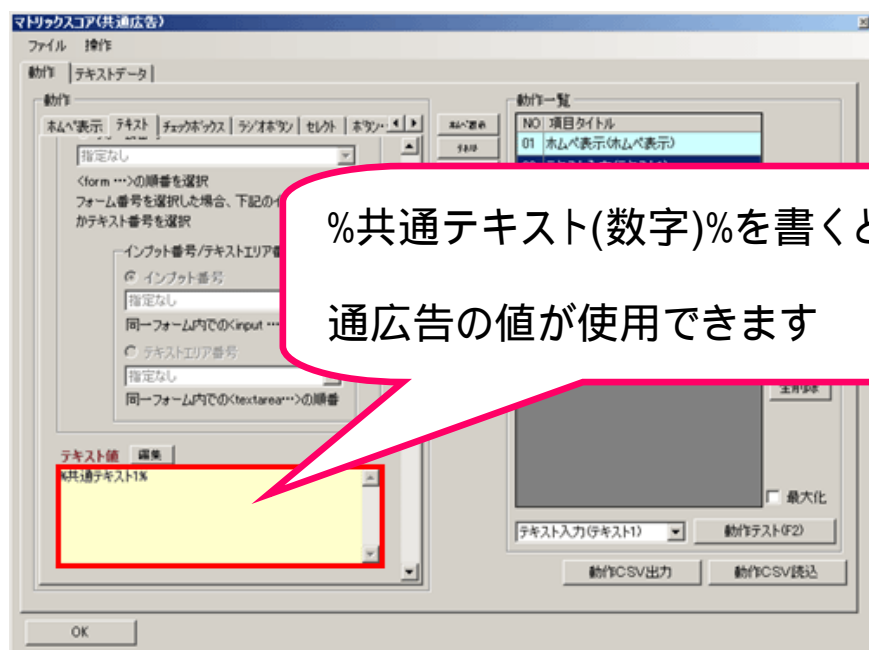
テキスト値移動: 共通テキスト1    <<    >>    テキストリセット    テキストデータCSV出力    テキストデータCSV読み込み    ☒ CSV読み込み書き

OK

ランダムに行いたくない場合は、一覧には、1行のみを追加して下さい。

設定した広告のタグを、マトリックスコア画面のテキスト動作のテキスト値に使用します。

例えば、テキスト値に「%共通テキスト 1%」を書くと、共通広告・リンク設定画面で設定している%共通テキスト 1%の値が使用されます。



## 23. ナナコ辞典連携

ナナコ辞典は、文字の変換ツールです。マトリックスをナナコ辞典と連携させると、マトリックスで入力する文字をナナコ辞典で変換して入力できます。

ナナコ辞典を持っていない場合は、下記のURLからダウンロードして下さい。ダウンロード後、解凍して下さい。

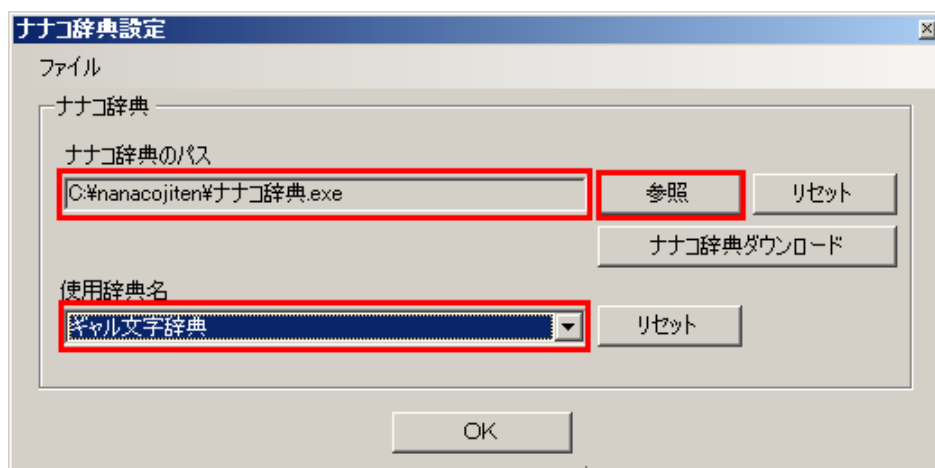
### ナナコ辞典

<http://1kiss.jp/nanaco/nanacojiten.lzh>

マトリックスのメニュー＞設定＞ナナコ辞典を選択し、ナナコ辞典設定画面を開きます。参照ボタンから、先ほど解凍したナナコ辞典のフォルダにある「ナナコ辞典.exe」ファイルを参照します。

参照すると、ナナコ辞典に登録されている辞典の一覧が選択で

きます。一覧の中から、変換に利用する辞典を選択して下さい。



たとえば、全角カナ⇒半角辞典を選択すると、マトリックスで入力するカタカナの文字が、すべて半角カタカナに変換して入力されます。

ナナコ辞典を使用しない場合は、リセットボタンをクリックして下さい。ナナコ辞典側で、新しい辞典を作成すると、利用できる辞典が増えます。

---

## 24. マトリックスサンプル集

マトリックスをさらに使いこなすためにサンプル集を用意しています。サンプル集については、同じフォルダにある「【薔薇乃なこ】マトリックスサンプル集.pdf」を参照して下さい。

## 24. 便利な機能

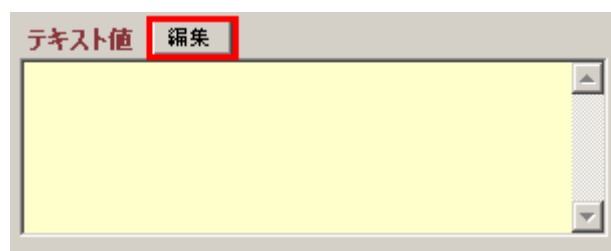
マトリックスの便利な機能を紹介します。

### 1) メニュー > 設定 > アイコン画像設定

ツリー表示に使用するアイコン画像を登録できます。

### 2) テキスト編集画面

マトリックスコア画面の動作テキストタブのテキスト値編集ボタン、およびテキストデータタブのテキストの編集をクリックすると、テキスト編集画面が開き、大きな画面で編集ができます。テキスト編集画面は、最大化表示もできます。





名前 ID入力 編集 PASS入力 編集

アイコン  
薔薇(ライム)

テキストデータカスタムヘッダ

### 3) サイト一覧の「オープン」「クローズ」「フォルダオープン」ボタン

オープンボタンは、選択しているフォルダ・サイト配下をすべて開き、その他のフォルダ・サイトをすべて閉じます。クローズボタンは、選択しているフォルダ・サイト配下をすべて閉じます。フォルダオープンは、サイトをすべて閉じ、フォルダのみ開きます。

### 4) メニュー > 便利 > パラメータファイル再構築・掃除

不要なサイトの情報など、パラメータファイルの再作成を行います。

### 5) メニュー > 便利 > サイトツリー再作成

tree.xml などを間違えて修正し、マトリックスのサイトツリーが壊

---

れた場合に使用して下さい。存在するサイト情報からサイトツリーを再作成します。サイトは、すべてトップフォルダ配下に登録します。

## 25. よくある質問

1)「アプリケーションを正しく初期化できませんでした。」  
のエラーが表示されます。



マトリックスを起動して「アプリケーションを正しく初期化できませんでした。」のエラーメッセージが表示される場合は、.Net Framework2.0 がインストールされていないときに表示されます。下記のURLから dotnetfx2.exe ファイルをダウンロードし、インストールして下さい。

**.Net Framework2.0 ダウンロード**

<http://mtrx.asia/bin/dotnetfx2.exe>

## 2) ログインできません

IEの設定や、セキュリティソフトの設定によっては、マトリックスの動作がブロックされることがあります。P34ページに書いている

1) IE の設定

2) セキュリティソフトの設定

3) Windows ファイアウォールの設定

4) セキュリティダイアログが表示される場合の設定

の設定を確認して下さい。

## 3) Gmailの複数アカウントログインできません。

Gmailなどの場合、複数アカウントでログインするには、ログアウトの処理を動作に含める必要があります。サンプルを作成しましたので、下記の動作を実行してみてください。ログイン前に、

---

ログアウトのURLを実行するのがポイントです。

Gmail複数アカウントログイン

<http://mtrx.asia/t/gmail.zip>

#### 4) テキストデータの入力できません

マトリックスでテキストの文字が入力できない場合があります。

例えば、下記の Chip!! ブログで、真ん中のログインID, PASS (赤枠部分)を入力してログインする処理を作る場合を考えます。

Chip!! ブログ



<http://b.chip.jp/pc/login.php>



たとえば、ユーザIDに文字を入力する場合、HTMLソースを確認すると

ユーザID <input type="text" name="id" value="" ...>

となっていますが、マトリックスのテキスト入力で

テキスト名:id

としても、文字を入力することはできません。これは、**青枠部分**のHTMLソースを見てみると

237  
マトリックス公式マニュアル  
Copyright (C) 2010 チェリーピンク All rights reserved.  
無断転載および複製を禁じます。

◆ID: <input type="text" name="id" ...>

のように、こちらの name も id であることがわかります。

マトリックスの名前によるテキスト入力、セレクト選択、その他すべての処理で、同じ name の項目が他にあると機能しません。

つまり、chip ブログのログインページでは name="id" が2カ所あるためうまく入力できません。

この場合、名前によるテキスト入力を行うのではなくフォーム番号、インプット番号によるテキスト入力を行う必要があります。

たとえば、**赤枠部分**のログインIDの入力は

フォーム番号:1、インプット番号:0

---

PASSの入力は

フォーム番号:1、インプット番号:1

とします。

また、**青枠部分**のID、PASSの入力では、IDの入力を

フォーム番号:0、インプット番号:0

PASSの入力は

フォーム番号:0、インプット番号:1

とします。

フォーム番号は、そのページにある form タグの番号になります



---

(0から数えます)。また、インプット番号は、同一 form タグ内の input タグの番号(0から数えます)になります。

### 5) やっぱり、テキストの入力できません

それでも、テキスト入力ができない場合は、そのテキストフォームが単純なフォームでなくて、ジャバスクリプトやスタイルシートで制御されている可能性があります。

その場合は、マトリックスで制御できませんので、違う方法を検討して下さい。

また、マトリックス正式版の特典「マトリックス裏技マニュアル」のテキストデータ入力裏技をご覧になると、テキストデータを入力できる場合もあります。

### 6) 同じテキストフォームに文字の追加書きできますか？

---

マトリックスのテキスト入力で、同じテキストフォームに追加書きをする場合は、マトリックスコア画面のテキストタブ、テキスト値の下にあるテキスト追加書きにチェックして下さい。

### 7) リンクのクリックは、登録できますか？

リンクはクリックでなくて、動作のホームぺ表示になります。ウェブブラウザで、リンクをクリックすると、その画面のURLが表示されますが、そのURLを、ホームぺ表示のURLに登録して下さい。

### 8) 複数あるボタンをクリックするにはどうすればいいですか？

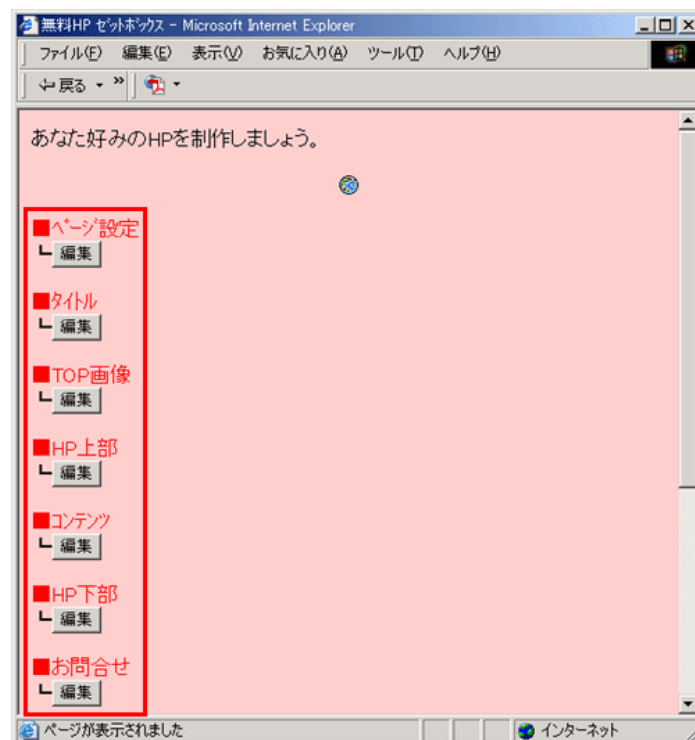
1つのページ上に、複数の編集ボタンがある場合があります。  
たとえば、下記のHPダイジンのサイトの場合。

## HP ダイジン



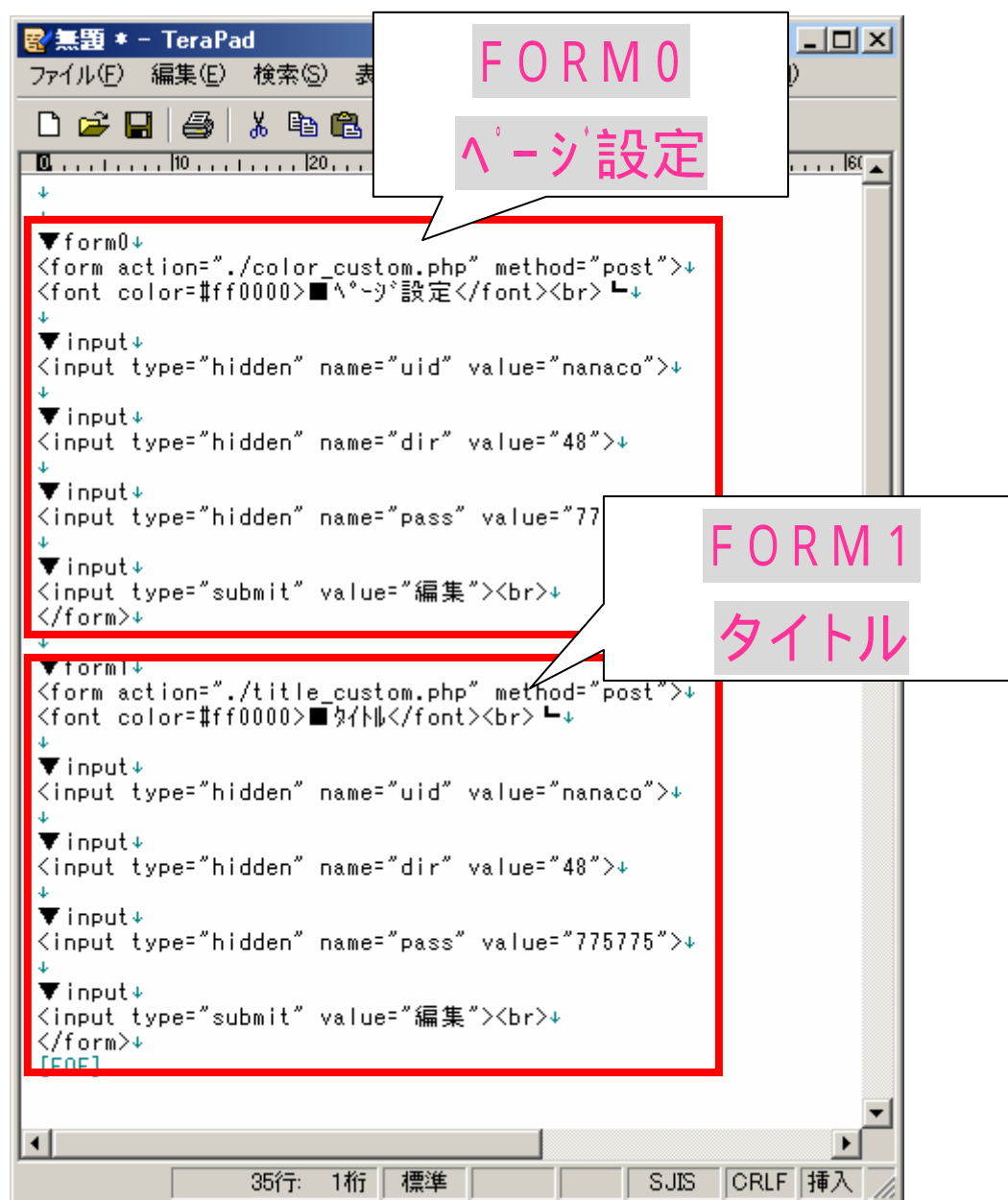
<http://hpdaijin.jp/>

編集ページに、ページ設定の編集ボタン、タイトルの編集ボタン、TOP 画像の編集ボタンのように複数の編集ボタンがあります。



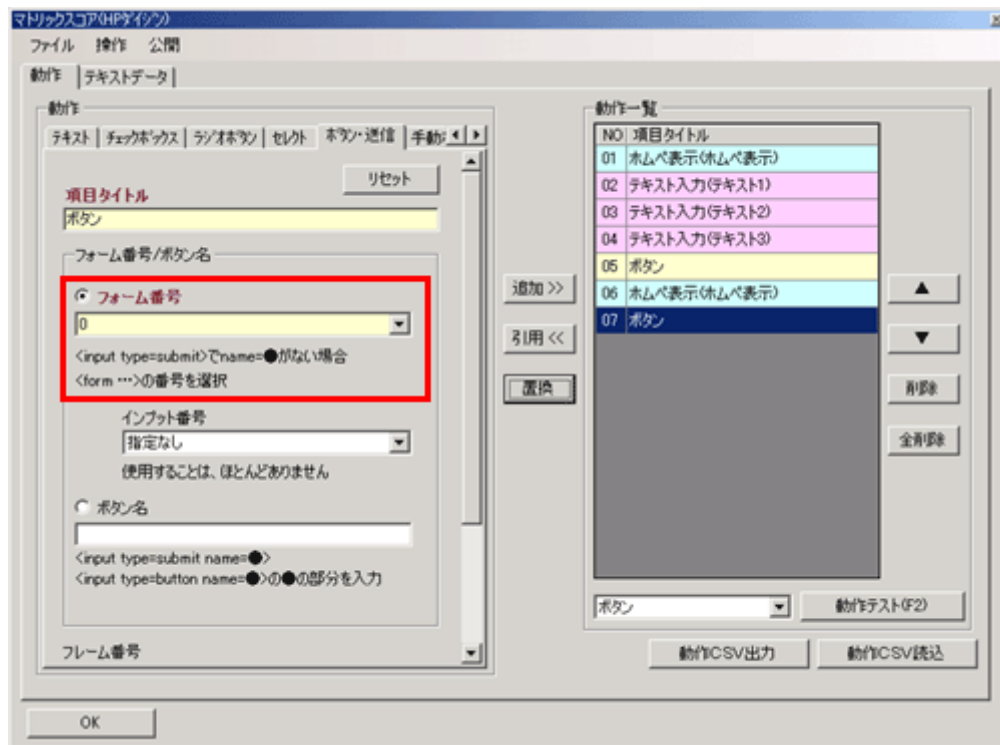
それぞれの編集ボタンをクリックするには、それぞれの編集ボタ

ンが含まれる form の番号(<form>～</form>の順番)を、動作タブの「ボタン・送信」フォーム番号に登録すると、クリックできます。

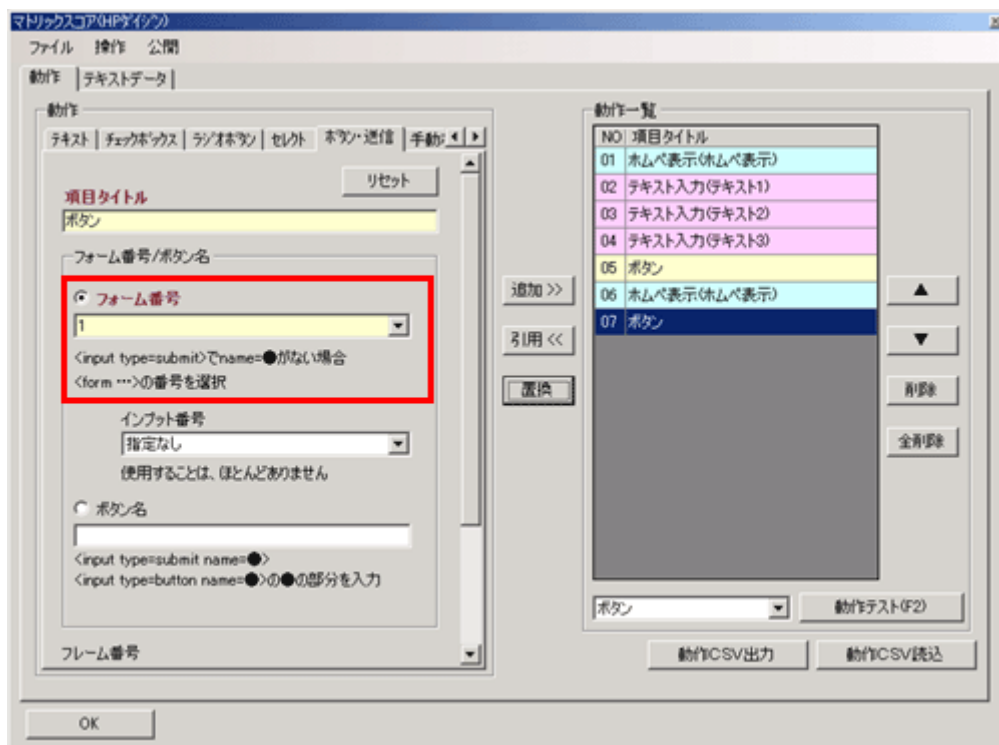


たとえば、マトリックスで、HTMLソースを表示すると、ページ設

定の編集ボタンは、form0に含まれています。そのため、ページ設定の編集ボタンをクリックしたい場合の動作は、フォーム番号を0として登録します。



また、タイトルの編集ボタンをクリックしたい場合、タイトルの編集ボタンは、form1 に含まれています。そのため、フォーム番号を1として登録します。



以上のように、そのボタンが含まれているフォームの番号を設定するとクリックするボタンを選択できます。

## 9) クリックするボタンがありません

サイトの中には、ボタンでなく画像によって、ログインするサイトがあります。

たとえば、下記のさくらインターネットコントロールパネルの場

合。

## さくらインターネットコントロールパネル



<https://secure.sakura.ad.jp/rscontrol/>

A screenshot of the Sakura Internet Control Panel login page displayed in a Microsoft Internet Explorer browser window. The browser's address bar shows the URL 'さくらインターネットサーバコントロールパネル - Microsoft Internet Explorer'. The page title is 'サーバコントロールパネル ログイン' (Server Control Panel Login). The main content area has a light orange background and contains the following text: 'お客様のドメイン名と、サービスパスワードをご入力ください。' (Please enter your domain name and service password). Below this are two input fields: 'ドメイン名:' (Domain name) and 'パスワード:' (Password). A red rectangular box highlights the button labeled '\* 送信する \*' (Send). Below the input fields, there is a link: 'ウェブメール || パスワードを忘れたときは... || ログイン方法について' (Webmail || If you forgot your password... || About the login method). At the bottom, there is a yellow box with the heading '<注意事項>' (Notes) and two items: '① パスワードは仮登録完了メールに記載のパスワードです。' (The password is the password recorded in the temporary registration completion email.) and '② ドメイン名にはメールアドレスを入力することができます。その場合、メールパスワードをご入力ください。' (You can enter an email address as the domain name. In that case, please enter the email password.) The browser's status bar at the bottom shows 'インターネット' (Internet).

送信するの部分がボタンではなく、画像になっています。マトリ

---

ックスで、HTMLソースを表示すると、type=button や type=submit でなく type=image で、かつ、name の属性がありません。

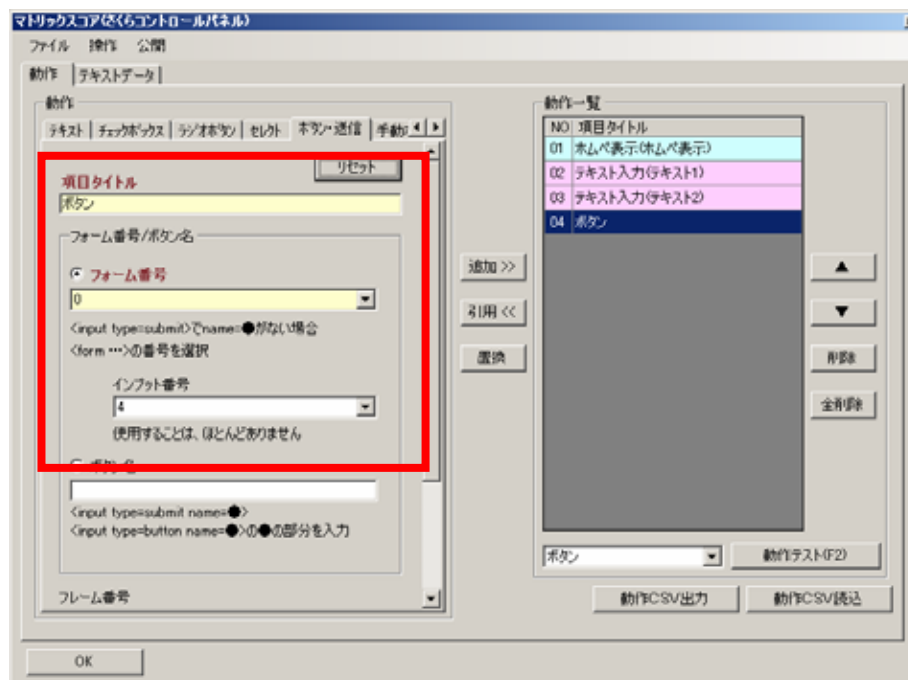
```
<input type="image" src="images/button-send80px.png"
      class="image" />
```

このような場合でも、動作のボタン・送信として処理できます。

具体的には、動作タブ、ボタン・送信のフォーム番号と、インプット番号を使います。インプット番号は、同じフォーム内にある<input>タグ(type=button、type=text、type=image すべて)の順番です。

さくらインターネットコントロールパネルの場合は、フォーム番号:0、インプット番号:4 で登録すると、ログインができます。





## 10) メイン画面とサイト一覧画面のツリーがちがいます

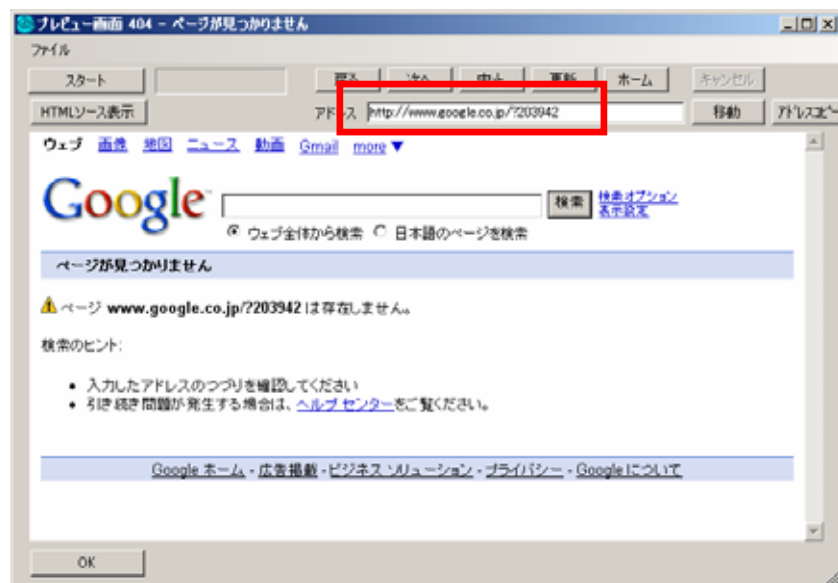
メイン画面のツリー表示は、フォルダ、サイト、テキストデータが表示されますが、サイト一覧画面のツリー表示は、フォルダと、サイトのみ表示されます。サイト一覧画面から、テキストデータを編集する場合は、サイトを選択し、マトリックスコアボタン>テキストデータタブで設定します。

## 1 1) URLを登録していましたが、表示できません

それは、おそらく、URLにセッション引数があるためです。

セッション引数は、同じアカウントでもログイン毎にかわる変数で、時間がたつと無効になります。そのため、登録している URL が無効となり、表示できなくなります。セッション引数については、P71「※重要3(セッション引数)」に詳しく書いていますので、ご覧下さい。

## 1 2) URLの最後に変な数字がついています



---

マトリックスでは、サイトを表示する際に、URLの最後に数字がついています。この数字は、マトリックスで使用する内部IDになります。サイト自体の表示には影響することはありません。

このマトリックスIDを消したい場合は、ホーム表示タブの動作追加時に、「URLの最後にマトリックスIDをつける」のチェックを外して登録して下さい。

13) URLに%25text1%25 が表示されます

%text1%を使用する場合は、動作一覧で、%text1%を使用するホーム表示の動作より前に、テキストの動作が必要になります。

たとえば

---

## ●動作一覧

### テキスト入力(テキスト 1)

ホーム表示(http://ドメイン名/?id=%text1%)

---

---

のように、ホームぺ表示より前にテキストの入力が必要です。

この場合、ホームぺ表示の%text1%には、テキスト 1 の値が入ります。

また、この場合では

---

### ●動作一覧

テキスト入力(テキスト 1)

テキスト入力(テキスト 2)

ホームぺ表示(<http://ドメイン名/?id=%text1%&pw=%text2%>)

---

%text1%に、テキスト 1 の値、%text2%に、テキスト 2 の値が入ります。

14) ツリー表示で、サイトの順番(場所)をかえたいです

ツリー表示のサイトの順番(場所)をかえる場合は、サイト一覧

---

画面を開き、右側のツリー表示から、▲▼ボタン、あるいは、サイトをドラッグして、表示順をかえることができます。

サイトを別フォルダにドラッグすると、サイトの移動もできます。

15) サイトガツリーには表示されるのに、マトリックスコア画面が開きません。

サイトガツリーに表示されて、マトリックスコア画面が開かない場合は、サイトの設定ファイルが壊れている場合があります。

メニュー＞便利＞パラメータファイル再構築・掃除  
を行って下さい。

16) マトリックス無料版と正式版の違いは、なにですか？

無料版と正式版の違いですが、無料版では、登録サイト数3つ

---

まで(フォルダは含まない)、登録動作7つまで、登録テキストデータ2つまでの制限があります。

無料版を使用すると、4つ目のサイトの追加ができません。

また、無料版では、連続スタートが2項目まで、連続スタートのタイマー機能、複数サイトへのテキストデータの一括読込機能が利用できません。

さらに、マトリックス正式版をご購入頂くと、限定の特典がつきます。特典に関しましては、マトリックス公式サイトをご覧ください。

マトリックス公式サイト



<http://mtrx.asia/>

---

17) 正式版で、サイトを4つ以上作成しているものを無料版にした場合は、どうなりますか？

正式版で、サイトを4個作った後に、無料版に変更しても、すでに作成したサイトがなくなることはありませんが、5個目のサイトの作成ができなくなります。

そのため、現在の作成分のサイトが無駄になることはありません。

ただし、無料版では、動作の最大数が7という制限があり、無料版になると、動作が7以上のサイトは、実行できなくなります。

そのため、マトリックスを今後もご利用頂く場合は、正式版をご購入下さい。

## 18) マトリックス正式版が無料版として起動しました。

マトリックス正式版をご利用頂くには、ご購入時の仮パスワードか、マトリックスユーザ登録後の正式なパスワードを登録して頂く必要があります。

マトリックスご購入時の仮パスワードは定期的に変更になるため、マトリックス正式版を、仮パスワードでご登録の場合、仮パスワードの変更が行われると、マトリックスは無料版として起動します。

マトリックスが無料版として起動する場合は

メニュー＞その他＞ユーザ登録から、正式なパスワードをご登録下さい。

マトリックスのユーザ登録が未登録の場合は、下記のユーザ登録申請フォームから登録を行って下さい。





## マトリックスユーザ登録申請フォーム

<http://mtrx.asia/user/>

※ 正式版が、無料版として起動した場合でも、すべてのデータは失われることはありません。再度、正式版としてご登録頂くと、以前のデータを利用できます。

### 19) マトリックス正式版の登録に正式なパスワード(メールアドレス)は必要ですか？

マトリックス正式版をご利用頂くには、マトリックスに、ご利用者様ごとの正式なパスワード(メールアドレス)のご登録が必要になります。

マトリックス不正利用防止、スパム行為防止のために使用させて頂きまますので、ご了承下さい。

## 20) マトリックスを複数のパソコンで使ってもよいですか？

ご利用のパソコンが複数ある場合、それぞれのパソコンで、マトリックスをご利用頂いて構いません。ただし、複数のパソコンから、同時にマトリックスを使用しないで下さい。必ず、どちらか一方のみのマトリックスをご利用下さい。もしも、同じユーザのマトリックスが同時使用された場合は、不正使用と判断し、マトリックスのユーザ登録解除、および、賠償請求をさせて頂く場合があります。

複数のパソコンで、ご利用頂いても問題ありませんが、複数のパソコンでの同時使用は行わないで下さい。

## 21) バックアップはどうすればいいですか？

---

バックアップについては、「16. マトリックスのデータバックアップと復元」をご覧ください。マトリックス全体のバックアップをして頂くと、zip ファイル(圧縮ファイル)が作成されます。このファイルを USB メモリーや、CD-ROM に焼いて保存して下さい。

もしも、パソコンのデータが無くなった場合は、保存した zip ファイルを復元すれば、マトリックスのデータの復元ができます。

22) 他のパソコンにデータを移したいときは、どうすればいいですか？

他のパソコンにデータを移す場合も、バックアップと同じ方法を使って下さい。マトリックス全体のバックアップをして頂き、zip ファイルを作成します。

移動先のパソコンのマトリックスを起動し、保存した zip ファイルを復元すれば、マトリックスのデータの復元ができます。

### 23) 音を消すにはどうしたらいいですか？

メニュー＞設定＞音設定の音を使用するのチェックを外して下さい。

### 24) アイコンは登録できますか？

メニュー＞設定＞アイコン画像設定から、アイコン画像が登録できます。

## 26. マトリックス トリセツ(相葉愛恵chan)

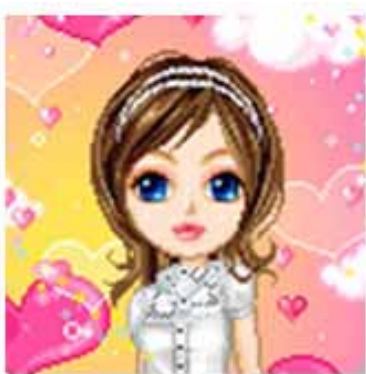
相葉愛恵chanにマトリックスを使い方について、まとめて頂きました。

マトリックストリセツ①は、ログインサイトを登録する方法についてです。マトリックストリセツ②は、既存の無料スペースのログイン情報を、マトリックスに取り込む方法についてです。マトリックストリセツ③は、テンプレートの管理方法についてです。

合わせて読んで頂くと、よりいっそうマトリックスの使い方がよくわかると思います。

相葉愛恵 chan

マトリックストリセツ



<http://mtrx.asia/manual/>

マトリックストリセツ

<http://mtrx.asia/manual2/>

マトリックストリセツ

<http://mtrx.asia/manual3/>

## 27. マトリックス正式版ご購入方法

マトリックス正式版は、下記のサイトからご購入下さい。



マトリックス正規版ご購入

<http://mtrx.asia/>

マトリックス正式版ご購入の手順は、次のようになります。

- ① マトリックスご購入
- ② マトリックス本体ダウンロード(無料版と表示されます)
- ③ マトリックスご購入時のレポートに記載している**仮パスワード**をマトリックスに登録(無料版⇒正式版になります)  
※ 仮パスワードは定期的に変更になります。
- ④ マトリックスユーザ登録申請
- ⑤ マトリックスユーザ登録完了後、個別に**正式なパスワード**をメールでお送りします。

**⑥ 正式なパスワードをマトリックスに、再度登録（正式版になります）**

マトリックスご購入直後、マトリックスは無料版として起動します。

マトリックスご購入時のレポートに記載してある仮パスワードを登録して頂くと、マトリックス無料版からマトリックス正式版になります。

その後、マトリックスユーザ登録申請を行って頂きます。ユーザ登録完了後に、個別に、正式なパスワードをお送りします。そのパスワードを、改めて、マトリックスに登録して下さい。

マトリックスご購入時の仮パスワードは定期的に変更になるため、必ず、ユーザ登録申請を行って頂き、正式なパスワードをご

---

登録下さい。

マトリックスユーザ登録申請は、下記のサイトから行って下さい。



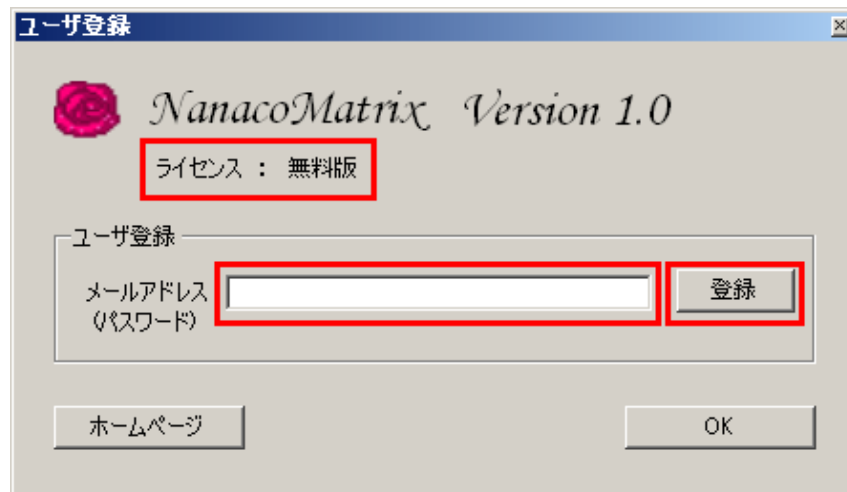
マトリックスユーザ登録申請フォーム

<http://mtrx.asia/user/>

マトリックス無料版からマトリックス正式版への変更方法は、マトリックスを起動後に、メニュー＞その他＞ユーザ登録からユーザ登録画面を開きます。

メールアドレス(パスワード)の欄に、ご購入時の仮パスワードか、マトリックスユーザ登録後に通知される正式なパスワードを登録して下さい。





マトリックス正式版ご購入の方で、正式なパスワードがわからない方は、下記のお問い合わせフォームからご連絡下さい。



## お問い合わせフォーム

<http://my.formman.com/form/pc/XVjU9n1km6gSL5Bf/>

## 28. 携帯ツールのご紹介

ナナコペェラは、1ページものの携帯サイトが簡単に作成できる機能制限や期間制限、広告の表示など一切ない完全無料0円の携帯サイトツールです。

ナナコペェラ (無料0円)



<http://1kiss.jp/pera/>

ナナコツールX(テン)は、YouTube動画・ニコニコ動画・デコメール画像などの携帯サイトを簡単に作成できるツールです。

## ナナコツール (無料版)



<http://xxxxxxxxxx.jp/muryo.html>

ダブルアドセンスは、PCブログ→携帯サイトを簡単に作成できるツールです。MT形式、WordPressの記事をインポートすることができます。

## ダブルアドセンス (無料版)



<http://2adsense.jp/muryo.html>

ナナコリンクハイブリッドは、マトリックスと連携ができるスパムツールでない携帯ランキング登録ソフトです。

### ナナコリンクハイブリッド(無料版)



<http://1kiss.jp/linkhybrid/>

ナナコメイクアップは、アフィリエイトの広告管理・複数FTPアップロードができるツールです。

### ナナコメイクアップ(無料版)



<http://1kiss.jp/makeup/>

## 29. コンテンツサービスのご紹介

デコメール・絵文字コンテンツサービスは、200個のデコメール・絵文字をご提供するサービスです。

### デコメール・絵文字コンテンツサービス



<http://decome.asia/>

人気女子キーワードコンテンツサービスは、700個のキーワードをご提供するサービスです。

### 人気女子キーワードコンテンツサービス



<http://adwd.asia/>

## 30. 薔薇乃ななこプロフィール



日本初のケータイ小説サイト作成マニュアルをリリース。初心者  
のあなたでも簡単に、ケータイ小説サイトを作ることができるツ  
ールを提供。

1サイト入魂の(携帯)サイト作りをスタンスとし、作成者、ユーザ  
がともに楽しめるモテモテ携帯サイト作りを提唱、アフィリエイト  
だけでなく、ネットビジネス、リアルビジネスを融合とした総合ビ  
ジネスをプロデュース。

『ブログ』-『ホームページ』-『メルマガ』のトライアングル構造によ  
る、あなたが稼ぐための構造や、PQRS理論、ななこの成長曲  
線理論など、独自のマーケティング理論を展開。

---

ツールとしては、ナナコブラウザ、ナナコリンク、リアルレターなど、計7つ以上の独自ツールを無料配布。

社会貢献活動として、チームStudio GLAD Racingが運営するミクZ4(ゼットフォー)をスポンサーとして支援。



薔薇乃ななこの社会貢献活動(CSR)

<http://1kiss.jp/nanaco/csr.html>

薔薇乃ななこの携帯アフィリエイトマップはこちら。





薔薇乃ななこ



携帯アフィリエイトマップ

<http://1kiss.jp/nanaco/map/>

プロフィール：<http://1kiss.jp/nanaco/map/p.html>

お問い合わせ：<http://my.formman.com/form/pc/XVjU9n1km6gSL5Bf/>

社会貢献活動(CSR)：<http://1kiss.jp/nanaco/csr.html>

メルマガ：<http://1kiss.jp/nanaco/map/maga.html>